

長崎歴史文化博物館

年報

令和4年度（2022年度）



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

令和4年度（2022年度）

目次

ごあいさつ	
1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	9
(2) 常設展	34
5. 調査研究事業	
(1) 調査研究	52
(2) 調査研究活動	54
(3) 資料修理修復事業	55
(4) 資料の管理	58
(5) 資料公開事業	60
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	62
(2) 一般向け事業	62
(3) 学校向け事業	64
(4) こども向け事業	67
(5) レファレンス事業	69
(6) 博物館実習	70
(7) 研修の受け入れ	71
(8) 伝統工芸体験工房	72
(9) その他の普及活動	72
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	74
(2) イベント実施	74
(3) ボランティア活動	76
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	79
(2) 営業活動	91
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	92
(2) 主な出来事と来館者	93
(3) 貸館・貸室	94
10. 収支	95
11. 組織	
(1) 職員	97
(2) 友の会	99
12. 施設概要	
(1) 長崎歴史文化博物館	101
(2) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	103
13. 関連法規	104
14. 利用案内	145

ごあいさつ

令和4年度(2022年度)年報にあたって



事実は小説より奇なりと言いますが、想像もしなかったコロナウイルス感染症の拡大によって、世の中の活動が突然ストップしてしまっていました。今思うと、この二年半は悪夢の連続でした。しかし、一人ひとりの不屈の精神によって、社会は徐々に持ち直してきています。

令和4年度の当館の活動は、コロナ禍にもかかわらず、関係者のご協力のもと、展覧会としてはカリグラフィアート展、西九州新幹線開業記念展、長崎の黄檗展、写真展「写真家が捉えた昭和のこども」を開催することができました。その他の活動もコロナ前と同じように活動できるようになりつつあります。こうして日常を取り戻してみると、いかに普段の日常生活が大事かと改めて知る機会となりました。「安くして危うきを忘れず、存して亡ぶるを忘れず、治りて乱るるを忘れず」(易経繫辭下伝)という名言を思い出します。

この名言は博物館経営の観点から見ると、非常に重要な教訓を含んでいますので、皆さんと一緒にこの考え方を共有したいと思います。まず、「安くして危うきを忘れず」という言葉は、博物館運営において、経営的な側面を重視することを暗示しているようです。博物館は、文化資源や歴史遺産、技術的な面での制約に直面することがありますが、それでも文化財を保護するために必要な投資（経済投資だけではなく、人材育成、情報収集、時間の投資）を怠らず、安全に配慮した運営を行うことが求められます。その意味では、私たちの博物館活動はどうだったのか、この年報をご覧ください、率直な御意見を頂ければ幸いです。

次に、「存して亡ぶるを忘れず」という言葉は、文化財の保護や歴史を保存するだけでなく、博物館の使命として次世代に伝えることが必要であることを示唆しています。博物館は、文化財を展示することによって、人々に歴史教育を施し、理解を深めることに貢献します。また、博物館は、教育プログラムを提供することで、私たちの貴重な文化遺産を次世代に伝えることができます。長崎の黄檗展は長崎の歴史と黄檗文化を振り返る絶好の機会でした。果たして私たちの展覧会活動や教育活動はどうだったのでしょうか？

最後に、「治りて乱るるを忘れず」という言葉は、博物館が常に改善を追求し、より良いサービスを提供することが重要であることを示しています。博物館は、来館者のニーズに合わせた展示や、教育プログラムを提供することによって、一長崎を訪れる観光客を含めた一より広い層に訴求することができます。また、私たちは常に時代の変化に合わせて改善を行い、社会的な役割を果たすことが求められますが、果たして私たちの活動はどうだったのでしょうか。この年報のデータから読み取り、改善点を見出し、次年度につなげていきたいと考えております。過去から学んだ教訓を心に刻み、常に改善を追求し続けていきたいと考える次第です。引き続き、皆様のご支援ご指導を賜れば幸いです。

長崎歴史文化博物館
館長 水嶋 英治

沿革

平成10年(1998)

11月18日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成11年(1999)

12月15日 「諏訪の森部会」最終提言

平成12年(2000)

11月30日 諏訪の森の再整備について(基本方針)公表

平成13年(2001)

1月15日 歴史文化博物館(仮称)基本構想専門家会議設置(3月報告書提出)

11月14日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結

11月16日 歴史文化博物館(仮称)基本構想(案)公表

12月27日 歴史文化博物館(仮称)基本構想策定

平成14年(2002)

2月22日 (株)乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結

2月28日 黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成15年(2003)

7月19日 起工式

平成16年(2004)

10月15日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成17年(2005)

4月1日 (株)乃村工藝社を指定管理者として指定

5月 博物館仮事務所開設

7月1日 大堀哲(日本ミュージアム・マネジメント学会会長)初代館長に就任

7月5日 長崎歴史文化博物館事業発表会

8月30~31日 建設工事、展示工事竣工

9月1日 博物館事務所開設

11月3日 開館記念式典
開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催(11月3日~1月9日)

12月12日 入場者数10万人突破

平成18年(2006)

8月14日 入場者数50万人達成

10月20日 開館1周年記念式典

10月21日 開館1周年記念特別展「ローマを夢見た美少年」開催(~12月13日)

平成19年(2007)

6月23日 入場者数100万人達成

平成20年(2008)

8月7日 入場者数150万人達成

10月31日 開館3周年記念式典

11月1日 列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催(~1月12日)

平成21年(2009)

7月8日 指定管理者選定委員会

8月14日 入場者数200万人達成

10月5日 行啓 皇太子殿下

平成22年(2010)

5月2日 入場者数250万人達成

10月11日 入場者数300万人達成

11月3日 開館5周年

11月15日 中国福建博物院と友好館協定締結

11月18日 開館5周年記念式典

11月19日 開館5周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催(~1月10日)

平成23年(2011)

7月8日 入場者数350万人達成

10月1日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第1回館長サミット in 長崎開催(会場:出島交流会館)日中国交正常化40周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催(~3月25日)

平成24年(2012)

4月1日 常設展示リニューアルオープン

9月12日 入館者数400万人達成

10月6日 日中国交正常化40周年 長崎県・福建省友好県省締結30周年記念「中国福建博物院展」開催(~11月30日)

平成25年(2013)

3月22日 中国湖北省3館(辛亥革命武昌起義記念館、辛亥革命博物館、中山艦博物館)との友好交流協定締結

3月30日 長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館社会連携協定締結

7月31日 御成 秋篠宮殿下・眞子内親王殿下

10月17日 入場者数450万人達成

平成26年(2014)

3月21日 東日本大震災復興祈念 福島桜「絆千年桜」植樹

3月25日 韓国釜山博物館との交流協定締結

4月26日 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム開館

11月3日 長崎大学・長崎歴史文化博物館 包括連携協定締結

12月10日 入館者数500万人達成

平成27年(2015)

9月18日 開館10周年記念式典

11月3日 開館10周年

平成28年(2016)

2月27日 入館者数550万人達成

11月3日 大堀館長瑞宝小綬章受章

12月6日 御成 秋篠宮同妃両殿下並びに悠仁親王殿下

平成29年(2017)

4月24日 入館者数600万人達成

8月4日 大堀哲館長 死去

9月19日 故・大堀哲館長を偲ぶ会開催

12月28日 入館者数650万人達成

平成30年(2018)

4月1日 水嶋英治（日本ミュージアム・マネジメント学会会長）2代目館長に就任

平成31年、令和元年(2019)

4月30日 入館者数700万人達成

令和2年(2020)

3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種行事の中止、ボランティア活動の休止

4月10日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～5月24日）
長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムも併せて臨時休館（～5月31日）

10月1日 キャンパスメンバーズ認定式

11月3日 開館15周年

11月14日 開館15周年記念講演・シンポジウム開催

2

基本理念

(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

2) 長崎学調査研究の拠点となる博物館

県内をはじめ国内はもとより、海外に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用を図るため、拠点組織の設置を検討し、調査研究の深化と、地域・学会等での発信還元をめざす。また県や市と連携し講習や講師派遣等、地域との協同学習を推進する。そのほか、世界遺産をテーマにした研究・講座を実施し、調査研究とその成果の情報発信を行う。

3) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業や参加体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

4) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を生かした、地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

5) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、県内はもとより国内および海外の博物館・資料館、学校や大学、研究機関、歴史団体、地域自治会、教育文化団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ中国の福建博物院、湖北省武漢市辛亥革命博物館、武漢市武昌起義記念館、武漢市中山艦博物館との交流の充実を継続する。

6) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが参加できる開かれた運営を実践する。

(2) 行動指針

1) これまでの実績を基に、①高い専門能力を活かし長崎学の研究を進め、その成果を具体的に地域に還元することによる地域文化の振興、②多くの方々への鑑賞・学習・体験の機会の提供、外国人向けサービスや観光情報の発信を強化することによる交流人口の拡大に資する運営に努め、さらに、③日々変化する運営に関する課題や行政・地域のニーズを捉え、新たな客層の獲得に向けた対策を検討し、地域課題の解決に向けた運営に反映させる。また、県、長崎市からの指導はもとより日本博物館協会が示すガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、来館者だけでなく職員にとっても安全安心な館運営を行う。

2) 調査研究活動の充実強化を図るため、研究グループを中心とした研究体制の充実・発展を図る。このことを通して資料の収集整理、文化財保存学、そのマネジメント等について、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を挙げる。

3) 魅力ある展覧会の開催、教育普及事業、大学や他の博物館との連携事業の推進はもちろんのこと、積極的な営業活動の推進、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。また友の会個人会員、賛助会員の特典の拡充を図り、会員増強を積極的に進める。

4) 博物館施設の有効活用やミュージアムショップ・レストラン銀嶺等の附帯施設への誘客の工夫を図り、安定的な利用者の確保に伴う収益力向上を図る。

3

事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

① 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズをおさえつつ、魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会を実施するとともに、研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

② 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設について、館主催による行事の工夫も含めた積極的な有効活用を図る。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

③ 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、当館研究員、県市学芸員、共同研究員等との柔軟でかつ機能的な共同研究体制の充実を図り、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその情報発信に努める。

④ 長崎大学との包括協定及び、長崎外国語大学、長崎純心大学との連携協定に基づく、教育研究事業の具体的な計画・実施を図る。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

① 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、パートナーズプログラム、研修会などを通して、教師の博物館理解を深め、児童生徒の博物館利用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等へのオンラインを含めた出前授業や遠隔授業について充実を図る。

② 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済及び文化の活性化に寄与すべく、集客の増加に努める。また、さらに「祭」行事などに関する地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営（マネジメント）については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、ボランティア自身の生涯学習につながる環境づくりに努めるとともに、何よりも利用者に対する“サービス”が中心であることを理解した活動の定着化に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本ミュージアムマネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、県内の中核博物館として、県内博物館のレベルアップに努める。さらに、県内の世界遺産と関係の深い博物館等との交流の可能性について検討する。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

指定管理者制度下の博物館運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方等を含め、課題、問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。さらにこれまでの運営の在り方を絶えずチェックしつつ、意欲的に取り組む。

(6) コンプライアンスの徹底

職員へのコンプライアンスおよびリスクマネジメント研修を実施するとともに、事業計画に基づいたモニタリングを四半期ごとに実施し、また年1回の内部監査を実施することで内部牽制システムを導入し、期限厳守と適切な管理体制を構築する。

(7) 集客目標

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、博物館への誘客が厳しい状況の中、県内外の修学旅行や学校団体、その他団体旅行、個人旅行等の取り込みで集客を図り、35万人を目標と設定する。来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者7.5万人、展覧会・企画展への入館者4.1万人、生涯学習支援事業への参加者は3万人、その他利用者は20.4万人とし、有料率の向上を図っていくことで、収益性を高める。

(8) 経営評価

利用者分析やアンケート、目安箱などを参考に、事業ごとの評価を行ない、県市の政策評価の指標となる事業報告書の作成を実施する。博物館運営や経営の課題を解決するためのテーマを設定し、そのテーマに関連する外部有識者、メディアや教育関係者等との意見交換の場を設置し、それらの外部評価をもとに経営改善へつなげていく。

4 展示企画事業

1 企画展

(1) 西九州新幹線開業記念展 ながさき・かもめ今昔

1. 展示概要

令和4(2022)年9月23日に開業を迎えた西九州新幹線の開業を記念し、昭和48(1973)年の整備計画決定以降のあゆみとともに、最新型車両「N700Sかもめ」、新長崎駅舎、特急「かもめ」と新幹線として新しく生まれかわる「かもめ」の姿を模型やデザイン画、関連資料を交え紹介し、「九州らしいオンリーワンの車両」をコンセプトとする車両デザインについてデザイナー・水戸岡鋭治氏のインタビューや幻のデザイン案なども紹介。また、江戸時代から令和4年の新幹線開業までの長崎と鉄道をめぐる歴史を長崎の玄関口である駅や町の変遷、100年に一度と言われている長崎の大変革を資料や写真を通して展示した。

開催期間：令和4(2022)年7月16日(土)～8月28日(日) 41日間

休館日：7月19日(火)、8月1日(月)、8月22日(月)

観覧料金：大人800円(600円)、小中高生400円(300円)
長崎れきぶん友の会会員、キャンパスメンバーズ、未就学児は無料

※()は前売り及び15名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証保持者とその介護者1名は前売・団体料金

主催：長崎歴史文化博物館

共催：NBC長崎放送

特別協力：九州鉄道記念館、JR九州、長崎きしゃ倶楽部、水戸岡鋭治、ドーンデザイン研究所(敬称略)

協力：長崎大学附属図書館

協賛：株式会社J&Jヒューマンソリューションズ、JR九州サービスサポート株式会社

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会

助成：(公財)長崎バス観光開発振興基金

開館時間：9:00～18:00(最終入館17:30)

総入館者数：7,086人(1日平均173人)

2. 展示構成

プロローグ

第1章 「かもめ」今昔

(1) 西九州新幹線「かもめ」

(2) 歴代の「かもめ」と長崎の特急

第2章 「ながさき」今昔

(1) 長崎駅とその周辺～120年前の変革期～

(2) 長崎往来

第3章 体感する「かもめ」



3. 関連行事

(1) 講座

子ども向け講座「いよいよ長崎に新幹線がやってくる！」

日 時：7月24日(日)・7月30日(土)・8月20日(土)

11:00～12:00

場 所：1階ホール

講 師：長崎県職員

対 象：小中学生

定 員：30名

参加者：(7/24)41名 (7/30)22名 (8/20)23名



(2) ワークショップ

「缶バッジづくり」

日 時：7月17日(日)・8月21日(日)

①10:30～12:00 ②14:00～15:30

場 所：1階エントランスまたは3階ロビー

参加費：100円

対 象：どなたでも

参加者：(7/17)68名 (8/21)69名



ココウォーク出張ワークショップ「缶バッジづくり」

日 時：8月4日(木)10:30～15:30

場 所：みらい長崎ココウォーク 2階ココスクエア

参加費：100円

参加者：15名

(3) イベント

乗車体験「ミニトレインかもめがやってくる！」

日 時：7月22日(金)・7月23日(土)・7月24日(日)

①10:00～11:00 ②11:30～12:30

③13:30～14:30 ④15:00～16:00

⑤16:30～17:00

場 所：イベント広場(※雨天時 1階エントランス)

参加費：無料(※企画展チケットが必要)

協 力：JR九州 長崎支社

参加者：(7/22)72名 (7/23)202名 (7/24)312名



4. 展示リスト

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
プロローグ				
1	長崎空港のアクセス交通としての長崎新幹線に関する調査報告書 昭和54年3月	長崎県運輸課	1979年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
2	整備新幹線に関する調査調査報告書 昭和54年10月	長崎県	1979年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
3	長崎新幹線ニュース 第4号	長崎新幹線建設期成会 編	1980年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
4	長崎新幹線のあゆみ	長崎新幹線建設期成会 編	1995年発行	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
5	長崎新幹線のあゆみ		1998年発行	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
6	長崎新幹線のあゆみ 平成11年3月		1999年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
7	長崎新幹線のあゆみ 2000	長崎新幹線建設期成会 編	2000年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
8	長崎新幹線のあゆみ 2001		2001年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
9	長崎新幹線のあゆみ 2002	長崎新幹線建設期成会 編	2002年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
10	新幹線のあゆみ 2008		2008年	長崎県立長崎図書館郷土資料センター
11	新幹線関連パンフレット	長崎新幹線建設期成会 編	平成8年他	長崎新幹線・鉄道利用促進協議会
12	新幹線関連パンフレット	九州新幹線建設促進期成会	平成10年他	長崎新幹線・鉄道利用促進協議会
13	新幹線関連パンフレット(Q&A)	長崎新幹線建設期成会 編	平成21年、平成23年、平成25年ほか	長崎新幹線・鉄道利用促進協議会
14	九州新幹線西九州ルート ポスター			武雄市歴史資料館
15	平成20年 起工式使用 鎌・鋏・鋤		平成20年	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
16	平成24年 起工式使用 鎌・鋏・鋤		平成24年	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
17	連結記念盾		平成24年	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
18	直結4K形レール締結装置			独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
19	直結8形改レール締結装置			独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局
第1章				
1	新幹線「かもめ」3号車指定席座席モックアップ			JR九州 長崎支社
2	JR九州 制服(運転士)			JR九州 長崎支社
3	JR九州 制服(客室乗務員)			JR九州 長崎支社
4	N700S「かもめ」採用デザイン 外観	水戸岡鋭治	2021年(令和3)7月発表	ドーンデザイン研究所
5	N700S「かもめ」C案(白赤 デザイン) 外観	水戸岡鋭治	2020年(令和2)10月発表	ドーンデザイン研究所
6	N700S「かもめ」B案(白グレー デザイン) 外観	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
7	N700S「かもめ」A案(白 デザイン) 外観	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
8	N700S「かもめ」D案(赤 デザイン) 外観	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
9	N700S「かもめ」E案(黒 デザイン) 外観	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
10	N700S「かもめ」インテリアデザイン画1号車(指定席)／菊大柄	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
11	N700S「かもめ」インテリアデザイン画2号車(指定席)／獅子柄	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
12	N700S「かもめ」インテリアデザイン画3号車(指定席)／唐草	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
13	N700S「かもめ」インテリアデザイン画4～6号車(自由席)	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
14	N700S「かもめ」旧グラバー住宅／大浦天主堂 背景 デザイン	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
15	N700S「かもめ」龍踊り、獅子舞 中華背景 デザイン	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
16	N700S「かもめ」複数アングル5タイプ統合 デザイン	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
17	N700S「かもめ」唐草背景	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
18	N700S「かもめ」背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
19	N700S「かもめ」背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
20	N700S「かもめ」背景黒「かもめ」白文字「英文」青文字	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
21	N700S「かもめ」背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
22	N700S「かもめ」背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
23	N700S「かもめ」背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
24	N700S「かもめ」 背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
25	N700S「かもめ」 背景黒	水戸岡鋭治		ドーンデザイン研究所
26	JR九州 885系電車 模型		2000年(平成12)	ドーンデザイン研究所
27	JR九州 787系電車 模型		1992年(平成4)	ドーンデザイン研究所
28	JR九州 883系電車 模型		1995年(平成7)	ドーンデザイン研究所
29	JR九州 800系新幹線 模型		2004年(平成16)	ドーンデザイン研究所
30	「シーサイドライナー」ヘッドマーク		1989年(平成元)頃	個人蔵
31	急行「出島」ヘッドマーク(リバイバル)		2008年(平成20)11月30日 使用	九州鉄道記念館
32	急行「九十九島」ヘッドマーク(リバイバル)		2008年(平成20)11月29日 使用	九州鉄道記念館
33	急行「弓張」ヘッドマーク(リバイバル)		2008年(平成20)11月29日 使用	九州鉄道記念館
34	急行「平戸」ヘッドマーク(リバイバル)		2010年(平成22)8月7日 使用	JR九州 長崎支社
35	特急シーボルト乗車位置案内板(地上用)(1号車)			個人蔵
36	特急シーボルト乗車位置案内板(地上用)(2号車)			個人蔵
37	車内掲示用九州路線案内図(キハ28)			個人蔵
38	かもめ号運転30周年 記念品	JNR 国鉄	1953年(昭和58)3月19日	個人蔵
39	485系 行先表示器			九州鉄道記念館
40	特急「みどり」ヘッドマーク		1976～85年(昭和51～60)	九州鉄道記念館
41	特急「かもめ」ヘッドマーク(白地)		1976～78年(昭和51～53)	九州鉄道記念館
42	特急「かもめ」ヘッドマーク(青地に白かもめ)		1978～90年(昭和53～平成2)	JR九州長崎支社
43	寝台特急「さくら・はやぶさ」ヘッドマーク		1999年(平成11)12月～ 2005年(平成17)3月	九州鉄道記念館
44	寝台特急「はやぶさ」ヘッドマーク			九州鉄道記念館
45	寝台特急「あかつき」ヘッドマーク			JR九州長崎支社
46	さよなら寝台特急「あかつき」紙幕		2008年(平成20)3月14日 使用	九州鉄道記念館
47	寝台特急「さくら」ヘッドマーク(蒸気用)			九州鉄道記念館
48	寝台特急「さくら」ヘッドマーク			九州鉄道記念館
49	寝台特急「さくら」ヘッドマーク		2005年(平成17)2月最終 運転使用	JR九州長崎支社
50	方向幕(14系客車使用)			個人蔵
51	サボ(サインボード)(寝台特急「さくら」最終)			個人蔵
52	ホーロー製サボ(長崎/肥前鹿島・長与行)			個人蔵
53	16番ゲージ 鉄道模型 キハ82系「かもめ」			個人蔵
54	16番ゲージ 鉄道模型 485系「かもめ」			個人蔵
55	16番ゲージ 鉄道模型 485系 赤い「かもめ」			個人蔵
56	16番ゲージ 鉄道模型 783系「かもめ」			個人蔵
57	16番ゲージ 鉄道模型 787系「かもめ」			個人蔵
58	16番ゲージ 鉄道模型 885系「かもめ」			個人蔵
59	16番ゲージ 鉄道模型 特急「さくら」			個人蔵
60	16番ゲージ 鉄道模型 特急「富士」			個人蔵
61	16番ゲージ 鉄道模型 普通客車列車			個人蔵
62	16番ゲージ 鉄道模型 キハ17(キハ25)系気動車(普通列車用)			個人蔵
63	16番ゲージ 鉄道模型 YC-1系			個人蔵

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
64	16番ゲージ 鉄道模型 特急「あかつき」			個人蔵
65	16番ゲージ 鉄道模型 8620型蒸気機関車			個人蔵
66	16番ゲージ 鉄道模型 ED73			個人蔵
67	16番ゲージ 鉄道模型 ED75-300			個人蔵
68	16番ゲージ 鉄道模型 キハ200系 シーサイドライナー			個人蔵
69	16番ゲージ 鉄道模型 キハ66・67系 シーサイドライナー			個人蔵
70	16番ゲージ 鉄道模型 急行「雲仙」			個人蔵
71	16番ゲージ 鉄道模型 貨物列車			個人蔵
72	16番ゲージ 鉄道模型 長崎電気軌道200形			個人蔵
73	16番ゲージ 鉄道模型 キハ58(65)系気動車			個人蔵
74	16番ゲージ 鉄道模型 キハ02系レールバス			個人蔵
75	16番ゲージ 鉄道模型 島原鉄道 キハ2550形			個人蔵
76	L特急かもめ 行先表示板(サボ) 肥前山口-博多/肥前山口-小倉			個人蔵
77	リバイバル「さくら」 記念乗車証			個人蔵
78	「さくら」ファイナルの子供向け記念乗車証			個人蔵
79	リバイバル「あかつき」 記念乗車証			個人蔵
80	駅弁掛け紙(長崎線沿線)			個人蔵
81	お手ふき		昭和40年代	個人蔵
82	食堂車アンケート葉書		1974年(昭和49)	個人蔵
83	国鉄時代 標準仕様の灰皿			個人蔵
84	寝台車入口ドアのサインプレート			個人蔵
85	特急「さくら」運転時刻表		1984年(昭和59) 2月1日	九州鉄道記念館
86	特急「さくら」運転時刻表		「さくら」運用末期	個人蔵
87	16番ゲージ 鉄道模型 N700S「かもめ」			個人蔵
88	16番ゲージ 鉄道模型 787系 特急かもめ(現行型)			個人蔵
89	16番ゲージ 鉄道模型 885系 特急かもめ(登場時)			個人蔵
90	16番ゲージ 鉄道模型 485系かもめ6両			個人蔵
91	16番ゲージ 鉄道模型 700系 ハイパーかもめ 登場時9両			個人蔵
92	16番ゲージ 鉄道模型 485系かもめ			個人蔵
93	16番ゲージ 鉄道模型 キハ80系気動車かもめ			個人蔵
94	16番ゲージ 鉄道模型 885系特急かもめ(現行型)			個人蔵
95	16番ゲージ 鉄道模型 783系リニューアル(現行型)5両			個人蔵
96	16番ゲージ 鉄道模型 727系特急かもめ			個人蔵
97	特急「かもめ」「みどり」サインボード(長崎本線・ 佐世保線電化後)			個人蔵
98	特急「かもめ」運転時刻表 885系/783系			個人蔵
99	改札錠			九州鉄道記念館
100	検札錠			九州鉄道記念館
101	切符(サンプル)硬券			九州鉄道記念館

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
102	国鉄時代 特急・急行 車掌腕章			個人蔵
103	国鉄時代 制帽			九州鉄道記念館
104	国鉄時代制服・制帽			九州鉄道記念館
第2章				
1	新長崎駅舎模型			独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 諫早鉄道建築建設所
2	西彼杵郡浦上山里村長崎仮停車場平面図 第二課事務簿 鉄道之部 明治29年 1月～2月 付属資料(現・浦上駅)	長崎県第二課	1896年(明治29) 1～2月	長崎歴史文化博物館
3	第二課事務簿 鉄道之部 明治29年 1月～2月	長崎県第二課	1896年(明治29) 1～2月	長崎歴史文化博物館
4	淵村貨物線平面図 (縮尺400分の1) 第二課事務簿 鉄道之部 明治31年 付属資料	長崎県第二課(商工係)／編	1897年(明治30)	長崎歴史文化博物館
5	東彼杵郡早岐村停車場設計図 (縮尺600分の1)	長崎県第二課／編		長崎歴史文化博物館
6	長崎停車場埋築図(縮尺1200分の1) 鉄道ノ部 明治31年 / 第二課事務簿	長崎県第二課(商工係)／編	1896年(明治29) 3月	長崎歴史文化博物館
7	貨物支線敷設願 鉄道ノ部 / 第二課事務簿	長崎県第二課	1897年(明治30) 5月29日	長崎歴史文化博物館
8	佐世保停車場平面図(縮尺1200分の1) 鉄道ノ部 明治29年 7月～9... / 第二課事務簿	長崎県第二課(商工係)／編	1896年(明治29)	長崎歴史文化博物館
9	絵葉書 長崎駅周辺の景観 絵葉書			個人蔵
10	長崎港駅写真	八千代写真館(長崎市)	不明	長崎歴史文化博物館
11	《長崎駅》(絹本着色・合羽版画)	山下南風	1975年(昭和50)	JR九州
12	《長崎港》(カンバス・油彩)	野口彌太郎	1951年(昭和26)	JR九州
13	外国人向け旅行ガイドブック“from the Car Window”門司～長崎 間	ジャパン・ツーリスト・ ビューロー(日本旅行協会)	1937年(昭和12)	個人蔵
14	鉄橋銘板	鉄道省	1928年(昭和3)	個人蔵
15	タブレット(通票)			九州鉄道記念館
16	白光式合図灯(押型) (長崎駅使用)		1958年(昭和33) 2月製	九州鉄道記念館
17	車両用標識灯	白光舎工業株式会社	1966年(昭和41) 9月製	個人蔵
18	気動車用タイフォン	三菱電機株式会社	1967年(昭和42) 5月製	個人蔵
19	列道の歴史を彩った往年の列車記念乗車券セット			個人蔵
20	長崎駅開業110周年記念乗車券		2015年(平成27) 4月5日	個人蔵
21	ありがとう長崎駅記念乗車券		2020年(令和2) 3月	個人蔵
22	「長崎駅」(旧駅舎駅名表示／ホーム内)		3代目駅舎時代	JR九州長崎支社
23	長崎駅表示板 ▶			JR九州長崎支社
24	長崎駅表示板 ◀			JR九州長崎支社
25	鉄道旅行案内(初版)	吉田初三郎／鉄道省	1921年(大正10)	個人蔵
26	日本鳥瞰九州大図絵	吉田初三郎／大阪毎日新聞社	1927年(昭和2)	個人蔵
27	日本鳥瞰中国四国大図絵	吉田初三郎／大阪毎日新聞社	1927年(昭和2)	個人蔵
28	長崎駅写真 / 長崎駅写真外 1			長崎歴史文化博物館
29	古写真アルバム(埋め立て前の浦上新田<現・長崎駅>付近写真)		明治中期カ	長崎歴史文化博物館
30	絵葉書・長崎駅他	長崎電気軌道株式会社刊・ 石谷印刷(大阪)製		長崎歴史文化博物館
31	絵葉書・長崎駅	佐藤弘聞堂(長崎)刊		長崎歴史文化博物館
32	長崎絵葉書 / 長崎停車場、長崎県庁、長崎税関大波止場、長崎三菱造船所			長崎歴史文化博物館
33	絵葉書・長崎停車場			長崎歴史文化博物館
34	絵葉書・肥前大村驛停車場			長崎歴史文化博物館
35	絵葉書・小長井停車場附近線路(有明線全通記念)			長崎歴史文化博物館
36	絵葉書・長崎県諫早市下本明平松橋附近汽車進行の景			長崎歴史文化博物館
37	絵葉書・長崎停車場(歴代)			個人蔵
38	絵葉書・長崎停車場とプラットホーム			個人蔵
39	絵葉書・長崎駅舎			個人蔵
40	絵葉書・武雄温泉鳥瞰圖			長崎歴史文化博物館

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
41	絵葉書・(武雄温泉名勝)温泉場内			長崎歴史文化博物館
42	絵葉書・(日本百景)嬉野温泉正面			長崎歴史文化博物館
43	扇面大日本九州鉄道最新地図			長崎歴史文化博物館
44	景勝の長崎	吉田初三郎／著@永井明／ 編輯	昭和9年頃	長崎歴史文化博物館
45	長崎観光案内図 パノラマ式	今村省吾／編	昭和28年(1953)	長崎歴史文化博物館
46	国際文化都市景勝の長崎	一樓(長崎観光協会発行)	昭和25年(1950)1月1日	長崎歴史文化博物館
47	長崎市鳥瞰図	吉田初三郎	昭和9年頃	長崎歴史文化博物館
48	長崎土産 延宝版／巻1 (写本)	島原金捨		長崎歴史文化博物館
49	長崎風景眼鏡絵 桜馬場の図		江戸後期	長崎歴史文化博物館
50	象志 享保14年	梅英軒／著	享保14年(1729)	長崎歴史文化博物館
51	江戸ヨリ五島迄道中図 坂田家資料			長崎歴史文化博物館

第3章 かもめ体感

1	感謝状(長崎きしゃ倶楽部あて)	九州鉄道株式会社	2005年(平成17)6月2日	個人蔵
2	鉄道模型(Nゲージ) 特急「富士」			個人蔵
3	鉄道模型(Nゲージ) お召し列車 1号編成			個人蔵
4	鉄道模型(Nゲージ) 鮮魚専用列車 「とびうお号」			個人蔵
5	鉄道模型(Nゲージ) 「或る列車」			個人蔵
6	鉄道模型(Nゲージ) 島原鉄道			個人蔵
7	鉄道模型(Nゲージ) 口之津鉄道			個人蔵
8	鉄道模型(Nゲージ) 雲仙鉄道			個人蔵
9	鉄道模型(Nゲージ) 松浦鉄道			個人蔵
10	鉄道模型(Nゲージ) 長崎電気軌道			個人蔵
11	鉄道模型(Nゲージ) キハ65形 シーサイドライナー			個人蔵
12	鉄道模型(Nゲージ) キハ58形 シーサイドライナー			個人蔵
13	鉄道模型(Nゲージ) キハ66/67形 シーサイドライナー			個人蔵
14	鉄道模型(Nゲージ) キハ200形 シーサイドライナー			個人蔵
15	鉄道模型(Nゲージ) 885系 特急かもめ (登場時)			個人蔵
16	鉄道模型(Nゲージ) 787系 特急かもめ (登場時特急つばめ仕様9両編成)			個人蔵
17	鉄道模型(Nゲージ) 886系 特急かもめ(現行型)			個人蔵
18	鉄道模型(Nゲージ) 787系 特急かもめ(現行型)			個人蔵
19	鉄道模型(Nゲージ) 14系15形 寝台特急 さくら(末期編成)			個人蔵
20	鉄道模型(Nゲージ) 889系 特急かもめ(現行型)			個人蔵
21	鉄道模型(Nゲージ) 783系ハイパーかもめ 登場時 9両			個人蔵
22	鉄道模型(Nゲージ) 783系 リニューアル (現行型) 5両			個人蔵
23	鉄道模型(Nゲージ) 485系かもめ8両+みどり4両(クロ481-0)			個人蔵
24	鉄道模型(Nゲージ) キハ183系1000番台オランダ村特急4両 (+485系有明(水前寺乗り入れ編成))			個人蔵
25	鉄道模型(Nゲージ) キハ82系特急かもめ			個人蔵
26	鉄道模型(Nゲージ) 895系 特急かもめ(現行型)			個人蔵
27	鉄道模型(Nゲージ) 421系(裾帯)			個人蔵

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
28	鉄道模型(Nゲージ) 415系 小豆色			個人蔵
29	鉄道模型(Nゲージ) 415系1500番台九州色			個人蔵
30	鉄道模型(Nゲージ) 713系900番台九州色 2+2両			個人蔵
31	鉄道模型(Nゲージ) 715系 両端切妻編成 4+4両 登場時			個人蔵
32	鉄道模型(Nゲージ) 715系 九州色 4両			個人蔵
33	鉄道模型(Nゲージ) 14系14形 さくら(佐世保編成6両)+ED76-20			個人蔵
34	鉄道模型(Nゲージ) 14系14形 みずほ +DD51			個人蔵
35	鉄道模型(Nゲージ) 14系15形 寝台特急あかつきレガートシート初期 編成 +ED76(ナンバー 1021)			個人蔵
36	島原鉄道「準急」サインボード		1960年(昭和35)	個人蔵
37	島原鉄道社紋		1958年(昭和33)	個人蔵
38	島原鉄道行先表示板(サボ) (加津佐⇔博多)		1960年(昭和35)	個人蔵
39	島原鉄道 駅名板 瀬野深江		2008年(平成20)3月廃止	個人蔵
40	長崎号廃止出発式時 長崎駅使用横断幕		1984年(昭和59)1月30日 使用	個人蔵
41	「長崎奉行号」ヘッドマーク	長崎街道まちづくり推進協 議会	1996年(平成8)	個人蔵
42	SL旅博号ヘッドマーク 長崎旅博覧会臨時列車		1990年(平成2)8月	個人蔵
43	SL旅博号記念乗車証		1990年(平成2)8月	個人蔵
44	アメリカトレイン 入場パスポート		1989年(平成元年)	個人蔵
45	鉄道おもちゃ 歴代パッケージ・商品		1959年(昭和34)	個人蔵
エピソード				
1	駅舎模型(諫早駅)			独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 諫早鉄道建築建設所
2	駅舎模型(新大村駅)			独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 諫早鉄道建築建設所
3	駅舎模型(嬉野温泉駅)			独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 武雄鉄道建築建設所
4	駅舎模型(武雄温泉駅)			独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 武雄鉄道建築建設所
5	西九州新幹線開業記念 たぬき絵手拭い		2022年(令和4年)	長崎歴史文化博物館
6	西九州新幹線開業記念 たぬき絵手拭い・原画	堤けんじ	2022年(令和4年)	個人蔵
7	長崎波佐見焼SL			長崎歴史文化博物館
8	たぬきの江戸参府紀行より(長崎街道)	堤けんじ		個人蔵
9	出島出立	堤けんじ		個人蔵
10	出島石門	堤けんじ		個人蔵
11	出島の大砲	堤けんじ		個人蔵
12	カピタン橋(出島)	堤けんじ		個人蔵
13	出島の表門橋	堤けんじ		個人蔵
14	出島の石倉	堤けんじ		個人蔵
15	春徳寺(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
16	シーボルト宅跡(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
17	シーボルト記念館(長崎市)	堤けんじ		個人蔵

No.	資料名	作者	制作年など	所蔵
18	一の瀬橋(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
19	日見峠 向井去来の句碑(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
20	役屋敷跡(長崎市矢上)	堤けんじ		個人蔵
21	古賀の藤棚(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
22	滝ノ観音 ふしぎ門(長崎市)	堤けんじ		個人蔵
23	飛び石 本明川(諫早市)	堤けんじ		個人蔵
24	草場小路(大村市)	堤けんじ		個人蔵
25	大渡野番所(諫早市)	堤けんじ		個人蔵
26	松原と鹿の島弁財天(大村市)	堤けんじ		個人蔵
27	茶畑と虚空蔵山(長崎県東彼杵郡川棚町)	堤けんじ		個人蔵
28	大楠の跡(長崎県東彼杵郡東彼杵町)	堤けんじ		個人蔵
29	嬉野古湯温泉(佐賀県嬉野市)	堤けんじ		個人蔵
30	武雄温泉(佐賀県武雄市)	堤けんじ		個人蔵
31	鳴瀬神社(佐賀県武雄市)	堤けんじ		個人蔵
32	佐賀城鯨の門(佐賀県佐賀市)	堤けんじ		個人蔵
33	柳町(佐賀県佐賀市)	堤けんじ		個人蔵
34	下村湖人の生家(佐賀県神埼市)	堤けんじ		個人蔵
35	秋葉町あたり(佐賀県鳥栖市)	堤けんじ		個人蔵
36	神埼真光寺鐘楼	堤けんじ		個人蔵
37	えびす像と参道碑(筑前内野) (福岡県飯塚市)	堤けんじ		個人蔵
38	構え口(筑前山家)(福岡県筑紫野市)	堤けんじ		個人蔵
39	嘉穂劇場(福岡県飯塚市)	堤けんじ		個人蔵
40	納祖八幡神社(福岡県飯塚市・義祖八幡宮)	堤けんじ		個人蔵
41	小竹町(福岡県鞍手郡小竹町)	堤けんじ		個人蔵
42	木屋瀬宿場踊り(福岡県北九州市八幡西区)	堤けんじ		個人蔵
43	日の出大橋(福岡県直方市)	堤けんじ		個人蔵
44	銀杏屋敷(福岡県北九州市八幡西区)	堤けんじ		個人蔵
45	常盤橋(福岡県北九州市小倉)	堤けんじ		個人蔵
46	黒崎曲里の松(福岡県北九州市八幡西区)	堤けんじ		個人蔵

(2)長崎の黄檗—隠元禪師と唐寺をめぐる物語—

1. 展示概要

承応3年(1654)の臨済僧・隠元隆琦の来日は、黄檗禪の教えだけでなく様々な中国の文化を日本へもたらしたことで知られる。隠元の初登宝地である長崎には中国の影響を色濃く残す「唐寺」と呼ばれる黄檗寺院が四カ寺あり、長崎における日中交流の拠点として認識されてきた。本展では、隠元の事蹟を辿ると同時に、近年の調査によって見出された唐寺の寺宝を中心に、江戸時代の文化に多大な影響を与えた黄檗文化の源流として「長崎ならではの黄檗文化」を紹介した。

開催期間：令和4年(2022)10月15日(土)～11月27日(日)

休館日：10月17日(月)、11月7日(月)、11月21日(月) 41日間

観覧料金：大人800円(600円)、高校生以下無料
※()は前売及び15名以上の団体料金
※常設展観覧券とセットで大人1000円
※長崎れきぶん友の会、キャンパスメンバーズは無料
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難

病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証保持者とその介護者1名は前売・団体料金

主催：「長崎の黄檗展」実行委員会(長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館)

共催：長崎新聞社、KTNテレビ長崎

後援：中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会

総入館者数：5,734名(1日平均140名)

2. 展示構成

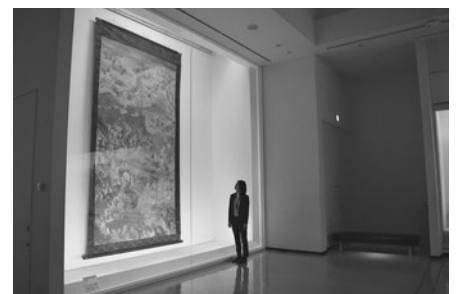
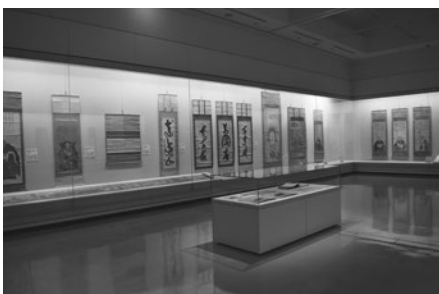
序章 隠元渡来前夜

第1章 隠元禪師の渡来

第2章 隠元禪師もたらしたもの

第3章 華開く黄檗文化

第4章 今に息づく黄檗文化と長崎



3. 関連行事

(1) 講演会

※いずれも事前予約制(先着順)

ホール：定員70名

講座室：定員15名

・長崎学講座エキスパート

「長崎の黄檗展」をより楽しむ」

場 所：1階講座室

日 時：10月15日(土)10:30～12:00

講 師：長岡枝里(当館研究員)

参加者：18名

・長崎学講座スタンダード

「唐寺の仏像」

場 所：1階ホール

日 時：10月22日(土)14:00～15:30

講 師：楠井隆志氏(福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 新県立美術館建設室参事)

参加者：34名

・長崎学講座スタンダード

「長崎の「御絵像さま」と黄檗肖像画」

場 所：1階ホール

日 時：10月29日(土)14:00～15:30

講 師：錦織亮介氏(元福岡市美術館館長)

参加者：45名

・長崎学講座エキスパート

「海を渡る黄檗僧たち」

場 所：1階講座室

日 時：10月30日(日)14:00～15:30

講 師：深瀬公一郎(当館研究員)

参加者：24名

・長崎学講座スタンダード

「長崎の黄檗」とは何だったのか？」

場 所：1階ホール

日 時：11月19日(土)14:00～15:30

講 師：長岡枝里(当館研究員)

参加者：48名

(2) トークショー ※事前予約制(先着順)

「長崎の黄檗一隠元をめぐる人々と長崎の町」

場 所：1階ホール

日 時：11月5日(土)14:00～15:00

登壇：澤田瞳子氏(小説

家・第165回直木

三十五賞受賞)

聞き手：長岡枝里

(当館研究員)

参加者：71名



(3) 関連ワークショップ

・「かけじく」をさわってみよう

日 時：11月3日(木・祝)

14:00～17:00

※随時受付

場 所：2階ロビー

参加費：無料

対 象：小学生以上

参加者：31名



・ココウォーク出張ワークショップ「しろくろバッジ」

日 時：11月5日(土)11:00～15:00 ※随時受付

場 所：みらい長崎ココウォーク 2階ココスクエア

参加費：100円

対 象：どなたでも

参加者：11名

・プラバン根付作り

日 時：11月6日(日)14:00～17:00 ※随時受付

場 所：1階エントランス

参加費：200円

対 象：どなたでも

参加者：8名

・月イチワークショップ「しろくろバッジ」

日 時：11月11日(金)15:30～18:30 ※随時受付

場 所：1階エントランス

参加費：100円

対 象：どなたでも

参加者：43名

・てんじしつのおはなしツアー お～ばく編

日 時：11月13日(日) ①14:00～ ②16:00～

場 所：3階企画展示室

参加費：無料(時間内に限りチケット不要)

対 象：幼児～高校生、保護者の方

定 員：各回5組

※事前申込

参加者：11名



(4) 配布物

入口カウンター横にパネルとともに設置し、来場者に自由に手にとっていただいた。

・修学旅行生～一般向け解説プリント「にやがさきのお～ばく!？」

・隠元さんイラストぬりえ

4. 展示リスト

NO.	指定	資料名	作者名	制作年	所蔵
序章 隠元禪師渡来前夜					
1		隠元騎獅像	喜多道矩画・隠元隆琦賛	江戸時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 画像(黄檗)11
2		寛文長崎図屏風(左隻)	画家不詳	江戸時代・17世紀末	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)29-1
3		大明九辺万国人跡路程全図 康熙2年	王君甫撰・梅村弥白重梓	江戸時代・17世紀 (原図：康熙2年)	長崎歴史文化博物館 県書 3 82-1
4		唐館図絵巻	石崎融思筆	享和元年(1802)	長崎歴史文化博物館 県美博 A2ハ0065
5		菩薩揚(唐船来於葦海之日捧呈信牌以主船神天后娘々上岸托置唐寺路上排行之圖)	長崎版画	江戸時代・19世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 A3ハ0084
6		長崎風景眼鏡絵 唐寺江ボサ船揚之図	画家不詳	江戸時代・19世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 A2ハ0049-003
7		清俗紀聞 第六 卷之十二「天后聖母」	中川忠英編・石崎融思等画	寛政11年(1799)刊	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 380-2-6
8		分紫山福濟禪寺創建 上諭禁條縁記	馬場利重	寛永19年(1642)	福濟寺
9		福濟寺 山号寺号庵号 諸伽藍并代々住持 唐僧来朝年数(写本)	福濟寺 (福田忠昭ほか写)	原本：宝永6年 (1709)ほか	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-9
10		興福寺 山号寺号庵号 諸伽藍并代々住持 唐僧来朝年数	興福寺	原本：宝永年間 (1704~1711)頃	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-96
11		聖寿山崇福寺記(写本)	原本：崇福寺 (福田忠昭ほか写)	原本：寛文12年(1672)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-55
12	重要文化財	長崎寺社帳 町方郷方 宝永4年	長崎奉行所	宝永4年(1707)	長崎歴史文化博物館 県書 B)11 13-1
13		三大寺誌(写本)	原本：山本條右衛門写 (福田忠昭ほか写)	原本：寛政12年(1800)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-5
14		清俗紀聞 第六 卷之十二 祭禮より「真容図」	中川忠英編 石崎融思等画	寛政11年(1799)刊	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 380-13-6
15		何高材墓地出土品(燭台、香炉、花立)		明~清時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 陶(中国)31.32.33
16		王心渠像	喜多元規画・千呆性佞題	延宝7年(1679)賛	神戸市立博物館
17		魏之琰行楽図	謝重燕筆	康熙23年(1684)	個人蔵
18		魏之琰之像(己巳本)	喜多元規画・千呆性佞賛	元禄2年(1689)賛	個人蔵
19		魏之琰夫妻像	画家不詳	江戸時代・17~18世紀	個人蔵
20		開祖林公琰一官絵像	画家不詳	江戸時代・17~18世紀	長崎歴史文化博物館 市博 画像(長崎)37
21		要徹院一水劉公八府君絵像(劉一水像)	画家不詳	江戸時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 画像(長崎)20
22		徐敬雲像	画家不詳	江戸時代・17世紀	個人蔵
23		高祖呉一官絵像	画家不詳・木庵性瑠賛	延宝5年(1677)賛	長崎歴史文化博物館 市博 画像(長崎)46
24		獨立性易像	喜多元規画・獨立性易賛	寛文7年(1667)賛	長崎歴史文化博物館 市博 画像(黄檗)13
25		獨立性易像	画家不詳・獨立性易賛	江戸時代・17世紀	神戸市立博物館
26		花卉図巻	狩野洞雲(益信)画・獨立性易賛	万治元年(1658)画、 寛文9年(1669)賛	長崎歴史文化博物館 市博 絵(黄檗)14
27		戴曼公自用印影	中井敬所編	明治23年(1890)識	長崎歴史文化博物館 県書 へ18 166(渡辺文庫)
28		興福寺筆記	雪窓宗崔筆	正保4年(1647)	多福寺
29		道者超元像	画家不詳・道者超元賛	万治元年(1658)賛	多福寺
第1章 隠元禪師の来日					
30		隠元隆琦尺牘 第一請啓復書	隠元隆琦筆	順治9年(1652)	萬福寺
31		黄檗開山国師来朝到岸之図	禪統真紹筆	江戸時代・19世紀	法田寺
32		無心性覚墨蹟	無心性覚筆	寛文4年(1664)	長崎歴史文化博物館 市博 書(黄檗)27
33		逸然性融像	上野若元画・百拙元養賛	元文5年(1740)賛	王龍寺
34		黙子如定像	画家不詳・竺庵浄印賛	江戸時代	興福寺
35		蘊謙戒琬像	謝時中画・蘊謙戒琬賛	延宝元年(1673)賛	福濟寺

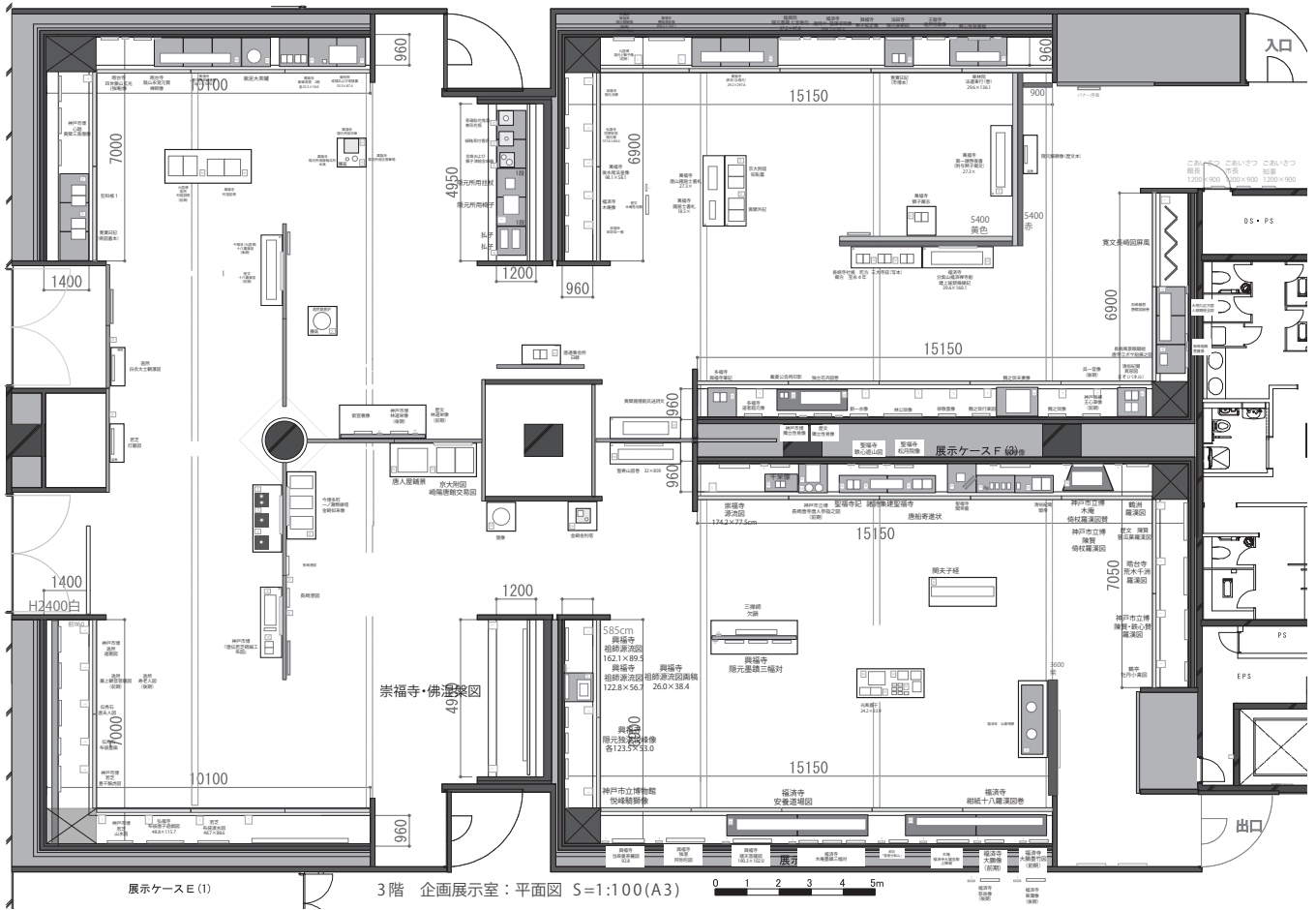
NO.	指定	資料名	作者名	制作年	所蔵
36		法運東行	隠元隆琦筆 隠元隆琦ほか27僧	順治10年(1653)	東林院
37		寛永至宝永日記(寛宝日記)		寛永10年～宝永5年(1633～1708)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 210-72-2
38		隠元隆琦墨蹟 七言二句	隠元隆琦筆	明暦元年(1655)	龍興院
39		獅子巖志	隠元隆琦述・獨往性幽序	永暦8年(1654)序	萬福寺
40		源流(与隠元)	費隠通容筆	崇禎10年(1637)	萬福寺
41		費隠通容像	張琦筆・費隠通容賛	崇禎15年(1642)賛	萬福寺
42		知恥編	向井元升筆	明暦元年(1655)	京都大学附属図書館
43		諸居士書札	鄭彩ほか45名	江戸時代・17世紀	萬福寺
44		黄檗外記(市史編修部写本) 原本：妙心寺春光院蔵本	無著道忠著	原本：享保5年(1720)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-27
45		隠元騎獅像	楊道真画・慧門如沛賛	明暦3年(1657)賛	天真院
46		隠元及び獅子像	楊道真画・隠元隆琦賛	江戸時代・17世紀	九州国立博物館
47		隠元隆琦法像	喜多道矩画・隠元隆琦賛	寛文3年(1663)賛	崇福寺
48	墨田区登録文化財(一括)	隠元隆琦像	狩野安信画・隠元隆琦賛	江戸時代前期・17世紀	弘福寺
49		後水尾法皇像	照山元瑤(光子内親王)筆	江戸時代・17世紀	萬福寺
50		木庵性瑠像	喜多道矩画・木庵性瑠賛	明暦3年(1657)頃	長崎歴史文化博物館 市博 画像(黄檗)10
51		木庵性瑠像	楊道真画カ・木庵性瑠賛	明暦3年(1657)	福濟寺
52		即非如一像	喜多元規画カ・即非如一賛	江戸時代・17世紀	崇福寺
53		黄檗諸僧劉氏送詩文	慧林性機、龍溪宗潜、獨湛性瑩、高泉性激、獨吼性獅、南源性派、改玄道収、悦山道宗、慈岳定琛、月潭道澄、義般無明	寛文2年(1662)	長崎歴史文化博物館 市博 書(黄檗)49
54		唐通事會所日録 壹	唐通事會所 長崎区役所写	原本：寛文3年～正徳5年(1663～1715)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 660-76-1～9
55		林道栄像	画家不詳・道本寂伝賛	江戸時代・18世紀	長崎歴史文化博物館 市博 画像(長崎)39
56		林道栄像	画家不詳・伝翁祖心賛	江戸時代・17世紀末～18世紀初	神戸市立博物館
57		劉宣義像	画家不詳・千呆性俊賛	元禄11年(1698)	長崎歴史文化博物館 市博 画像(長崎)21
58		在逸然銘唐金香炉	逸然性融銘	慶安3年(1650)カ	長崎歴史文化博物館 市博 金工(日本)67
第2章 隠元禪師がもたらしたもの					
59		払子	隠元隆琦所用	江戸時代・17世紀	萬福寺
60		払子	隠元隆琦所用	江戸時代・17世紀	萬福寺
61		椅子	隠元隆琦所用	明～清時代・17世紀	萬福寺
62		拄杖	隠元隆琦所用	江戸時代・17世紀	萬福寺
63		念珠および獅子漆絵念珠箱	隠元隆琦所用	明～清時代・17世紀	萬福寺
64		緑釉耳付香炉	隠元隆琦所用	明～清時代・18世紀	萬福寺
65		青磁貼花鬼面尊形花瓶	隠元隆琦所用	明～清時代・19世紀	萬福寺
66		印章	隠元隆琦所用	明～清時代・20世紀	萬福寺
67		沈香筆筒	隠元隆琦所用	明～清時代・21世紀	萬福寺
68		緑釉瓜形水滴	隠元隆琦所用	明～清時代・22世紀	萬福寺
69		紫泥大茶碇(パネル展示)	隠元隆琦所用	明時代・17世紀	萬福寺
70		戒牒および戒牒囊		明時代・崇禎10年(1637)	東林院
71		黄檗清規	隠元隆琦序 高泉性激編	寛文12年(1672)	萬福寺
72		黄檗宗鑑録	高泉性激編	寛政2年(1790)刊	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-47-1
73		列祖図冊	逸然性融画・隠元隆琦題・木庵性瑠賛跋	寛文元年(1661)画、寛文2年(1662)序跋、天和元・2年(1681・82)賛	九州国立博物館
74		古祖師図冊(五葉西来)	画家不詳・隠元隆琦題、序	明時代・17世紀 明暦3年(1657)序	萬福寺

NO.	指定	資料名	作者名	制作年	所蔵
75		雪中煮茶詩書卷	隠元隆琦ほか筆	寛文12年(1672)	萬福寺
76		十八羅漢図巻	范爵画・隠元隆琦序・木庵性瑫、 即非如一賛および跋	順治18年(1661)画	千眼寺
77		十八羅漢図巻	范爵画・隠元隆琦序・木庵性瑫、 即非如一賛および跋	寛文4年(1664)序跋	長崎歴史文化博物館 市博 絵(黄檗)17
78	長崎 県指 定有 形文 化財	鼓山永覚元賢禪師像	画家不詳・鼓山永覚元賢賛	清時代・17世紀	皓台寺
79		四世蒙山玄光(独庵)像	喜多元規画・蒙山玄光題	元禄2年(1689)	皓台寺
80		黄檗三高僧像(密雲・費隱・隠元)	心越興儔画・独湛性瑩賛	江戸時代・17世紀	神戸市立博物館
81	重要 文化 財	犯科帳 1 / 自寛文6年10月至元禄 4年11月 從寛文六年十月至元禄四未年十一 月	長崎奉行所	寛文6年～元禄4年 (1666～1691)	長崎歴史文化博物館 県書 B)14 1-1 1
第3章 華開く黄檗文化					
82		白衣大士観瀑図	逸然性融画・即非如一賛	寛文5年(1665)	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)156
83		達磨図	逸然性融画・隠元隆琦賛	江戸時代・17世紀	神戸市立博物館
84		巖上観音菩薩図	逸然性融画・木庵性瑩賛	明暦3年(1657)	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)302
85		寿老人図	逸然性融画・隠元隆琦賛	江戸時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)454
86		唐美人図	伝渡辺秀石筆	江戸時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)129
87		布袋図	渡辺秀石画・林道栄賛	江戸時代・17～18世紀初	長崎歴史文化博物館 市博 絵(黄檗)21
88	墨田 区登 録文 化財 (一括)	布袋唐子遊戯図	画家不詳	中国・清時代	弘福寺
89		布袋渡水図	蘭溪若芝筆	貞享3年(1690)	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)69
90		石燈籠図	蘭溪若芝筆	貞享2年(1685)	個人蔵
91		山水図	蘭溪若芝筆	延宝3年(1675)	神戸市立博物館
92		豊干騎虎図	蘭溪若芝筆	延宝5年(1677)	神戸市立博物館
93		山水図鏝 銘若芝喜左衛門	若芝喜左衛門	江戸時代・17～18世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 Dイ0025-1
94		山水図鏝 銘若芝喜左衛門	若芝喜左衛門	江戸時代・17～18世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 Dイ0025-2
95		山水図鏝 銘若芝風喜斎	若芝是幸	江戸時代・19世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 Dイ0003
96		雲龍文鏝 銘崎陽山人若芝	若芝是高	江戸時代・19世紀	長崎歴史文化博物館 市博 金工(日本)31
97		唐伝若芝一流鏝細工系図	永見和三朗(若芝是高)	嘉永4年(1851)	神戸市立博物館
98		若芝細工之儀ニ付御銀拝借願	永見達左衛門(若芝是幸)	文政8年(1825)	長崎歴史文化博物館 県書 ト14 496(藤文庫)
第4章 今に息づく黄檗文化と長崎					
99		肥前長崎図	今見屋版	享和元年(1801)	長崎歴史文化博物館 県書 3 465
100		長崎細見図	文錦堂版	嘉永4年(1851)	長崎歴史文化博物館 市博地図資料 図113
101		一の瀬無縁塔 金銅仏像(釈迦如来・ 観音菩薩・阿弥陀如来)	赤星宗徹	寛文2年(1662)	今博多町
102		長崎名勝図絵 稿本 五 「崇福寺巨 鍋」	饒田諭義編・打橋竹雲画	江戸時代・17～18世紀	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 210-59-5
103		制詞	崇福寺 知客寮	江戸時代	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-12
104		唐館内臨時法事要書(写本)	崇福寺 (福田忠昭ほか写)	原本：天保6年(1835)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-26
105		唐人屋鋪景	豊嶋屋版	安永9年(1780)	長崎歴史文化博物館 県書 3 163-2

NO.	指定	資料名	作者名	制作年	所蔵
106		崎陽唐館交易図	画家不詳	清時代カ	京都大学附属図書館
107		本寺請唐僧一件(写本)	福濟寺 (福田忠昭ほか写)	原本：宝暦11年(1761)	長崎歴史文化博物館 市博文書資料 181-8
興福寺					
108		祖師源流画像	画家不詳	江戸時代	興福寺
109		祖師源流図	山本若麟筆	江戸時代	興福寺
110		祖師源流図画稿	画家不詳(若元または若麟カ)	江戸時代	興福寺
111		隠元・獨湛・悦峯像	喜多元規画・独湛性瑩題	江戸時代	興福寺
112		悦峯道章像	小原慶山画・高玄岱賛	江戸時代・17～18世紀	神戸市立博物館
113	長崎 市指 定有 形文 化財	隠元墨蹟「鳥唱千林曉」「慧日正東明」 「花開萬國春」	隠元隆琦筆	江戸時代・17世紀	興福寺
114		當麻曼荼羅図	独湛性瑩賛	江戸時代・18世紀	興福寺
115		阿弥陀如来像	独湛性瑩筆	元禄12年(1699)頃	興福寺
116		諸天菩薩図	兪仲烈筆	嘉慶7年(1802)供奉	興福寺
117		猿像		江戸時代・19世紀	興福寺
崇福寺					
118	重要 文化 財	仏涅槃図	呉彬筆	万暦38年(1610)	崇福寺
119		源流列祖図	画家不詳	江戸時代・17世紀	崇福寺
120	長崎 市指 定有 形文 化財	金銅舍利塔および舍利殿		江戸時代・17～18世紀	崇福寺
121		三門門扉獸環(小)		嘉永2年(1849)頃	崇福寺
122		松日の出獅子図	江戸時代前期	江戸時代・17～18世紀	崇福寺
123		千呆性倭像	画家不詳・千呆性倭賛	江戸時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 市博 画像(黄檗)12
124		聖寿山図詩巻	永井元真画・大衡海権題・詩、 林道栄跋	宝永5年(1708)跋	長崎歴史文化博物館 市博 絵(黄檗)16
125		長崎唐寺唐人参詣之図	大和屋由平版	嘉永3年(1850)頃	神戸市立博物館
福濟寺					
126	長崎 市指 定有 形文 化財	木庵性瑫墨蹟「千歳竹」「萬國春」「太古 梅」	木庵性瑫筆	江戸時代・17世紀	福濟寺
127	長崎 市指 定有 形文 化財	即非如一墨蹟「雲連分紫山」	即非如一筆	江戸時代・17世紀	福濟寺
128		福濟寺大雄宝殿上棟偈	木庵性瑫筆	明暦元年(1655)	福濟寺
129		十六羅漢図巻	金聲画・木庵題・即非跋	清時代、江戸時代・17世 紀	福濟寺
130		西方極楽世界阿弥陀仏安養道場図巻		清時代	福濟寺
131		慈岳定琛像	呉楨画・慈岳定琛題	貞享2年(1685)賛	福濟寺
132		東瀾宗澤像	喜多元規画・東瀾宗澤題	江戸時代・17～18世紀	福濟寺
133		大鵬性鯤像	画家不詳・大鵬正鯤賛	明和2年(1765)	福濟寺
134		竹石図	大鵬正鯤筆	享保13年(1728)	福濟寺
135		分紫山福濟禪寺境内略図	修翠館銅刻、三浦実道誌	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館 県書 3K 920
136		光風盖宇	三浦実道編	大正13年(1924)	長崎歴史文化博物館 県書 11 39-2
137		福濟寺大雄宝殿写真	吉原写真館(長崎市)カ		長崎歴史文化博物館 県書 18 1-3 1
138		福濟寺大観門写真			長崎歴史文化博物館 市博写真資料 D22

NO.	指定	資料名	作者名	制作年	所蔵
139		福濟寺護法堂写真			長崎歴史文化博物館 市博写真資料 D19
140		絵葉書・分紫山福濟寺全景			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)277
141		絵葉書・福濟寺山門			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)278
142		絵葉書・福濟寺大観門			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)279
143		絵葉書・福濟寺青蓮堂			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)280
144		絵葉書・福濟寺大雄寶殿内陣			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)282
145		絵葉書・福濟寺護法堂の一佛布袋像			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)283
146		絵葉書・福濟寺書院大壁画			長崎歴史文化博物館 市博 絵葉書(長崎)284
147		神将像残欠(胴体部)		明時代、もしくは江戸時代	福濟寺
聖福寺					
148	長崎市 指定 有形 文化財	黄檗三禅師次韻	隠元隆琦・木庵性瑫・即非如一筆	寛文9・10年(1669・70)	聖福寺
149		萬寿山聖福寺由来(写本)	聖福寺 (福田忠昭ほか写)	原本：江戸時代・18世紀	長崎歴史文化博物館 市博文書 181-18
150		鉄心遊山図	画家不詳	江戸時代・17~18世紀	聖福寺
151		松月院像	喜多元規画・木庵性瑫賛	寛文9年(1669)	聖福寺
152		諸詩集建聖福寺	牛込忠左衛門勝登ほか	江戸時代・18世紀	聖福寺
153		嘗瓜菓羅漢図	陳賢画・木庵性瑫賛	明~清時代・17世紀	長崎歴史文化博物館 県美博 A1イ0190
154		倚杖羅漢図	陳賢筆	明~清時代・17世紀	神戸市立博物館
155		倚杖羅漢図賛	木庵性瑫筆	江戸時代・17世紀	神戸市立博物館
156		羅漢図	渡辺鶴洲筆	江戸時代・19世紀	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)436
157		羅漢図	荒木千洲画・大機玄乗賛	安政3年(1856)	皓台寺
158		羅漢図	陳賢画・鉄心道胖賛	明~清時代・17世紀、 宝永6年(1709)賛	神戸市立博物館
159		関帝像	范道生画・木庵性瑫賛	寛文4年(1664)	聖福寺
160		関夫子経	林義弼書・兪直俊刊	享保3年(1718)刊	長崎歴史文化博物館
161		籤詩版本 附籤題箋		慶応3年(1867)	聖福寺
162		関帝靈籤		光緒3年(1877)	聖福寺
163		清俗紀聞 第六 卷之十二「関帝」	中川忠英編 石崎融思等画	寛政11年(1799)刊	長崎歴史文化博物館
164		唐船寄附状帖		宝永3年(1706)	聖福寺
165		牡丹小禽図	鶴亭画・大鵬正鯤賛	宝暦8年(1758)画、 宝暦9年賛	長崎歴史文化博物館 市博 絵(長崎)101

5. 展示図面



(3) 写真展「写真家が捉えた昭和のこども」

1. 展示概要

写真家が捉えたこどもの写真には、子どもたちの暮らしぶり、ひいては世界の変貌のありようが映しだされている。本展は、木村伊兵衛、土門拳、濱谷浩、林忠彦など日本の写真界に大きな足跡を残した19人の写真家が捉えたこども写真170点を通して、戦前から高度経済成長期にかけての昭和の歩みを展示した。

会 期：令和4(2022)年12月24日(土)～令和5(2023)2月12日(日) 44日間

休 館 日：12月28日(水)～31日(土)、1月3日(火)、1月16日(月)、2月6日(月)

会 場：長崎歴史文化博物館3階企画展示室

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：KTNテレビ長崎

協 賛：(株)インテックス

後 援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会

企画協力：クレヴィス

開館時間：9:30～18:00

※令和5(2023)年1月1日～2日は10:00～18:00

観 覧 料：大人500円(団体・前売り400円)、小中高生300円(団体・前売り250円)

※長崎れきぶん友の会、キャンパスメンバーズは無料

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証保持者とその介護者1名は前売・団体料金

総入館者数：3,075名

2. 展示構成

第1章 戦前のこどもたち

第2章 困難な時代を生きる

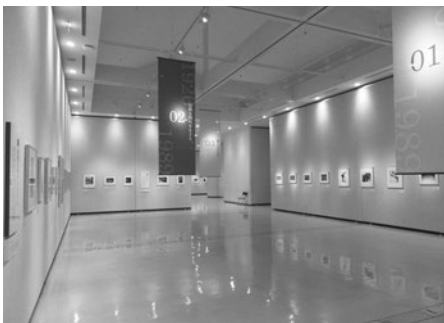
第3章 働くこどもたち

第4章 楽しい学校生活

第5章 腕白小僧とお転婆娘

第6章 祭りと歳時記

第7章 高度経済成長期のもとで



3. 関連行事

(1) 講演会

・「昭和歌謡・スタンダード・ナガサキ」

日 時：1月14日(土) 10:30～12:00

場 所：1階ホール

講 師：高浪慶太郎氏(ミュージシャン・音楽プロデューサー)

聴講料：無料

定 員：70名

参加者：44名

・「土門拳の生涯と仕事における“こども写真”の位相」

日 時：2月4日(土) 14:00～15:30

場 所：1階ホール

講 師：田中耕太郎氏(土門拳記念館学芸員)

聴講料：無料

定 員：70名

参加者：41名



(2) イベント

・「おしゃべり鑑賞会」

日 時：1月12日(木)、2月11日(土) 15:00～16:00

場 所：3階企画展示室

参加費：無料(※企画展チケットが必要)

定 員：各日10名

参加者：7名

・「長崎の昭和について語ろう」

日 時：1月15日(日)

①11:00～12:00 ②14:00～15:00

場 所：1階講座室

参加費：無料

定 員：各回6名

参加者：11名

・「佐世保独楽回し 長崎大会」

日 時：1月29日(日) 13:00～15:00

場 所：1階エントランス

講 師：佐世保独楽本舗三代目 山本貞右衛門氏

参加費：無料

参加者：110名



(3) ワークショップ

・「オリジナルの羽子板作り」

日 時：1月21日(土)

①11:00～12:00 ②14:00～15:00

場 所：1階エントランス

参加費：400円

定 員：各回14名

参加者：31名



・「佐世保独楽絵付け体験—今年の干支を描いてみよう—」

日 時：1月29日(日)

①10:00～11:00 ②14:00～15:00

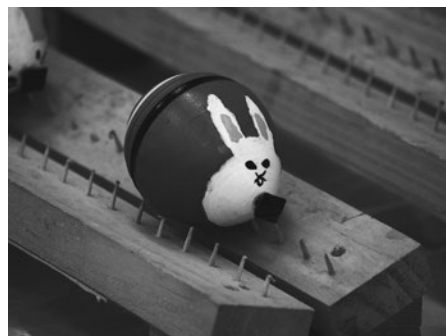
場 所：1階講座室

講 師：佐世保独楽本舗 山本優子氏

参加費：900円(れきぶん限定料金)

定 員：各回12名

参加者：28名



4. 展示リスト

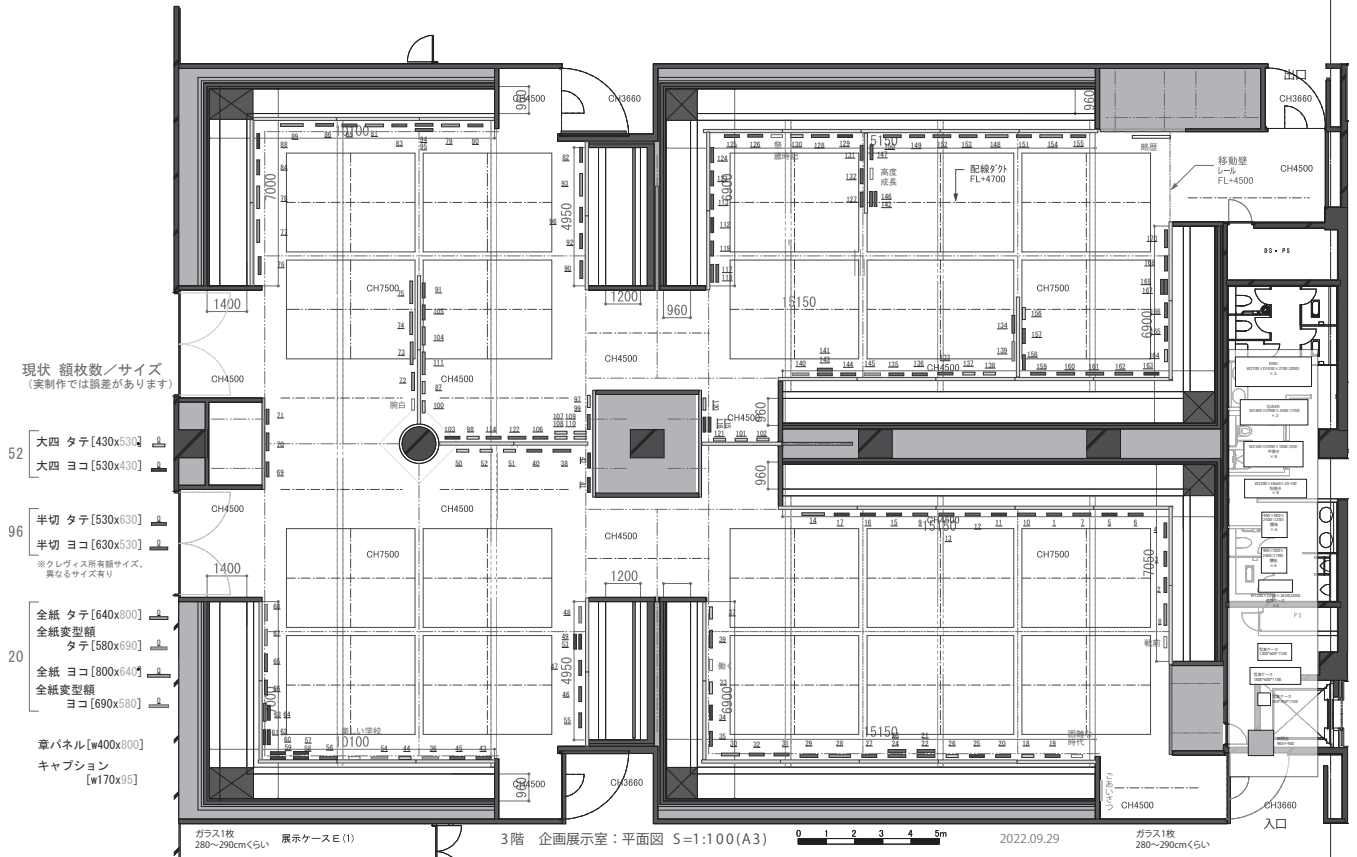
No.	写真家	作品タイトル	撮影地	撮影年
第1章 戦前のこどもたち				
1	濱谷浩	鳥追い 村の子供	新潟県・桑取谷	昭和15-21年(1940-46)
2	土門拳	水浴び	伊豆・静浦	昭和11年(1936)
3	土門拳	山女釣り	伊豆・静浦	昭和11年(1936)
4	土門拳	農村の記念写真	栃木県筑波村	昭和16年(1941)
5	桑原甲子雄	久地梅林	神奈川県・久地梅林付近	昭和11年(1936)
6	土門拳	老翁と少女	宮城県	昭和14年(1939)
7	土門拳	寒風のこども	(不明)	昭和11-12年頃(1936-37頃)
8	土門拳	傘を回すこども	東京・小河内村	昭和12年頃(1937頃)
9	濱谷浩	地藏様年始	新潟県・桑取谷	昭和15年(1940)
10	濱谷浩	鳥追いでる	新潟県・桑取谷	昭和15年(1940)
11	濱谷浩	歌ってゆく鳥追い	新潟県・桑取谷	昭和15年(1940)
12	濱谷浩	焼草集めの子供	新潟県・桑取谷	昭和15-21年(1940-46)
13	濱谷浩	賀祝い	新潟県・桑取谷	昭和15-21年(1940-46)
14	植田正治	少女四態	鳥取県・境港	昭和14年(1939)
15	芳賀日出男	電車を見に来た子	横浜・東横線日吉駅	昭和16年(1941)
16	土門拳	あめ屋	横浜・山下町	昭和12年(1937)
17	木村伊兵衛	子ども	沖縄	昭和11年(1936)
第2章 困難な時代を生きる				
18	木村伊兵衛	少年鼓笛隊のパレード	東京・銀座	昭和14年(1939)
19	土門拳	国民精神総動員の正月	東京・皇居前のたこあげ大会	昭和13年(1938)
20	木村伊兵衛	子どもの隣組	東京・牛込区矢来町	昭和15-16年(1940-41)
21	土門拳	国民学校の授業	神戸・本山第2国民学校	昭和17年(1942)
22	土門拳	奉安殿	神戸・本山第2国民学校	昭和17年(1942)
23	濱谷浩	疎開学童の世話をする女子教諭	宮城県・鳴子温泉	昭和20年(1945)
24	濱谷浩	疎開学童の炭運び	宮城県・鳴子温泉	昭和20年(1945)
25	林忠彦	国民学校の軍事教練	山梨県・塩山国民学校	昭和18年(1943)
26	林忠彦	カルタ会でくつろぐ少年工	(不明)	昭和19年(1944)
27	山端庸介	おにぎりを持つ母と子	長崎市井樋ノ口町附近	昭和20年8月10日(1945.8.10)
28	木村伊兵衛	焼け跡のこども	東京・東銀座	昭和20年秋(1945秋)
29	木村伊兵衛	進駐軍の兵士と手をつなぐこどもたち	東京・上野公園	昭和20年秋(1945秋)
30	林忠彦	煙草をくゆらす戦災孤児	東京・上野駅	昭和21年(1946)
31	林忠彦	引揚げ	東京・上野駅	昭和21年(1946)
32	林忠彦	自転車のリムを回して物乞いする戦災孤児	東京・上野駅	昭和21年(1946)
33	土門拳	かつぎ屋の子	(不明)	昭和24年(1949)
34	木村伊兵衛	新聞売り	東京・両国	昭和23年(1948)
35	林忠彦	靴みがきの戦災孤児	東京・上野	昭和21年(1946)
第3章 働くこどもたち				
36	緑川洋一	客の応対	大阪・井池	昭和27-29年(1952-54)
37	芳賀日出男	稲刈り	鹿児島県・奄美大島有屋	昭和30-32年(1955-57)
38	土門拳	田植え	秋田	昭和32年(1957)
39	木村伊兵衛	枯れ枝拾いのこどもたち	長野県上田市	昭和24年(1949)
40	林忠彦	炭焼小屋	岩手県下閉伊郡	昭和33年(1958)
41	熊谷元一	綿羊	長野県・浪合村	昭和30年(1955)
42	熊谷元一	薪づくり	長野県・会地村	昭和32年(1957)
43	木村伊兵衛	お手伝い	東京・銀座	昭和27年(1952)
44	緑川洋一	少年も大忙し	大阪・井池	昭和27-29年(1952-54)
45	土門拳	新聞配達	東京・築地明石町	昭和28-29年(1953-54)
46	田沼武能	家業の手伝いをする少年	熊本県・天草崎津	昭和31年(1956)
47	林忠彦	行商の子	鹿児島県・奄美大島	昭和28年(1953)
48	井上孝治	大きな魚が捕れた	沖縄・糸満漁港	昭和34年(1959)
49	長野重一	昆布を運ぶ少女	北海道根室市・歯舞	昭和31年(1956)
50	麦島勝	蛸干し	熊本県・天草佐伊津	昭和38年(1963)

No.	写真家	作品タイトル	撮影地	撮影年
51	麦島勝	薪はこび	熊本県・四浦村	昭和26年(1951)
52	麦島勝	お手伝い	熊本県・深田村	昭和23年(1948)
53	井上孝治	お手伝い	沖縄・金武	昭和34年(1959)
54	土門拳	お使い小僧	大阪・新橋	昭和30年(1955)
55	長野重一	魚屋の子ども	東京・築地	昭和24年(1949)
第4章 楽しい学校生活				
56	熊谷元一	コッペパンをかじる	長野県・会地村	昭和28年(1953)
57	熊谷元一	入学の日	長野県・会地村	昭和28年(1953)
58	熊谷元一	ベビーブーム	長野県・会地村	昭和32年(1957)
59	熊谷元一	そろそろあきた	長野県・会地村	昭和28年(1953)
60	熊谷元一	数あそび	長野県・会地村	昭和28年(1953)
61	熊谷元一	教室の薪ストーブに手をかざす子どもたち	長野県・会地村	昭和25年(1950)
62	熊谷元一	黒板絵	長野県・会地村	昭和28年(1953)
63	熊谷元一	冬とこども	長野県・会地村	昭和29年(1954)
64	熊谷元一	あるけんか	長野県・会地村	昭和28年(1953)
65	田沼武能	雨漏り	東京・荒川区立第九峡田小学校	昭和39年(1964)
66	林忠彦	分教場	岩手県久慈市山根	昭和33年(1958)
67	濱谷浩	頭上運搬で通学	鹿児島市・桜島	昭和34年(1959)
68	濱谷浩	吊りカゴで通学	高知県・本山町井尻	昭和34年(1959)
69	田沼武能	学校給食	東京	昭和34年(1959)
70	齋藤康一	学校給食	東京	昭和45年(1970)
71	入江泰吉	写生	奈良県・石舞台	昭和26年(1951)
第5章 腕白小僧とお転婆娘				
72	土門拳	とかげ	東京・江東	昭和30年(1955)
73	土門拳	笑う子	東京・江東	昭和28年(1953)
74	木村伊兵衛	紙芝居	東京・月島	昭和29年(1954)
75	土門拳	紙芝居	東京・江東	昭和28年(1953)
76	長野重一	紙芝居	長崎県佐世保市	昭和28年(1953)
77	土門拳	近藤勇と鞍馬天狗	東京・江東	昭和30年(1955)
78	土門拳	ゴミ捨て場	東京・江東	昭和28年(1953)
79	田沼武能	路地裏で縁台将棋	東京・佃島	昭和33年(1958)
80	木村伊兵衛	駄菓子屋	東京・江東界隈	昭和28年(1953)
81	田沼武能	道に落書きをする子どもたち	東京・浅草	昭和36年(1961)
82	田沼武能	ままごとの次はケンカ	東京・浅草	昭和30年(1955)
83	土門拳	ゴム飛び	東京・築地明石町	昭和29年(1954)
84	土門拳	ペーゴマ	東京・江東	昭和28年(1953)
85	木村伊兵衛	本郷付近	東京	昭和28年(1953)
86	土門拳	清洲アパート	東京・江東	昭和28年(1953)
87	井上孝治	三角ベース	福岡県・春日町春日原	昭和31年(1956)
88	土門拳	こま回し	東京・江東	昭和30年(1955)
89	土門拳	三輪車	東京・江東	昭和28年(1953)
90	土門拳	おしくらまんじゅう	東京・江東	昭和28年(1953)
91	土門拳	馬飛び	東京・新橋	昭和28年(1953)
92	田沼武能	おでんやさんが来た	東京・浅草	昭和32年(1957)
93	土門拳	しんこ細工	東京・浅草雷門	昭和29年(1954)
94	土門拳	針金細工	東京・新橋	昭和29年(1954)
95	土門拳	シャボン玉	東京・大井駅前	昭和29年(1954)
96	土門拳	神田っ子	東京・神田	昭和28年(1953)
97	土門拳	子猫	箱根	昭和25年(1950)
98	井上孝治	氷をなめる子	福岡市・新天町商店街	昭和29年(1954)
99	土門拳	おいちいよ	大阪・井池	昭和30年(1955)
100	井上孝治	路上でのキャッチボール	沖縄・首里坂下	昭和34年(1959)
101	飛弾野数右衛門	リヤカー遊びの子供たち	北海道東川・西八号北二番地	昭和24年(1949)
102	飛弾野数右衛門	ブランコの子ども	北海道東川	昭和30年(1955)
103	井上孝治	犬と少年	福岡県・春日町	昭和32年(1957)

No.	写真家	作品タイトル	撮影地	撮影年
104	田沼武能	デパート屋上のスカイクルーザー	東京・浅草	昭和29年(1954)
105	土門拳	たこあげ	東京・築地明石町	昭和30年(1955)
106	土門拳	川遊び	京都・高瀬川	昭和29年(1954)
107	濱谷浩	タコ焼き	京都・祇園	昭和33年(1958)
108	濱谷浩	フラフープ	京都・三条通	昭和33年(1958)
109	濱谷浩	チャンバラ	京都・五条坂	昭和33年(1958)
110	濱谷浩	メンコ	京都・下河原通観音院門前	昭和33年(1958)
111	井上孝治	おばけ屋敷	福岡県若松市	昭和32年(1957)
112	濱谷浩	月光仮面	北海道旭川市	昭和34年(1959)
113	緑川洋一	紙のリボン	香川県高松市・西浜港	昭和27年(1952)
114	芳賀日出男	昔話を聞くこどもたち	鹿児島県・沖永良部島知名町	昭和31年(1956)
115	緑川洋一	子供たち	岡山県倉敷市	昭和30年(1955)
116	岩宮武二	遊ぶ	佐渡・小木町	昭和29-30年(1954-55)
117	濱谷浩	雪の上のコマ回し	青森県弘前市	昭和34年(1959)
118	林忠彦	雪国のこどもたち	(不明)	昭和31年頃(1956頃)
119	濱谷浩	かくれんぼ	秋田県横手市	昭和34年(1959)
120	濱谷浩	草遊び	島根県安来市	昭和34年(1959)
121	岩宮武二	腕白小僧	佐渡・琴浦	昭和29-30年(1954-55)
122	入江泰吉	仲良し	奈良・白毫寺界限	昭和29年(1954)
123	土門拳	逆上がり	伊豆・静浦	昭和28年(1953)
124	濱谷浩	磯遊び	静岡県・松崎町	昭和34年(1959)
125	土門拳	ダイビング	佐渡・小木港	昭和29年(1954)
126	植田正治	へのへのもへの	鳥取県・境港	昭和24年(1949)
第6章 祭りと歳時記				
127	土門拳	阿波踊り	徳島市	昭和30年(1955)
128	土門拳	こども神輿	東京・佃島	昭和31年(1956)
129	土門拳	アイスクャンディー	東京・築地	昭和31年(1956)
130	田沼武能	手古舞	東京・深川	昭和31年(1956)
131	濱谷浩	高山祭り	岐阜県高山市	昭和34年(1959)
132	濱谷浩	太鼓踊り	鹿児島県・加治木町	昭和34年(1959)
133	芳賀日出男	人形浄瑠璃に見入るこどもたち	徳島市	昭和37年(1962)
134	濱谷浩	亥の子餅	広島県・向島町立花	昭和34年(1959)
135	芳賀日出男	花鎮め	京都	昭和38年(1963)
136	土門拳	七夕飾り	大阪	昭和29年(1954)
137	芳賀日出男	盆燈籠	鹿児島県・奄美大島宇検村	昭和32年(1957)
138	芳賀日出男	門口の迎え火	秋田県・羽後町	昭和35年(1960)
139	土門拳	お祭りの余興を見るこどもたち	東京・佃島	昭和31年(1956)
140	田沼武能	正月の下町娘	東京・浅草	昭和27年(1952)
141	濱谷浩	羽根つき	京都・祇園花見小路	昭和34年(1959)
142	濱谷浩	茶の湯のお稽古	金沢市・木町愛羊庵	昭和34年(1959)
143	濱谷浩	ボンデンを待つ	秋田市・三吉神社付近	昭和34年(1959)
144	濱谷浩	ホンヤラ洞にゆく子供たち	新潟県・十日町猿蔵	昭和31年(1956)
145	濱谷浩	ホンヤラ洞で歌う子供たち	新潟県・十日町猿蔵	昭和31年(1956)
146	芳賀日出男	十三祝	鹿児島県・沖永良部島和泊町	昭和32年(1957)
第7章 高度経済成長のもとで				
147	土門拳	泣く子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
148	土門拳	母のない姉妹	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
149	土門拳	ボタ拾い	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
150	土門拳	子沢山の炭住街	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
151	土門拳	弁当を持ってこない子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
152	土門拳	父のない母子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
153	土門拳	父のない母子	福岡県・筑豊炭田	昭和34年(1959)
154	濱谷浩	まったくやりきれない	北海道・東旭川村	昭和32年(1957)
155	熊切圭介	開拓部落	北海道広尾郡	昭和41年(1966)
156	麦島勝	集団就職	熊本県八代市・八代駅	昭和33年(1958)

No.	写真家	作品タイトル	撮影地	撮影年
157	熊切圭介	上京する少年	東京・上野駅	昭和44年(1969)
158	長野重一	団地のこども	東京・大久保	昭和36年(1961)
159	長野重一	進学塾	東京・九段	昭和39年(1964)
160	熊切圭介	ドーナツ化現象	埼玉県川口市・鳩ヶ谷小学校	昭和43年(1968)
161	熊切圭介	都心の遊園地	東京・後樂園	昭和44年(1969)
162	熊切圭介	四日市ぜんそく	三重県四日市市	昭和40年(1965)
163	熊切圭介	サリドマイド児	東京・島田療育園	昭和39年(1964)
164	熊切圭介	交通戦争	埼玉県・桶川町	昭和44年(1969)
165	齋藤康一	父子寮	東京・江東区塩崎町	昭和43年(1968)
166	齋藤康一	お稽古事	東京・世田谷	昭和46年(1971)
167	齋藤康一	スイミングスクール	東京	昭和46年(1971)
168	長野重一	児童公園	東京・市ヶ谷	昭和41年(1966)
169	熊切圭介	文化住宅	大阪府豊中市	昭和41年(1966)
170	桑原甲子雄	ワンマンバス	東京・世田谷	昭和51年(1976)

5. 展示図面



(昭和三十二年 昭和村 昭和三十二年)

写真展

昭和の子ども

写真家が捉えた

齋藤康一 須切圭介 田沼正能 長島勝 長野重一 芳賀日出男 若宮武二 井上孝治 林忠彦 山端藤介 濱谷浩 緑川洋一 飛野敦子雄 森原早子雄 植田正治 土門拳 入江泰吉 木村伊兵衛

2022 12/24 ^土 ~ 2023 2/12 ^日

休館日 12/28(水)~31(土)、1/3(火)、1/16(月)、2/6(月)

9:30~18:00 ※2023年1/1~2は10:00~18:00

長崎歴史文化博物館

観覧料：大人500円(400円)・小中高生300円(250円) *小中学生は小学生料金

※12月24日(土)は15歳以上の観覧料金
※本館常設展、特別展と併観する場合は、併観券(700円)を別途購入してください。併観券は本館受付で販売しています。
※12月24日(土)は15歳以上の観覧料金

主催 長崎歴史文化博物館 共催 KTNテレビ長崎 協賛 県庁・市庁

後援 長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西日本社、共同通信社長崎支店、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎商タワラー協会、長崎朝日新聞、長崎新聞販売コンベンション協会

企画協力 クレタイス

販売券売所(開館は12:23まで)

チケットぴあ(伊コード:666-309)、ローソンチケット(Lコード:62036)、セブンチケット(セブコード:098-508)、CN(フレンドリス 兼業プロイデイト、契約期間要経理部長相談(要予約))、メトロ書店本館(アミューラザ長崎)

2 常設展

【長崎歴史文化博物館】

常設展示は歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーンからなる。毎月展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。

○歴史文化展示ゾーン

1. 展示構成

- (1) 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～
長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。16世紀後半が対象。
- (2) 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～
対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。17世紀前半～19世紀が対象。
- (3) 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～
世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。17世紀中頃が対象。
- (4) 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～
唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。17世紀後半が対象。
- (5) 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～
「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。18世紀が対象。

- (6) 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～
流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。
※照明機器改修工事のため工芸展示室を
2月1日(火)～3月22日(火)まで休室。
- (7) オランダとの交流～出島と蘭学～
長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。19世紀が対象。
- (8) 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～
近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。19世紀中頃が対象。

2. 主な展示資料

「南蛮人来朝之図」、「寛永長崎港図」、「狂言袴茶碗」、「唐館図絵巻 石崎融思筆」、「上野彦馬使用 写真機」

3. 映像作品

映像1	NAGASAKI CHRONICLE 長崎と西洋文化、キリスト教との出会い	(※令和5年2月21日(火)より追加)
映像2 西洋との出会い	天正遣欧使節	
映像3 長崎貿易	石崎融思が描いた長崎貿易	
映像4 中国との交流	隠元禅師	
映像5 オランダとの交流	商館長と通詞の辞書づくり	
映像6 近代化の魁・長崎	坂本龍馬と勝海舟	

美術展示室（特集展示室）

NAGASAKIカリグラフィー

【展示概要】

長崎の書でよく言われる「唐様の書」をはじめ、長崎ゆかりの人々が残した数々の書の作品を紹介した。

開催期間：令和4年4月20日(水)～6月19日(日)

総入場者数：6,066人



No.	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	書幅	高玄岱		市博 書(長崎)306-1、2
2	一行書「山青花欲燃」	北島雪山	江戸時代前期	県美博 Cイ0022
3	一行書「清泉繞庵流」	独立性易	江戸時代前期	県美博 Cイ0040
4	書額	即非		市博 書(黄檗)69
5	書屏風 五体書	林道栄	江戸時代中期	県美博 Cイ0020
6	書幅「夕梵雨中燈」	趙陶斎		市博 書(長崎)67
7	御詩章	牛込忠左衛門		市博 書(日本)17
8	書幅「宝俛」	戸川安清		市博 書(日本)19
9	書幅「朱子治家格言」	戸川安清	天保10年(1839)	市博 書(日本)18
10	書幅	荒尾成充		市博 書(日本)669
11	抜荷制札	奉行	正徳4年(1714)	市博 法制3
12	定 安政4年巳5月 蘭館唐館揭示	長崎奉行所 水野筑後守 荒尾石見守	安政4年(1857)巳5月	県書 B)13 86-2
13	書幅・篆書	小曾根乾堂	明治時代	市博 書(長崎)314
14	李鴻章墨蹟	李鴻章		県書 18 1203 1、2
15	書額(松風水月)	孫文	大正2年(1912)	県書 18K 1605
16	琵琶	柏文蔚の漢詩裏書	大正4年(1915)	県書 4K 144
17	書(懷寶)	柏文蔚		市博 書(中国)52
18	書額(天涯万里一瞬送聲波)	伊東巳代治	昭和8年(1933)	県書 18 376
19	書額(桜花間)	楊草仙		市博 書(中国)64
20	書幅	ヴァン・ゲーリック		市博 書(外国)2
21	綿屋看板	呉陳官	承応元年～寛文元年	県書 4 82-2
22	青貝細工漢方薬看板			県美博 G70003
23	高島秋帆書報国芹誠文字入鉄瓶			市博 金工(日本)5
24	寄書大皿	亀山焼 高島晴城ほか		県美博 D/a0275
25	篆刻	大城石農	天保11年(1840)	県美博 C/a0003
26	波佐見焼 花瓶	波佐見焼(玖城園大村焼) 小曾根星堂	昭和7年(1932)	県書 4 76

ながさきの夏

【展示概要】

七夕、お盆、精霊流しなど、ながさきの夏の数々を紹介。また、令和4年(2022)に100年を迎えた芥川龍之介の「河童図屏風」も、博物館の夏の風物詩として7月24日の「河童忌」に合わせて展示した。

開催期間：令和4年6月22日(水)～8月21日(日)

総入場者数：3,878人



No.	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	長崎港図		江戸時代後期	県美博 A3/a0052
2	蘭船図	広渡湖秋	江戸時代後期	県美博 A2/a0010
3	長崎古今集覧名勝圖繪 下	石崎融思	天保12年(1841)序	市博 絵(長崎)142-3
5	竈拝領銀割渡帳 文化元～3年7月	桶屋町／編、藤貞四郎／著	文化元～3(1804～06)年7月	県書 ト14 775 11～13
6	夏日清談図	川原慶賀	安政6年(1859)	県美博 A2/a0043

No.	資料名	作者名	制作年代	資料番号
7	年中行事絵 諏訪社頭図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2ハ0036
8	長崎奉行宛書状	奥平大膳太夫	(江戸時代後期) 6月6日	県書 17 450
9	和歌	服部常純	江戸時代後期	市博 短冊220
10	長崎市中風俗、年中祭礼行事、鳥図アルバム 慶賀派アルバム		江戸時代末期(1854~1864)	県美博 A2ハ0090
11	年中行事絵 七夕	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2ハ0068
12	年中行事絵 七夕図	川原慶賀	江戸時代後期	県美博 A2ハ0057
13	長崎歳時記	野口文龍	寛政10年(1798)	県書 13K 5810
14	長崎奉行宛書状	立花左近将監	7月朔日	県書 17 451
15	清俗紀聞	中川忠英/編		県書 14 106-1 1-1
16	菊茂登	永井荷風	昭和10年(1935)	市博 書(日本)34
17	尺牘集一 書簡	芥川龍之介		市博 書(日本)22-1-39
18	尺牘集二 書簡	芥川龍之介、菊池寛		市博 書(日本)22-2
19	河童供養帖二			市博 絵(日本)10
20	河童図屏風	芥川龍之介	大正11年(1922)	市博 絵(日本)8
21	花鳥諷詠	高浜虚子	昭和初期	市博 書(日本)35
22	団扇 料亭菊本	高浜虚子賛		県書 4 89
23	河童供養帖五	(芥川比呂志 記帳箇所)		市博 絵(日本)13
24	河童供養帖九	(火野葦平 記帳箇所)		市博 絵(日本)17
25	河童供養帖七	(芥川也寸志ほか 記帳箇所)		市博 絵(日本)15
26	河童供養帖一、三、四、六、八、十、十一			市博 絵(日本)9、11、12、14、16、18、19
27	納涼図	池島邨泉	天保13年(1842)	県美博 A1イ0203
28	崎陽文人寄書	池島邨泉	明治29年(1896)	市博 絵(長崎)426
29	リンデン伯「日本の思い出」2	リンデン 王立石版印刷工場刊		市博 版(ヨーロッパ)3-2
30	御役所附申渡留	長崎奉行所御広間/編	文政12年(1829)~天保2年(1831)	県書 14_12-8
31	長崎聞見録 巻1	広川獬	寛政12年(1800)	県書 13 332-1 1
32	長崎土産	磯野信春	弘化4年(1847)	県書 13 214-1 1
33	長崎名勝図絵稿本 15			市博 210-59-15
34	長崎名勝図絵稿本 8			市博 210-59-8
35	精霊流し図	岩田秀耕	大正期	市博 絵(長崎)151
36	白磁鉄彩人魚漏斗置	平戸・三川内焼		県美博 Dハa0974
37	長崎聞見録 巻5	広川獬	寛政12年(1800)	県書 13 332-2 5
38	有明海魚介図巻		天保12年(1841)	県美博 Fイ0038
39	絵葉書・長崎盆祭夜景			絵葉書(長崎)671
40	絵葉書・長崎鼠島遊泳会場	中原商店(長崎)刊	明治41年(1908)印	絵葉書(長崎)458
41	長崎盆祭絵葉書			県書 18 1393

くんち三八八年展

【展示概要】

新型コロナウイルス感染症拡大防止などのため、中止となった長崎くんちの魅力が傘鉾の飾を描いた作品を通じて紹介した。

開催期間：令和4年8月24日(水)~10月16日(日)

総入場者数：6,805人



No.	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	諏訪祭礼図屏風			市博 絵(長崎)526 1、2
2	本大工町傘鉾垂			市博 くんち16 - 1
3	本大工町奉納記念写真		昭和9年(1934)撮影	市博 E53
4	長崎諏訪神事 本大工町奉納 傘鉾 「国幣中社諏訪大祭 長崎 大正九年十月 記念」印		大正9年(1920)印	県書 18 1124 24
5	伊勢町くんち関係資料傘鉾垂幕見本		江戸時代後期	市博 くんち40-2、3
6	西浜町傘鉾下絵「姑蘇十八景図」	荒木千洲・津田南竹		市博 絵(長崎)251-4、9、 10、12、13
7	猩々傘鉾図	田能村竹田 考案	江戸時代後期	個人蔵
8	御神事画并戯賦廿韻扇面	石崎融思	天保7年(1936)	市博 絵(長崎)1
9	長崎古今集覧名勝圖繪 上	石崎融思	天保12年(1841)序	市博 絵(長崎)142-1
10	長崎名勝図絵稿本			市博 絵(長崎)259-2
11	諏訪祭礼図			市博 絵(長崎)135
12	長崎歳時記	野口文龍	寛政10年(1798)	県書 13K 5810
13	長崎聞見録 巻1	広川獮	寛政12年(1800)	県書 13 332-1 1
14	長崎土産	磯野信春	弘化4年(1847)	県書 13 214-1 1
15	長崎市中風俗、年中祭礼行事、鳥図アル バム 慶賀派アルバム		江戸時代末期(1854~1864)	県美博 A2ハ0090
16	長崎祭礼紺屋町引物図	林基春	明治30年(1897)	市博 版(長崎)32
17	袋町傘鉾飾			長崎市
18	東浜町傘鉾図	中山文孝		長崎市
19	古町傘鉾図	中山文孝		市博 くんち7
20	寄合町傘鉾図	中山文孝		市博 くんち10
21	丸山町傘鉾図	中山文孝		市博 くんち8
22	御神事踊笠鉾番組		明治26年(1893)	市博 くんち2
23	みゆきの先とも	本多鉄次郎	明治14~34年(1881~1901)	市博 くんち3
24	長崎市踊惣町諏訪神事笠鉾 明治14年~ 同20年	米倉利三郎/著	明治14年(1881)~	県書 チ11 34
25	諏訪大祭神事記	本多鉄次郎	大正4年(1915)頃	個人蔵
26	鯨の汐吹絵巻	甲斐宗平	昭和38年(1963)	市博 くんち6
27	金糸龍刺繍くんち衣裳			市博 くんち32-1、2
28	万屋町鯨の潮吹き船頭の衣裳			市博 くんち47-1
29	駅前町唐人船船頭衣裳		昭和28年(1953)頃	市博 くんち56
30	くんち写真[大村町踊子集合写真] 明治34年		明治34年(1901)	県書 18K 1701 1
31	絵馬・丸山町傘鉾図	小波魚青		市博 絵馬118
32	絵葉書・長崎諏訪神事 丸山町奉納 傘 鉾		大正14年(1925)印	市博 絵葉書(長崎)115
33	絵葉書・桶屋町傘鉾			個人蔵
34	絵葉書・桶屋町本踊		大正10年(1921)	個人蔵
35	絵葉書・舟大工町傘鉾			個人蔵
36	絵葉書・舟大工町川船		明治39年(1906)	個人蔵
37	絵葉書・本石灰町本踊			個人蔵
38	絵馬・万屋町鯨引図	中山文孝		市博 絵馬117
39	絵葉書・長崎諏訪神事 万屋町奉納踊 (鯨)		明治40年(1907)印	市博 絵葉書(長崎)69
40	絵葉書・長崎諏訪神事 万屋町奉納踊(鯨 汐吹)		昭和11年(1936)印	市博 絵葉書(長崎)18
41	長崎諏訪祭礼 万屋町奉納 傘鉾 「長 崎諏訪神社大祭記念 大正十一年十月」印		大正11年(1922)印	県書 18 1217 13
42	絵葉書・長崎諏訪大祭(酒屋町)傘鉾		昭和10年(1935)印	市博 絵葉書(長崎)93
43	長崎諏訪神事 古町奉納 傘鉾 「国幣 中社諏訪大祭 長崎 大正九年十月 紀 念」印		大正9年(1920)印	県書 18 1124 30
44	本下町曳段尻		昭和35年(1960)	個人蔵
45	絵葉書・【長崎諏訪神社大祭記念 明治 四十三年十月】 長崎諏訪神社大祭御下 りの光景		明治43年(1910)	県美博 Fイ0216-21

No.	資料名	作者名	制作年代	資料番号
46	長崎くんち絵葉書より 御旅所へ渡御			県書 18 1408
47	絵葉書・【長崎諏訪神社大祭記念 明治四十二年十月】長崎諏訪神社大祭御上りの光景		明治42年(1909)	県美博 Fイ0216-22
48	長崎諏訪神事 御神輿御還幸 「国幣中社諏訪神社大祭記念・昭和二年十月」印		昭和3年(1928)印	県書 18 1124 56
49	有田焼三ツ組鉢	有田焼	大正11年(1922)	市博 陶(日本)4-1~3
50	神輿・住吉神		延宝4年(1676)	市博 くんち59
51	コッコデショ図	堤けんじ		個人蔵
52	コッコデショ図	堤けんじ		個人蔵
53	鯨の潮吹き図	堤けんじ		個人蔵
54	オランダ船図	堤けんじ		個人蔵
55	御座船図	堤けんじ		個人蔵
56	鯨太鼓図	堤けんじ		個人蔵

唐寺の名宝

【展示概要】

企画展「長崎の黄檗」の関連企画として、企画展には入りきらなかった唐寺に伝来する資料を展示した。展覧会を機に行った調査によって明らかとなった、これまで紹介されていない資料を多く展示した。

開催期間：令和4年10月19日(水)～12月18日(日)

総入館者数：11,736人



No.	資料名	作者名	制作年代	所蔵
1	牧牛図	即非如一筆	江戸時代・17世紀	興福寺
2	梅花香撲鼻	木庵性瑫筆	江戸時代・17世紀	福濟寺
3	蘊謙戒琬像	喜多元規画・木庵性瑫賛	延宝2年(1674)	福濟寺
4	蘊謙六十華誕偈	隠元隆琦筆	寛文9年(1669)	福濟寺
5	開山蘊謙遺偈	蘊謙戒琬筆	延宝元年(1673)6月23日	福濟寺
6	慈岳墨蹟「王風清宇宙」	慈岳定琛筆	江戸時代・17世紀	福濟寺
7	慈岳遺偈	慈岳定琛筆	元禄2年(1689)1月12日	福濟寺
8	魏潜翁七十寿章	劉宣義筆	江戸時代・17世紀	個人蔵
9	松竹梅図	鉄心道胖筆	宝永6年(1709)	聖福寺
10	墨竹図	金鳳画	江戸時代・19世紀	福濟寺
11	喝波方浄像	小原慶山画・悦山道宗賛	江戸時代・17~18世紀	福濟寺
12	隠元・木庵・即非像	蘆塚若鳳画	江戸時代・18世紀	福濟寺
13	雷震真安像	川原慶賀画・若存通用賛	弘化4年(1847)	興福寺
14	戒林行芳像	川原慶賀画・瑞雲悟芳賛	嘉永2年(1849)	福濟寺
15	聖福開山老和尚付囑并源流	木庵性瑫筆	延宝7年(1679)	聖福寺
16	木庵書 示鉄心	木庵性瑫筆	天和元年(1681)	聖福寺
17	聖福八景図詩卷	童立山画・林道栄ほか書	貞享3年(1686)	聖福寺
18	韋駄天図	画家不詳	清時代カ	福濟寺
19	関帝聖像	画家不詳	清時代	聖福寺
20	鈴		太平天国元年(咸豊元年・1851)	福濟寺

新年を寿ぐ

【展示概要】

長寿や子孫繁栄、立身出世などおめでたい意味がこめられている絵画や2023年の干支であるウサギをかたどった工芸品など、新年にふさわしい資料を紹介した。



開催期間：令和4年12月21日(水)～令和5年2月19日(日)

総入場者数：4,420人

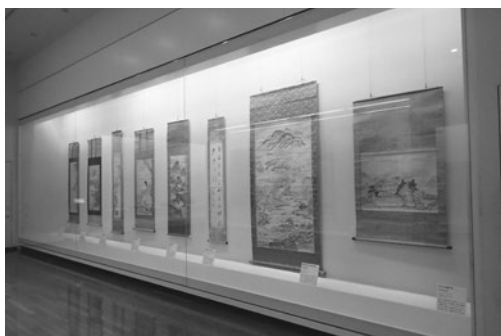


NO.	資料名	作者名	制作年代	資料番号/備考
1	万歳図	川原慶賀	江戸後期	市博 絵(長崎)267
2	三番叟図	土佐光芳	江戸中期	市博 絵(日本)55
3	白鹿図	小波魚青		市博 絵(長崎)306
4	七福神図	村田鶴臯	江戸後期	県美博 A1イ0101
5	群仙之図(双幅)	渡辺鶴洲(秀実)	江戸後期	県美博 A1イ0256
6	書(発陽)	高島秋帆	慶應元年(1865)	市博 書(長崎)35
7	書(大吉)	中林梧竹	明治末期	市博 書(日本)29
8	書幅	林道栄	江戸中期	市博 書(長崎)39
9	書幅(歎)	費晴湖	江戸中期	市博 書(中国)16
10	和合神図	石崎融濟	江戸後期	市博 絵(長崎)110
11	西王母図	松尾貴香	江戸末期	市博 絵(長崎)123
12	宮中舞楽図	費漢源	江戸中期	市博 絵(中国)34
13	松竹梅双鶴図	河村若元	江戸中期	県美博 A1イ0035
14	松竹梅図(双幅)	福田錦江	天保7年(1836)	市博 絵(長崎)342
15	竹図(芝仙祝慶)	江稼圃	嘉慶10年(1805)	市博 絵(中国)36
16	百事如意吉祥図	鉄翁祖門	明治3年(1871)	市博 絵(長崎)474
17	瓶梅図	木下逸雲	弘化元年(1844)	市博 絵(長崎)182
18	ガラス絵重箱		江戸後期	県美博 Dニ0010
19	白磁兎形蓋物	平戸・三河内焼	19世紀中頃	県美博 Dハa0351
20	鳥獣図巻	広渡湖秀	江戸中期	県美博 A1イ0076

春うららⅡ—美術の中の春

【展示概要】

春を象徴する花や鳥などをモチーフに採り入れた絵画や漆器を通して、美術品の中にある春の姿を紹介した。



開催期間：令和5年2月22日(水)～4月16日(日)

総入場者数：5,376人



NO.	資料名	作者名	制作年代	資料番号/備考
1	梅花書屋図	石崎融思	弘化元年(1845)	県美博 A1イ0071
2	梅林都城図	勝野范古	明和3年(1766)	市博 絵(長崎)291
3	書幅(詩・春) 四幅のうち	江芸閣		市博 書(中国)17-2
4	桃花源図	木下逸雲	元治元年(1864)	市博 絵(長崎)271
5	唐美人図	鎗木梅溪		市博 絵(長崎)181
6	花卉図(双幅のうち)	張秋穀		市博 絵(中国)78-2
7	花鳥図	方西園	乾隆45年(1780)	市博 絵(中国)11
8	藤花図	鶴亭浄光		県美博 A1イ0139
9	長崎青貝細工酒宴盆	長崎青貝細工		市博 漆(日本)68
10	酒器台	長崎青貝細工		県美博 Dホ0046
11	花文散提重	長崎青貝細工		県美博 Dホ0021
12	小鳥文小箱	長崎青貝細工		県美博 Dホ0055
13	海棠黄鳥図	鶴亭浄光		市博 絵(長崎)114
14	花鳥図	石崎元徳・融思		市博 絵(長崎)188
15	花鳥図	泉必東	江戸中期	県美博 A1イ0013
16	双鶏図	石崎融思	天保12年(1841)	市博 絵(長崎)263
17	花鳥図	高乾		県美博 A1イ0073
18	花鳥図 双幅のうち	鎗木梅溪		市博 絵(長崎)321-1
19	花鳥図	張子祥		市博 絵(中国)93
20	杏花燕子図	横瀬唵松		県美博 A1イ0125
21	富貴図	木下逸雲		市博 絵(長崎)335
22	花卉屏風	張秋穀		県美博 A1イ0003

トピック展示

NAGASAKIカリグラフィー

【展示概要】

企画展「カリグラフィーアート」展、および特集展示「NAGASAKIカリグラフィー」に合わせ、「中国との交流」コーナーでは黄檗僧や唐通事の書、「オランダとの交流」コーナーでは蘭学者によるオランダ語の書、「近代化の魁」コーナーでは幕末に長崎を訪れた勝海舟の書を紹介した。

開催期間：令和4年4月19日(火)～6月19日(日)

総入館者数：10,142人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	一行書・有月落波心	千呆性倭	江戸時代前期	市博 書(黄檗)50
2	一行書・所有與我同行者	惟一道實	江戸時代前期	県美博 Cイ0066
3	一行書・一带雲	高泉性激	江戸時代前期	県美博 Cイ0018
4	書額「翫賞確箴」	劉宣義	江戸時代前期	県美博 Cイ0129
5	書巻(座右銘集)	劉宣義	貞享元年(1684)	市博 書(長崎)56
6	書(シーボルト関係蘭文)	J. Koosan		市博 書(外国)3
7	蘭語漢訳	辻蘭室	江戸時代後期	市博 書(日本)85
8	紅毛三人図	司馬江漢	天明～寛政年間(1781～1800年)	県美博 A2ハ0063
9	洋人外出図		安政2年(1855)	県美博 A2ハ0024
10	盤水夜話 蘭説弁惑／上	大槻玄沢／述@有馬元兆／著		県書 15 126
11	阿蘭陀茶臼	司馬江漢	寛政11年(1799)	県美博 Fイ0013
12	平天儀用法 上・下	本木良永	安永3年(1773)	市博 440-7

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
13	書幅 扇面	勝海舟		市博 書(日本)678
14	書幅・篆書	小曾根乾堂	明治17・18年(1884・85)	市博 書(長崎)320
15	勝海舟写真(複写)		原本：明治3～7年(1870～74)頃	中島永元関係資料(Fロ0038)からデータプリントアウト
16	海軍歴史 1～3	勝海舟	明治22年(1889)	県書 16 107-1 1～3
17	書簡	勝海舟		市博 書(日本)675
18	書幅・西郷南洲追弔詩	勝海舟	明治16年(1883)	市博 書(日本)674

修復後初公開 長崎港警備図

【展示概要】

令和3年度に修復を終えた大型資料「長崎港警備図」の展示を行った。

開催期間：令和4年6月21日(火)～9月19日(月・祝)
総入場者数：10,226人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	長崎港外警備之図			県書 3 210-3

商館長ヘンドリック・ドゥーフ

【展示概要】

19世紀末から出島に数度赴任し、商館長もつとめたヘンドリック・ドゥーフ。彼が長崎に滞在していた時代の出来事などを関連資料から紹介した。

開催期間：令和4年8月23日(火)～10月16日(日)
総入場者数：11,454人

No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	出島図		江戸時代後期	市博 図364
2	佛郎察辭範草稿	本木正栄訳	文化11～14年(1814～17)	県書 14 16-2
3	御用蛮書ホスシキイテレイコノスト和解	ヘンドリック・ドゥーフ ／石橋助左衛門／和解	文化5年(1808)	県書 12 88-2
4	日本回想録	ヘンドリック・ドゥーフ	1833年	県書 2 14
5	ヘンドリック・ドゥーフ肖像		江戸時代後期	県美博 A2ハ0058
6	松に象図	渡辺鶴洲	文化10年(1813)	市博 絵(長崎)269
7	平安福寿図	伝 荒木如元	江戸時代後期	県美博 A2ハ0005



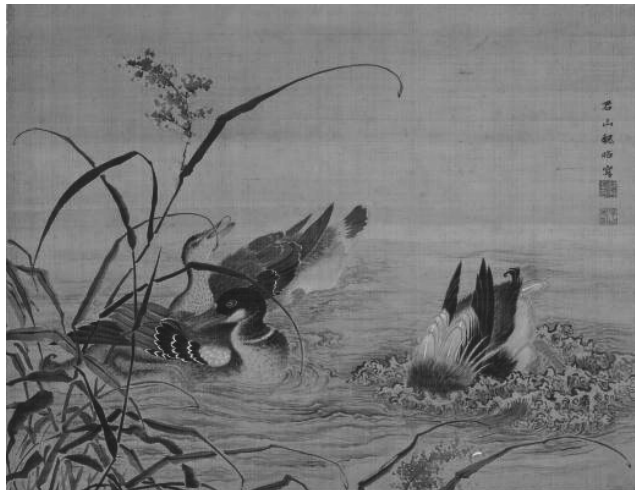
鉅鹿君山と明楽

【展示概要】

江戸初期に長崎へ渡来した中国人の血を引く鉅鹿君山は、中国の音楽である明楽を日本へ広めた人物として知られる。君山の絵画作品とともに明楽関係の資料を紹介した。

開催期間：令和4年10月18日(火)～12月18日(日)

総入場者数：20,082人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	魏之琰墓誌銘拓本			
2	蘆鴨波図	魏皓(鉅鹿君山)	江戸後期	県美博 A1イ0159
3	魏氏楽譜	魏皓	明和5年(1768)序	県書 へ18 177(渡辺文庫)
3	魏氏楽器図	筒井景周撰	安永9年序(1780)	県書 へ18 148(渡辺文庫)
3	龍頭飾付月琴			県美博 Dハa0272

税関150周年

【展示概要】

明治5年(1872)11月28日に発足し、令和4年(2022)で150周年を迎えた税関について、長崎税関を中心にその前身となる運上所の資料や安政の開港後の関係資料とともに紹介した。

開催期間：令和4年11月22日(火)～令和5年1月15日(日)

総入場者数：7,691人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	大浦方面埋立関係略図		安政6年(1859)～万延元年(1860)	市博 図98
2	神奈川箱館御用状問合書留	長崎奉行所湊会所 編 / 長崎県外務課 編	安政6年(1859)9月～文久元年(1861)12月	県書 B)14 84-2
3	各港来翰	長崎県外務課	明治5年(1872)1月	県書 14 216-1
4	税関往復留	長崎県外務課	明治5年(1872)10月～同6年(1873)12月	県書 14 311-4
5	印鑑簿 長崎県	長崎県		県書 13 85-1
6	横山貞秀肖像写真		明治11年(1878)4月	県書 17K 2896 37-2
7	旧長崎税関所瓦		明治24年(1881)カ	県美博 Fイ0022
8	崎陽大浦真景図(複製)	岡月洲	明治初期	
9	絵葉書・長崎税関新築庁舎(建物外観、平面図、2階廊下)		昭和3年(1928)印	市博 絵葉書(長崎)380-1～3
10	税関百周年記念展示品目録・メダル	大蔵省 編	昭和47年(1972)	県書 17 1388

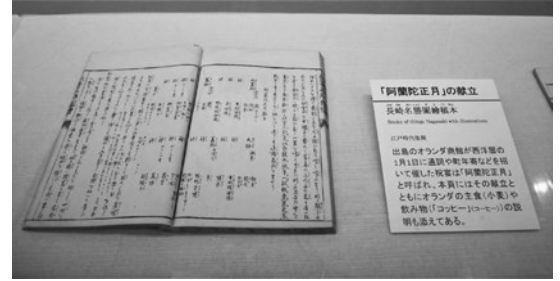
いろいろな正月

【展示概要】

中国とオランダそれぞれの影響を受けた新年の行事に関する資料を展示し、江戸時代に長崎へ流入した外国の文化について紹介した。

開催期間：令和4年12月20日（火）～令和5年2月19日（日）

総入館者数：46,341人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	蛇踊囃方	長崎古版画 文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3ハ0021
2	唐人蛇踊	長崎古版画	江戸時代後期	県美博 A3ハ0022
3	清俗紀聞 第一	中川忠英編・石崎融思ほか画	寛文11年(1799)刊	県書 へ14 651 1
4	蘭人食事之図		江戸時代後期	県美博 A2ハ0033
5	阿蘭陀人之図		江戸時代後期	県美博 A3ハ0097
6	阿蘭陀人食事之図		江戸時代後期	県美博 A3ハ0068
7	長崎土産 弘化版	磯野信春	弘化4年(1847)	県書 13 214-1 4
8	長崎名勝図絵稿本			市博 210-59-17
9	盤水夜話 蘭説弁惑ノ上	大槻玄沢ノ述 有馬元兆ノ著		県書 15 126

オランダ趣味の世界

【展示概要】

江戸時代、オランダ船がもたらした異国の文物に魅了された人々の間で流行した「オランダ趣味」。数々の作品をとおして、オランダや西洋の風物をあこがれ好む世界を紹介した。

開催期間：令和5年2月21日(火)～4月16日(日)

総入場者数：5,519人



No	資料名	作者名	制作年代	資料番号
1	蘭船図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3ハ0071
2	油彩紅毛風景図額	原南嶺斎		市博 絵(長崎)4
3	オランダ渡煎茶碗			市博 陶(オランダ)55
4	髹德利			市博 陶(オランダ)15
5	オランダ銅版画貼雑図巻			市博 版(ヨーロッパ)1
6	華夷通商考 増補ノ4	西川如見	宝永5年(1708)	市博 660-57-4
7	金唐革鼻紙台			県美博 Dチ0052
8	金唐革小箱			県美博 Dチ0075
9	金唐革一つ提げたばこ入れ(金色地紋に緑彩)			県美博 Dチ0072

○長崎奉行所ゾーン

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。

1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらし

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務

行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。

2. 主な展示資料

〈長崎奉行コーナー〉

No	資料名	制作年代	資料番号
1	犯科帳 第71冊 ほか		県書 B)14 1-1 71 ほか
2	犯科帳(複製)		県書 14 1-1
3	長崎番所絵図		県書 B)3 301-2
4	在長崎日清貿易図	大正 5 年(1916)	県書 3 12-2
5	長崎奉行宛て老中奉書	19世紀	県書 14 65-6 14 ほか
6	長崎奉行宛て書状	19世紀	県書 17 467ほか

〈キリシタン展示〉

No	資料名	制作年代	資料番号
1	キリシタン制札	慶応 4 年(1868)	市博 法制1
2	お掛け絵(受胎告知)(複製)		平戸市生月町博物館 島の館原蔵

○奉行所シアターでの上映作品

◇長崎奉行の一年

◇長崎幕末物語

◇未来への潮流 近代日本の原点～長崎の産業遺産～

◇長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

◇CROSSING NAGASAKI (※令和 5 年 2 月 21 日 (火) より追加)

◇長崎奉行所観光寸劇

ハタ揚げ騒動・ペーロン競漕喧嘩事件・くんち奉納踊り訴え・偽キリシタン事件

唐人屋敷抜け穴掘り事件・フェートン号事件・シーボルト事件・漂流民マクドナルド事件

(※下線 4 作品は令和 5 年 2 月 19 日 (日) より追加、シアターの他、奉行所玄関、書院 2 箇所の大型モニターにて上映)

犯科帳の世界

長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示

長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた品々を中心に紹介。

長崎奉行所立山役所〈再現〉

復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

キリシタン関連展示

【展示概要】

浦上村のキリスト教徒から没収され、長崎奉行所宗門蔵に保管されていたキリシタン関係資料（東京国立博物館所蔵）を紹介。

期間(令和3年度)

- 第1期：令和4年4月19日(火)～5月15日(日)
- 第2期：令和4年5月17日(火)～6月19日(日)
- 第3期：令和4年6月21日(火)～7月18日(祝・月)
- 第4期：令和4年7月20日(水)～8月21日(日)
- 第5期：令和4年8月23日(火)～9月19日(祝・月)
- 第6期：令和4年9月21日(水)～10月16日(日)
- 第7期：令和4年10月18日(火)～11月20日(日)
- 第8期：令和4年11月22日(火)～12月18日(日)
- 第9期：令和4年12月20日(火)～令和5年1月15日(日)
- 第10期：令和5年1月17日(火)～2月19日(日)
- 第11期：令和5年2月21日(火)～3月19日(日)
- 第12期：令和5年3月21日(火)～4月16日(日)

東京国立博物館所蔵キリシタン関係資料 ※第2期以降、新規展示分を掲載

No	資料名	個数	資料番号	備考
第1期				
	マリア観音像(墨書き有)	1	C-0601	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0608	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0630	重要文化財
	観音菩薩坐像	1	C-0643	重要文化財
	十一面観音菩薩立像	1	C-0665	重要文化財
	人物像	1	C-0672	重要文化財
	聖女像	1	C-0694	重要文化財
	キリスト像(エッケ・ホモ)	1	C-0715	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0746	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0765	重要文化財
	十字架	1	C-0857	
	十字架	1	C-0859	
	十字架	1	C-0879	
	メダイ(ヨセフと幼子イエス／無原罪の御宿り)	1	C-0914	
	メダイ (聖ベネディクト)	1	C-0917	
	メダイ(サルヴァートル・ムンディ)	1	C-0930	
	遺物函	1	C-0996	重要文化財
	ロザリオ残欠	1	C-1070	
第2期				
	キリスト像	1	C-0688	重要文化財
	キリスト像(ピエタ)	1	C-0720	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0749	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0773	重要文化財
第3期				
	キリスト像	1	C-0589	重要文化財
	十字架	1	C-0895	
	十字架	1	C-0896	

No	資料名	個数	資料番号	備考
第4期				
	聖母子像	1	C-0591	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0776	重要文化財
	メダイ (聖イグナティウス像)	1	C-0921	
	メダイ (聖フランシスコ・ザビエル像)	1	C-0924	
	メダイ (不思議のメダイ)	1	C-0939	
	聖母子像(ロザリオの聖母)	1	C-1005	重要文化財
第5期				
	マリア観音像	1	C-0602	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0611	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0625	重要文化財
	観音菩薩坐像	1	C-0638	重要文化財
	観音菩薩坐像	1	C-0650	重要文化財
	十字架	1	C-0892	
	十字架	1	C-0894	
	守裂	1	C-1001-10	重要文化財
	守裂残欠	1	C-1084-20	重要文化財
第6期				
	聖母子像(ロザリオの聖母)	1	C-0721	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0827	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0832	重要文化財
	キリスト像(十字架上のキリスト)	1	C-1010	重要文化財
	メダイ(聖体秘蹟)	1	C-1062	
	守裂残欠	1	C-1084-26	重要文化財
	守裂残欠	1	C-1084-39	重要文化財
第7期				
	小天使像A	1	C-0592	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0773	重要文化財
	十字架	1	C-0898	
	十字架	1	C-0910	
	メダイ (聖フランシスコ・ザビエル像)	1	C-0925	
	メダイ(不思議のメダイ・中文)	1	C-0959	
第8期				
	ロザリオ	1	C-0815	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0833	重要文化財
	守裂残欠	1	C-1084-24	重要文化財
	守裂残欠	1	C-1084-28	重要文化財
第9期				
	小天使像B	1	C-0592	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0620	重要文化財
	マリア観音像	1	C-0628	重要文化財
	観音菩薩坐像	1	C-0642	重要文化財
	観音菩薩坐像	1	C-0654	重要文化財
	羅漢坐像	1	C-0666	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0819	重要文化財
	十字架	1	C-0906	
	十字架	1	C-0911	
	守裂	1	C-1001-2	重要文化財
	守裂残欠	1	C-1084-22	重要文化財

No	資料名	個数	資料番号	備考
第10期				
	菩薩坐像	1	C-0689	重要文化財
	無原罪の聖母	1	C-0712	重要文化財
	キリスト像(エッケ・ホモ)	1	C-0727	重要文化財
	メダイ (聖フランシスコ・ザビエル像)	1	C-0926	
	メダイ(ヨセフと幼子イエス／聖母中文)	1	C-0962	
	メダイ(不思議のメダイ)	1	C-1040	
	メダイ(聖体秘蹟)	1	C-1062	
第11期				
	ロザリオ	1	C-0765	重要文化財
	ロザリオ	1	C-0826	重要文化財
	十字架	1	C-0912	
	貨幣	1	C-0994	重要文化財
	ロザリオ	1	C-1082	重要文化財
第12期				
	人物像	1	C-0672	重要文化財
	キリスト像(エッケ・ホモ)	1	C-0715	重要文化財
	巾着	1	C-1002	重要文化財
	ロザリオ残欠	1	C-1070	

【長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館／長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1. 展示構成

国の重要文化財である旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉の関係、及び2人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした長崎の近代交流史を紹介。

1階：【香港上海銀行長崎支店の歴史】

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える展示とともに、香港上海銀行長崎支店の歴史を紹介。

2階：【孫文・梅屋庄吉と長崎】【長崎の華僑】

中国革命の父孫文とその革命を支え続けた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情の歴史、唐人貿易が行われた江戸時代から深いつながりを持つ華僑の人々の、明治以降の長崎での活躍ぶりを紹介。

3階：【上海航路と国際通信】【貿易港長崎の歴史】 【東山手・南山手の暮らし】【香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎】

長崎は交通・通信網の重要な拠点都市であった上海と定期航路で結ばれ、海底電信ケーブルが敷設されるなど、世界へとつながる国際都市であったことを紹介。

2. 主な展示資料

No	資料名	制作年代	所蔵先	資料番号
孫文と梅屋庄吉と長崎				
1	写真パネル 中島川西浜町付近		原資料 長崎大学附属図書館	
2	梅屋庄吉書「富貴在心」(複製)	昭和2年(1927)	原資料 小坂文乃氏	
3	写真パネル「永代日記」(部分)冒頭に記された梅屋庄吉少年時代の経歴	大正～昭和初期	原資料 小坂文乃氏	
4	写真パネル 9歳の梅屋庄吉	明治10年(1877)	原資料 小坂文乃氏	
5	写真パネル 17歳の梅屋庄吉	明治17年(1884)	原資料 小坂文乃氏	
6	写真パネル 23歳の梅屋庄吉	明治24年(1891)	原資料 小坂文乃氏	
7	明治元年大火図(複製) 中西資料「雪屋森氏年代記録表」	慶応4年(1868)1月10日	長崎歴史文化博物館	県書 ミ13 37
8	東濱町出火之図(複製) 中西資料「雪屋森氏年代記録表」	明治22年(1889)5月8日	長崎歴史文化博物館	県書 ミ13 37
9	写真パネル 香港時代の梅屋庄吉・トク夫妻	明治30年(1897)	原資料 小坂文乃氏	
10	写真パネル 香港、皇后大道中環付近(着彩写真絵葉書)		原資料 個人蔵	
11	写真パネル 広東での梅屋庄吉・トク夫妻	明治36年(1903)	原資料 小坂文乃氏	
12	写真パネル 香港自宅での梅屋庄吉・トク夫妻ら記念写真	明治33年(1900)	原資料 小坂文乃氏	
13	梅屋庄吉製作「追悼之辞」(複製)	昭和4年(1929)	原資料 小坂文乃氏	
14	梅屋庄吉宛 養女 清子の貰受契約書(複製)	明治32年(1899)	原資料 小坂文乃氏	
15	写真パネル 梅屋庄吉建立墓碑(拓本)	明治30・35年(1897・1902)	協力：香港経済貿易代表部	
16	辛亥革命資金援助委任状(複製)梅屋庄吉宛 胡飛・鮑洪作成	明治44年(1911)10月29日	原資料 小坂文乃氏	
17	写真パネル 英国人医師ジェームズ・カントリー		原資料 小坂文乃氏	
18	写真パネル 辛亥革命の写真(草地で攻撃される革命軍)	1911年	原資料 小坂文乃氏	
19	写真パネル 辛亥革命の写真(漢口市街招商局の火災)	1911年	原資料 小坂文乃氏	
20	写真パネル 八日市飛行場で訓練中の革命飛行隊	1911年	原資料 小坂文乃氏	
21	梅屋庄吉宛て坂本寿一書簡(複製)	大正5年(1916)5月24日付	原資料 小坂文乃氏	
22	革命軍武器注文書(複製)	大正5年(1916)4月28日	原資料 小坂文乃氏	
23	梅屋庄吉「永代日記」	大正～昭和初期	小坂文乃氏蔵	
24	梅屋庄吉宛 孫文電報(複製)	大正5年(1916)11月1日・11日	原資料 小坂文乃氏	
25	梅屋庄吉宛 孫科電報(複製)	民国14年(1925)3月13日	原資料 小坂文乃氏	
26	梅屋庄吉宛 孫文電報(複製)	大正13年(1924)12月1日	原資料 小坂文乃氏	
27	革命志士寄書衛立(複製)	明治末～昭和初期	原資料 小坂文乃氏	
28	写真パネル 近衛篤磨の墓参をした孫文一行記念写真	大正2年(1913)2月16日		
29	梅屋庄吉宛 宮崎滔天電報(複製)	大正5年(1916)1月25日	原資料 小坂文乃氏	
30	革命軍「軍票」(複製) 梅屋庄吉製作	明治44年(1911)	原資料 小坂文乃氏	

No	資料名	制作年代	所蔵先	資料番号
31	写真パネル 原宿孫文邸での革命志士の集合記念写真	大正4(1915)	原資料 小坂文乃氏	
32	写真パネル 日本活動写真(株)創立の記念写真	明治45年(1912)1月11日	原資料 小坂文乃氏	
33	写真パネル 南極探検隊カメラマン派遣記念船上写真	明治44年(1911)10月15日	原資料 小坂文乃氏	
34	写真パネル 孫文の香港到着を歓迎する人々	明治44年(1911)	原資料 小坂文乃氏	
35	写真パネル 大久保百人町の梅屋邸洋応接間記念写真	昭和3年(1928)11月25日	原資料 小坂文乃氏	
36	写真パネル 白瀬隊が南極コールマン島沖通過時の記念写真	明治45年(1912)1月5日	原資料 個人蔵	
37	大孫文映画作成協会趣意書及革命映画筋骨梗概並制作費豫算(複製)	昭和5年(1930)12月1日	原資料 小坂文乃氏	
38	「大孫文」映画脚本(複製)	昭和5年(1930)	原資料 小坂文乃氏	
39	記録映画「辛亥革命」	1911～1912年	中国中央電視台(CCTV)	
40	映画「日本南極探検」	明治43～大正1年(1910～1912)	白瀬南極探検隊記念館	
41	映画「旧劇太功記 十段目 尼ヶ崎の段」	明治41年(1908)頃	東京国立近代美術館フィルムセンター	
42	張晨初画 <孫文と宋慶齡>	平成28年(2016)	長崎県(国際課)	
43	孫文書「世界大同」(複製)	大正13年(1924)11月23日	原資料 個人蔵	
44	写真パネル 『東洋日の出新聞』「上海丸」船内の食堂にて取材を受ける孫文	大正13年(1924)11月24日	原資料 長崎県立長崎図書館	
45	『東洋日の出新聞』明治44年9月～12月(複製)	明治44年(1911)9～12月	長崎歴史文化博物館	県書 19 19 29
46	宋慶齡衣装(再現)		長崎歴史文化博物館	
47	模型 中山艦		長崎歴史文化博物館	武漢中山艦博物館寄贈
48	写真パネル 三菱長崎造船所銘板 215番船(「永豊」)	大正2年(1913)	原資料 武漢中山艦博物館	
49	砲艦「永豊」進水祝賀晩餐会案内状(複製)	大正1年(1912)6月1日	原資料 陳東華氏	
50	写真パネル 砲艦「永豊」竣工記念 艦上集合写真	大正2年(1913)1月	原資料 陳東華氏	
51	写真パネル 砲艦「永豊」竣工記念写真絵葉書	大正2年(1913)	長崎歴史文化博物館	
52	「賢母」の羽織		小坂文乃氏蔵	
53	宋慶齡色紙(国方春男・千世子夫妻宛)	昭和53年(1978)	小坂文乃氏蔵	
54	宋慶齡賀状(国方春男・千世子夫妻宛)	昭和53年(1978)	小坂文乃氏蔵	
55	国方春男・千世子夫妻宛 宋慶齡書簡(複製)	昭和53年(1978)12月9日	小坂文乃氏蔵	
56	国方春男・千世子夫妻宛 宋慶齡書簡(複製)	昭和54年(1979)1月9日	小坂文乃氏蔵	
57	再会した宋慶齡と国方春男・千世子夫妻写真	昭和53年(1978)	小坂文乃氏蔵	
58	晩年の梅屋庄吉胸像	昭和戦前期	小坂文乃氏蔵	
59	「賢母」の羽織(複製)		原資料 小坂文乃氏	
60	写真パネル 総理銅像揭幕典礼	民国18年(1929)10月14日	原資料 小坂文乃氏	
61	牧田祥哉 作<孫文胸像>(複製)	昭和3～5年(1928～30)	原資料 小坂文乃氏	
62	孫文蔵除幕式祝辞(複製)	昭和6年(1931)	原資料 小坂文乃氏	
63	蒋介石書翰(梅屋庄吉宛て)(複製)	民国18年(1929)3月1日	原資料 小坂文乃氏	
64	梅屋トク宛 宋慶齡書簡(複製)	大正5年(1916)5月20日	原資料 小坂文乃氏	
65	国方春男・千世子夫妻宛 宋慶齡書簡(複製)	昭和53年(1978)12月9日	原資料 小坂文乃氏	
長崎の華僑				
66	写真パネル 『長崎と上海』長崎駐在総領事郭則濟・同副領事王万年・民国領事館写真	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1
67	写真パネル 中華民国馮領事(前列中央)と三江会所々員興福寺		長崎歴史文化博物館	県書 3 868-14
68	写真パネル 長崎華僑受領勳章記念撮影 大正7年9月14日	大正7年(1918)	長崎歴史文化博物館	県書 3 868-13
69	写真パネル 唐館内貿易之図		長崎歴史文化博物館	県書 3 120-2
70	写真パネル 『長崎と上海』新地町貿易商一覽	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1
71	写真パネル 新地築増地一件	明治2年(1869)	長崎歴史文化博物館	県書 16 10-2
72	写真パネル 「泰益号文書」	大正～昭和初期	長崎歴史文化博物館	
73	中華服・男性用			
上海航路と国際通信				
74	「長崎と上海・日華連絡記念」(複製)	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	

No	資料名	制作年代	所蔵先	資料番号
75	上海航路案内(改訂5版)	昭和8年(1933)	長崎市	
76	写真パネル 絵葉書 上海六三園			M51-85,M51-89, M51-97
77	写真パネル 長崎丸・上海丸の写真		長崎歴史文化博物館	県書 3 578
78	写真パネル 長崎丸・上海丸船内写真	大正12年(1923)	長崎歴史文化博物館	県書 L3 220-1
79	写真パネル 国際海底電線小ヶ倉陸揚庫			
80	写真パネル 国際海底電線小ヶ倉陸揚庫			
81	「長崎国際電報局」看板		KDDI広報部	
82	「長崎国際電報局」看板		KDDI広報部	
83	高砂丸(1/100模型)		長崎歴史文化博物館	
84	上海丸(1/100模型)		長崎市	
85	ナガサキ・タイムズ(複製)	明治元年(1868)6月	長崎歴史文化博物館	県書 2K 804
86	ナガサキ・エクスプレス(複製)	明治3年(1870)1月	長崎歴史文化博物館	
87	可変抵抗器(ペグ式)		KDDI広報部	
88	電動機(ミュアヘッド予備)		KDDI広報部	
89	可変抵抗器(丸型)		KDDI広報部	
90	3ダイヤル抵抗器		KDDI広報部	
91	検流計		KDDI広報部	
92	検流計(亀甲型)		KDDI広報部	
93	電流計		KDDI広報部	
94	ケーブル見本(長崎・小ヶ倉間のケーブル)		KDDI広報部	
95	ケーブル見本(長崎・ウラジオストク間の海底線、女神陸揚げ地陸上部分)		KDDI広報部	
96	疑似ケーブル(ウラジオストク線用)		KDDI広報部	
97	モールス送信機(電動式・モーター付)		KDDI広報部	
98	現波機		KDDI広報部	
99	海底ケーブル傷害見本		KDDI広報部	
100	海底ケーブル見本		KDDI広報部	
101	疑似ケーブル(上海線用)		KDDI広報部	
102	モールス印刷機(クリード印刷機)		KDDI広報部	
貿易港長崎の歴史				
103	写真パネル 上野彦馬撮影 長崎港写真	明治10年(1877)	長崎歴史文化博物館	県書 18 38-3 10
104	写真パネル 内田九一撮影 長崎港写真	明治5年(1872)	長崎歴史文化博物館	市博 A6-5
105	写真パネル 古今対照長崎市案内図	昭和9年(1934)	長崎歴史文化博物館	県書 へ3 10
106	写真パネル 長崎市街地図	大正9年(1920)	長崎歴史文化博物館	県書 3 853
107	写真パネル 旧アメリカ領事館のカブキ門	昭和31年(1956)	長崎歴史文化博物館	県書 18 1283 1-6
108	写真パネル 旧イギリス領事館裏の煉瓦造り	昭和31年(1956)	長崎歴史文化博物館	県書 18 1283 1-7
109	写真パネル 露国領事館職員写真		長崎歴史文化博物館	市博 D151
110	写真パネル 絵葉書・長崎港ニ於ケル汽船石炭積込の景		長崎歴史文化博物館	絵葉書(長崎) 669,670,675,676
111	写真パネル 絵葉書・長崎税関新築庁舎平面図		長崎歴史文化博物館	絵葉書(長崎)380-3
112	写真パネル 新庁舎全景 長崎税関		長崎歴史文化博物館	絵葉書(長崎)1351
113	旧長崎税関所瓦	明治6年(1873)	長崎歴史文化博物館	県美博 Fイ0022
114	写真パネル 長崎税関所属火薬庫写真		長崎歴史文化博物館	県書 3 75
115	写真パネル 長崎税関大波止場写真		長崎歴史文化博物館	県書 18 264 16
116	写真パネル 印鑑簿 長崎県	明治5年(1872)	長崎歴史文化博物館	県書 13 85-1
117	写真パネル 阿片吸飲禁止の達	明治元年(1868)	長崎歴史文化博物館	県書 14 414 68
東山手・南山手のくらし				
118	写真パネル 外国人居留地図(吉田家文書@83)	慶応元年(1865)頃	長崎歴史文化博物館	県書 3 792
119	写真パネル グラバー商会耕作良種奇雀糞	明治2年(1869)	長崎歴史文化博物館	市博 貿易20
120	古田商店御手引ラムネ瓶		長崎市	
121	BANZAI清涼飲料水のラムネ瓶		長崎市	
122	石炭掴み(マントルピース用)		長崎市	
123	衝立(マントルピース用)		長崎市	
124	百科事典棚		長崎市	

No	資料名	制作年代	所蔵先	資料番号
125	煙草ケース		長崎市	
126	傘立て帽子掛け		長崎市	
127	R・N・ウォーカー商会看板		長崎市	
128	二段小物入れ		長崎市	
129	鹿のはく製		長崎市	
130	鏡付タンス		長崎市	
131	ティーテーブル		長崎市	
132	鏡台付飾り棚		長崎市	
133	書斎机		長崎市	
134	飾り棚		長崎市	
135	鏡台		長崎市	
香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎				
136	香港上海銀行長崎支店(模型)		長崎市	
137	銀行の営業室(ジオラマ)		長崎市	
138	香港上海銀行発行の紙幣		長崎市	
139	香港上海銀行発行の貨幣		長崎市	
140	秤量 馬蹄銀		長崎市	
141	香港上海銀行印・呉支店(複製)		長崎市	
142	香港上海銀行ヘッド付便箋に書かれた書類	明治27年(1894)	長崎市	
143	ディレクターリー & クロニクル		長崎市	

1 調査研究

長崎学の継承とさらなる発展のために、長崎県内の中核博物館として、県内外および国内外の研究者、関係機関と連携して以下のような調査研究を行った。

①長崎の美術工芸に関する研究

○展示

- ・特集展示「NAGASAKIカリグラフィー」(4月20日(水)～6月19日(日))に関わる調査(担当:矢田純子)
- ・特集展示「新年を寿ぐ」(12月21日(水)～2月19日(日))に関わる調査(担当:施燕)
- ・特集展示「春うららⅡ—美術の中の春—」(2月22日(水)～4月16日(日))に関わる調査(担当:施燕)

○研究紀要「李雲海と長崎—観峰館蔵「李雲海千字文」の紹介とともに—」寺前公基(公益財団法人日本習字教育財団 観峰館 学芸員)

○作品調査

- ・長崎関係書画調査

i) 場 所: 個人宅

実施日: 12月26日(月)～28日(水)

調査資料: 長崎に関する書画類

内 容: 個人が所蔵する近世および近代の長崎関係の書画を調査した。

②日中交流史に関する研究

○展示

- ・企画展「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—」(10月15日(土)～11月27日(日))に関する調査(担当:長岡枝里、深瀬公一郎)
- ・特集展示「唐寺の名宝」(10月19日(水)～12月18日(日))に関する調査(担当:長岡枝里)

○講座・研究紀要

- ・長崎学講座エキスパート「宣教師の日本潜入と唐船」(9月24日(土))深瀬公一郎
- ・長崎学講座エキスパート「長崎の黄檗展」をより楽しむ」(10月15日(土))長岡枝里
- ・長崎学講座スタンダード「唐寺の仏像」(10月22日(土))楠井隆志氏(福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 新県立美術館建設室参事)
- ・長崎学講座スタンダード「長崎の「御絵像さま」と黄檗肖像画」(10月29日(土))錦織亮介氏(元福岡市美術館館長)
- ・長崎学講座エキスパート「海を渡る黄檗僧たち」(10月30日(日))深瀬公一郎

- ・長崎学講座スタンダード「長崎の黄檗」とは何だったのか?」(11月19日(土))長岡枝里
- ・研究紀要「近世前期における長崎の唐船受入体制」深瀬公一郎

○資料調査

- ・黄檗関係資料調査

i) 場 所: 法田寺

実施日: 5月17日(火)

調査資料: 黄檗関係の絵画調査

内 容: 静岡県浜松市の黄檗寺院・法田寺が所蔵する黄檗関係の絵画を調査した。

ii) 場 所: 弘福寺

実施日: 5月20日(金)

調査資料: 黄檗関係の絵画調査

内 容: 東京都墨田区の黄檗寺院・弘福寺が所蔵する黄檗関係の絵画を調査した。

③近世・近代の長崎に関する研究

○展示

- ・特集展示「ながさきの夏」(6月22日(水)～8月21日(日))に関する調査研究(担当:矢田純子)
- ・特集展示「くんち三八八年展」(8月24日(水)～10月16日(日))に関する調査(担当:矢田純子)

○講座・研究紀要

- ・研究紀要「近世中後期の異国船対策と対馬藩の役割」岡本健一郎氏(京都鉄道博物館学芸員)

○資料調査

- ・長崎奉行所に関する調査・研究

場 所: 長崎県埋蔵文化財センター

実施日: 2月24日(金)

調査者: 矢田純子

調査資料: 長崎奉行所跡(西役所、立山役所)から発掘された考古遺物の展示視察を行った。

- ・明治時代の長崎に関する調査・研究

場 所: 柳川古文書館

実施日: 5月27日(金)、6月24日(金)

調査者: 矢田純子

調査資料: 辻村家関係資料の調査を行った。

④オランダとの交流に関する研究

- ・トピック展示「オランダ趣味の世界」(2月21日(火)～4月17日(日))に関する調査(担当:矢田純子)

○資料調査

・蘭学受容に関する調査・研究(調査者：矢田純子)

i) 場 所：国立国会図書館

実施日：5月12日(木)、12月8日(木)

調査資料：シーボルト肖像及び伊藤圭介関係資料

調査資料：シーボルトの肖像画や博物学者の伊藤圭介旧蔵資料の調査を行った。

ii) 場 所：古河歴史博物館

実施日：12月7日(水)

調査資料：鷹見泉石関係史料

内 容：鷹見泉石と長崎との関係の深さがうかがえる資料及び書簡類を閲覧した。

ii) 場 所：京都大学附属図書館／東京都立大学・早稲田大学図書館

実施日：2月10日(金)／2月15・16日(水・木)

調査資料：富士川文庫／植物学関係史料、蘭学関係史料

内 容：京都大学にて蘭方医関係、東京都立大学にて植物標本を含む博物学関係、早稲田大学にて蘭学者の関係史料を調査・閲覧した。

最後)場 所：福岡市総合図書館、福岡県立図書館／自性寺(大分県中津市)

実施日：2月8・9日(水・木)／3月15日(水)

調査資料：蘭癖大名関係史料

内 容：蘭癖大名として知られる福岡藩主・黒田斉清の関係資料を福岡の各図書館で、中津藩主・奥平昌高ほか歴代の中津藩主の関係資料を大分にて調査した。

・オランダ商館と江戸参府に関する調査・研究(調査者：矢田純子)

i) 場 所：帯笑園(静岡県沼津市)、個人宅

実施日：9月23日(金)、11月2・3日(水・木)

内 容：東海道原宿にある帯笑園とその関係資料を閲覧した。

ii) 場 所：賀茂神社(兵庫県たつの市)

実施日：10月25日(金)

内 容：室津に残る江戸参府関係資料の調査を行った。

iii) 場 所：神戸市立博物館

実施日：2月22日(水)

調査資料：村上家文書

内 容：江戸参府にてオランダ商館長たちの定宿であった海老屋関係資料ほか、オランダ通詞、蘭学者関係史料を閲覧した。

iv) 場 所：福山市立鞆の浦歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館、下関市立歴史博物館

実施日：令和5年3月8日(水)～10日(金)

調査資料：中村家日記、守屋壽コレクションほか

内 容：鞆の浦、下関に残る江戸参府関係資料と江戸参府の様子をまとめた関係史料の調査を行った。

・長崎遊学に関する調査・研究(調査者：矢田純子)

i) 場 所：高野長英記念館、名古屋市東山植物園／神田外語大学附属図書館

実施日：9月7・8日(水・木)／11月4日(金)

調査資料：高野長英関係資料、伊藤圭介関係史料

内 容：シーボルトに学ぶため長崎へ遊学した高野長英や伊藤圭介の関係史料、シーボルトの書簡などを調査した。

ii) 場 所：島根大学附属図書館、個人宅

実施日：10月23日(月)

調査資料：松江藩出身の医師で長崎へ遊学した西山砂保に関する資料を閲覧した。

(2) 博物館教育

博物館における学習効果や教育プログラムの内容・方法について、調査研究を行った。

・県内小中高特別支援学校との共同研究の開催(パートナーズプログラム)

2 調査研究活動

久保憲司

○講師

- ・長崎純心大学非常勤講師「博物館資料保存論」

○研修参加

- ・公益財団法人文化財虫菌害研究所主催「第42回文化財防虫防菌処理実務講習会」(WEB講習会)

○学会参加

- ・文化財保存修復学会主催「文化財保存修復学会第44回大会」(熊本県立劇場)6月18日(土)～19日(日)

越中勇

○委員

- ・大村市文化財審議会委員

矢田純子

○講演

- ・九州地方倉庫業連合会第52回通常総会 講演会「貿易都市 長崎のあゆみ」(5月25日(水))
- ・長崎外国語大学「長崎文化論Ⅱ」外部講師(11月22日(火))

長岡枝里

○外部研究

- ・人間文化研究機構ネットワーク型機関研究プロジェクト「ヨーロッパにおける19世紀日本関連在外資料調査研究・活用—日本文化発信にむけた国際連携のモデル構築—」外部研究協力者
- ・公益財団法人鹿島美術財団 美術に関する調査研究助成「長崎における明清美術による影響についての研究」
- ・仏教芸術学会(9月4日(日)) 展覧会紹介「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—」※オンライン開催

○研究会参加

- ・仏教芸術学会(9月4日(日))
- ・九州近世美術研究会(2月19日(日))

施燕

○執筆

- ・「羅雪谷筆《花卉図画帖》(個人蔵)」『美術フォーラム21 特集：エトランジェと／の美術』Vol.46、4～8頁、2022年12月

富川敦子

○学会参加

- ・文化財保存修復学会主催「文化財保存修復学会第44回大会」(熊本県立劇場)6月18日(土)～19日(日)

出口幹子

○講師

- ・長崎純心大学非常勤講師「博物館教育論」

○研修参加

- ・令和4年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム開発のための学芸員研修会「博物館 美術館deやさしい日本語」(佐賀県立博物館・佐賀県立美術館)9月5日(月)

古豊裕次朗

○委員

- ・長崎市立桜町小学校学校運営者会議評議員

○研修参加

- ・長崎県美術館、一般財団法人地域創造主催「第1回美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ」[来館者の裾野を広げる事業展開の評価方法と地域振興について考える]3月14日(火)

松岡めぐみ

○研修参加

- ・長崎県美術館、一般財団法人地域創造主催「第1回美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ」[来館者の裾野を広げる事業展開の評価方法と地域振興について考える]3月14日(火)

末吉千夏

○研修参加

- ・令和4年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム開発のための学芸員研修会「博物館 美術館deやさしい日本語」(佐賀県立博物館・佐賀県立美術館)9月5日(月)
- ・長崎県美術館、一般財団法人地域創造主催「第1回美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ」[来館者の裾野を広げる事業展開の評価方法と地域振興について考える]3月14日(火)

3 資料修理修復事業

○美術資料

2022年度修復作品

No	所有者	番号	作品名	員数	単位	作者	時代	材質	現状	修復仕様	請負業者
1	長崎県	Dイ1,10,11,16,18,19,20,23	刀	8	点				定期的な手入れが必要	手入れ（3ヶ月ごと）	今川泰靖
2	長崎市	刀剣1～10	刀剣	10	点				定期的な手入れが必要	手入れ（3ヶ月ごと）	今川泰靖
3	長崎市	絵（長崎） 211-1,2	小原慶山 筆 仙人 図屏風 （4年計画 のうち1年 目）	6曲	1双	小原慶山	江戸時代	紙本 着色	両隻下地（屏風装）の尾背が断裂。本紙表面に埃が付着している。経年劣化による褪色や虫損、シミ、突傷、亀裂がある。本紙と表具のバランスが悪い。	本紙を下地より外し、膠水溶液で剥落止めを行う。本紙表面を保護するため養生紙にて表打ちを行う。本紙はシミの洗浄のために間接洗浄を行う。本紙の欠損箇所には似寄の和紙にて繕う。肌裏、増裏打ちを行う。屏風装（下張り）は新調する。下地は杉材の白太。下張りは9層。表張りは金箔台紙。小縁は金襴。大縁は緞子。裏面は唐紙。外縁は上花塗り。	宇佐美修徳堂
4	長崎県	A1イ0180	百鶴百亀 図屏風 （4年計画 のうち1年 目）	6曲	1双	程赤城賛	安永6年（1777） 賛	絹本 着色	本紙に経年による劣化、褪色が見られる。虫損被害が甚大。シミ、突傷、亀裂を確認。絹の部分的な剥落あり。裏面は唐紙（雀型）、外縁は春慶塗。	本紙を下地より外し、膠水溶液で剥落止めを行う。本紙表面を保護するため養生紙にて表打ちを行う。本紙はシミの洗浄のために間接洗浄を行う。本紙の欠損箇所には似寄の和紙にて繕う。肌裏、増裏打ちを行う。屏風装（下張り）は新調する。下張り9層。本紙周り：小縁：金襴、大縁：緞子。裏面：無地裂。外縁上花塗り。	宇佐美修徳堂
6	長崎市	図121	女神御台 場絵図	1	枚		文化5年（1808）	紙本 淡彩	まくり。折り畳んで保管されていたため、折り目から破れなどの損傷が発生している。本紙の表面にホコリが付着。虫損、シミ、折れ、欠損が生じている。書き込みのある付箋がある。表面に保管ラベルが貼り付けられている。箱なし。	調査を行う。付箋は位置を記録して取り外す。彩色箇所には膠の水溶液で剥落止めを行い、間接洗浄をする。各本紙の位置を調整し、継ぎ直しを行う。虫損箇所は和紙で繕う。付箋は元の位置に貼り込む。本紙を薄美濃紙で肌裏打ち、薄楮紙で増裏打ち。手紙をつける。	宇佐美修徳堂
7	長崎市	図120	長刀岩御 台場絵図	1	枚		江戸時代	紙本 淡彩	まくり。折り畳んで保管されていたため、折り目から破れなどの損傷が発生している。本紙の表面にホコリが付着。虫損被害が甚大。シミ、折れ、欠損が生じている。書き込みのある付箋がある。表面に保管ラベルが貼り付けられている。箱なし。	調査を行う。付箋は位置を記録して取り外す。彩色箇所には膠の水溶液で剥落止めを行い、間接洗浄をする。各本紙の位置を調整し、継ぎ直しを行う。虫損箇所は和紙で繕う。付箋は元の位置に貼り込む。本紙を薄美濃紙で肌裏打ち、薄楮紙で増裏打ち。手紙をつける。	宇佐美修徳堂
8	長崎県	県書 3 203-1	寛永年間 長崎港図	1	幅		明治時代	紙本 着色	本紙に著しい横折れが発生。本紙の経年劣化により、褪色、剥落が見られる。修理痕があり、本紙の継ぎ目が見えている。軸首には骨を使用。木製の箱あり。	調査を行う。膠水溶液にて剥落止めを行い、乾燥させる。本紙表面保護のため養生紙にて表打ちをする。旧裏打ち紙を除去し間接洗浄を行う。本紙の継ぎ目のずれを極力正しい位置に修正する。欠損部分は似寄の和紙で繕う。本紙は薄美濃紙で肌裏打ち、美洒紙で増裏打ちをする。折れの部分には折伏せを施す。宇陀紙で総裏打ち。旧表具の墨書は元の位置に貼り込む。丸表具。軸首は紫檀軸とする。太巻使用、桐材の収納箱を新調。	宇佐美修徳堂

○古文書資料

令和4年度古文書修復実績

長崎県所蔵分

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	甲号達 明治九年	長崎県	県書 14 671-1 1	301	表紙芯紙の虫喰いが甚大の為、染紙で裏打ち。本紙は裏打ちと繕い修理をした。
2	西洋形船水先免状規則外船舶関係規則 明治10年	長崎県	県書 17 707	123	水濡れにより、紙の劣化とカビでふけている・灰汁に浸潤後裏打ちと繕い修理をした。
3	長崎報告雑誌 自第1号至23号内45号欠	長崎県	県書 19 1-2	214	酸性劣化によりめくるときに裂ける・PH10位の灰汁に浸潤させ脱酸後、水糊をスプレーして極薄の和紙でサンドさせた後分割綴じをした。
4	県庁甲号達 完 明治15年	長崎県	県書 14 671-1 4	424	表紙は破損の為、染紙で裏打ち。劣化した酸性紙が綴じてあるので灰汁に浸潤後裏打ち・虫喰いがひどい箇所は裏打ち処置をした。
5	ミニゲエール発明シタル人名之1848年の発考品	長崎県	県書 ア16 60	8	汚れシミは灰汁をスプレーして吸水紙で吸い取らせた後裏打ち処置をした。
6	有馬中務大輔書状 荒尾石見守宛 安政4年閏5月6日	長崎県	県書 17 459	継紙2	旧裏打ち紙が糊浮きにより剥がれ、継ぎ紙がはずれている為再修理をした。周囲に手紙を付けて極薄2枚で裏打ちをした。
7	小笠原左京大夫書状	長崎県	県書 17 453	継紙2	旧裏打ち紙が糊浮きにより剥がれ、継ぎ紙がはずれている為再修理をした。周囲に手紙を付けて極薄2枚で裏打ちをした。
8	神代鍋島日記 享保14年～元文5年	長崎県	県書 サ19 3	198	本紙中心の折り目が切れている。万年筆での書き込み箇所と訂正箇所の糊浮きが多く虫喰いもあるため極薄紙で裏打ち処置をした。
9	神代鍋島家日記	長崎県	県書 サ19 3-109	152	旧裏打ち紙の化学糊を剥がして再修理1冊目78丁。断簡2冊は虫喰い固着2冊目は38丁。3冊目は36丁を合冊して152丁。
10	日記 神代鍋島家日記	長崎県	県書 サ19 4	102	表紙から12丁までネズミによる営巣と思われる体毛や粘着性の汚れがあり温めた灰汁pH10～11位に浸潤後、裏打ち処置をした。
11	玉園蒐集史料 2	長崎県	県書 13 3272 2	36	旧表紙(酸性紙)を黒谷和紙厚手にとりかえて、四隅の折れをコテでのばした。前後に遊び紙を加えてとじた。
12	大変記 (島原大変記 文久2年写)	長崎県	県書 13K 3127-2	23	虫喰い甚大、湿損による劣化のため、pH10位の灰汁を温め10分程浸潤後裏打ち処置をした。
13	吉野家雑録 神社佛閣	長崎県	県書 ハ11 33-1	23	虫喰い甚大、ネズミが営巣していた形跡あり。湿損による劣化のため、pH10位の灰汁を温め、10分程浸潤後裏打ち処置をした。
14	吉野家雑録 神事神道類	長崎県	県書 ハ11 33-2	19	虫喰い甚大、湿損による劣化のため、温めた灰汁に約10分位、浸潤後裏打ち処置をした。灰汁のpHは10～11
15	皇世紀	長崎県	県書 ハ12 36	5	虫喰い甚大、湿損による劣化のため、温めた灰汁に約10分位、浸潤後裏打ち処置をした。灰汁のpHは10～11
16	伊勢道中日記帳 慶応3年2月 目良家蔵	長崎県	県書 ハ14 215	13	虫喰いと茶色に変色した部分の劣化が酷い。pH10程度の灰汁で洗浄後、裏打ち処置をした。
17	旅中万控帳 天保15年2月	長崎県	県書 ハ14 216	8	虫喰いと茶色に変色した部分の劣化が酷い。pH10程度の灰汁で洗浄後、裏打ち処置をした。
18	江戸評判並千代保事 慶応元年 吉野家蔵	長崎県	県書 ハ14 218	8	虫喰いと茶色に変色した部分の劣化が酷い。pH10程度の灰汁で洗浄後、裏打ち処置をした。
19	新增補 西国奇談 初編二篇	長崎県	県書 ミ12 60	46	2冊が固着して板状になっていたため、温めたpH10程度の灰汁に浸潤後分離した。各丁を剥がした後裏打ち処置をした。
20	香月家家譜	長崎県	県書 シ13 196	22	湿損による固着劣化のため、灰汁pH10位を温め浸潤後裏打ち。紙背文書なので、極薄紙で裏打ちをして両面みれるようにした。
21	九十九桜主人詩稿	長崎県	県書 シ12 77 7	22	湿損による固着劣化のため、灰汁pH10位を温め10分位浸潤後裏打ち処置をした。劣化が著しく断簡が多い。
22	元手銭拝借願証文之事 寛政5年 丑2月	長崎県	県書 ト14 930	1	水濡れによる時間の経過と共に紙質が腐った下方が破損していて開披が困難。pH10位の灰汁に浸潤。翌日開披して裏打ち処置をした。
23	伊万里外湾至長崎港口 海図番号198	長崎県	県書 3 114-4	1	酸性紙の酸性劣化により、裂け、破れが著しい。pH10～11の灰汁を温め、15分位浸潤後裏打ちをした。乾燥後仮張り裁断をした。
24	平戸瀬戸 海図番号193	長崎県	県書 3 115-3	1	酸性紙の酸性劣化により、裂け、破れが著しい。温めたpH10～11の灰汁で洗浄した後、裏打ちをした。乾燥後仮張り裁断をした。
25	神代鍋島家日記 天保15年	長崎県	県書 サ19 3 146	175	表紙は裏打ち処置、付録2丁と合冊した。
26	江戸詰日記 下巻 天保8年丁酉正月	長崎県	県書 サ19 7	4	表紙の虫喰いは裏打ち処置をして入紙をした。
27	県庁乙号達 天 明治9年	長崎県	県書 14 675-1 1	291	虫喰いがひどい頁は裏打ち処置、虫喰い穴は繕い修理をした。

長崎県所蔵資料修理 計27点

長崎市所蔵分

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	南京戊子年當番牌主祝大年該販銀額配銅之數 明和3年8月	長崎市	聖堂 660-81	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
2	南京庚寅年當番牌主祝大年該販銀額配銅之數 明和5年8月	長崎市	聖堂660-104	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
3	寧波丁酉年當番牌主邸邦輝該販銀額配銅之數 安永4年9月	長崎市	聖堂660-185	1	虫喰いがひどく裏打ち処置をした。
4	寧波丁酉年當番牌主沈旭亭該販銀額配銅之數 安永5年4月	長崎市	聖堂660-189	1	虫喰いがひどく裏打ち処置をした。
5	南京戊戌年當番牌主呉晋三該販銀額配銅之數 安永5年9月	長崎市	聖堂660-195	1	虫喰いがひどく裏打ち処置をした。
6	南京乙巳年當番牌主沈同徳該販銀額配銅之數 天明4年正月	長崎市	聖堂660-265	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
7	寧波庚子年當番牌主郭利魁該販銀額配銅之數 安永7年9月	長崎市	聖堂660-221	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
8	寧波癸卯年當番牌主伊啓成該販銀額配銅之數 天明2年4月	長崎市	聖堂660-257	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
9	南京巳巳年當番牌主程益凡該販銀額配銅之數 文化4年9月	長崎市	聖堂660-424	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
10	南京庚午年當番牌主祝大源該販銀額配銅之數 文化5年9月	長崎市	聖堂660-428	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
11	南京癸酉年當番牌主顧徳顧該販銀額配銅之數 文化8年3月	長崎市	聖堂660-440	1	虫喰い部分の繕い修理をした。
12	記事 文政11年正月ヨリ12月マデ	長崎市	280-1335	1	虫喰い穴が頁後方に多く、全体に裏打ち処置をした。
13	記事 文政13年寅春ヨリ夏季マデ	長崎市	280-1336	1	表と裏の表紙になる丁は極薄紙を1枚たして裏打ち処置をした。綴じの平こよりは裏打ちして綴じた。虫喰いは繕い修理をした。
14	江戸道中記 佐々木林九	長崎市	280-1319	1	虫喰い甚大、汚れシミがあるので、pH10位の灰汁で洗浄後、全体に裏打ち処置をした。
15	樋口之系図	長崎市	280-437	1	虫喰い甚大。継ぎ目の糊浮きにセロテープの貼付あり。除去後の色は完全には落ちないがpH10位の灰汁で剥がして裏打ち処置をした。
16	日記 明治9年1月1日～明治10年1月1日 江崎左右平	長崎市	市学 80	268	前後表紙、本紙全体にも汚れしみがあるので、灰汁で洗浄後濾紙に挟んで重しをした。ひどい丁のみ裏打ち。後は部分修理をした。
17	書留	長崎市	市学 89	94	前後の表紙が水濡れにより劣化しているため表紙のみ裏打ちし、本紙は部分修理と、シワとよれを伸ばした。
18	文化懇話会関係資料 (1) 昭和23年長崎市民生活の実態 総合調査企画本部	長崎市	市学 57 (1)	56	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。
19	文化懇話会関係資料 (2) 昭和27年度 水産製品検査年報 長崎県水産部水産課	長崎市	市学 57 (2)	83	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。
20	文化懇話会関係資料 (3) 活水75年の歩み活水学院活水女子短期大学入学案内 1955	長崎市	市学 57 (3)	冊子2	部分修理をした。
21	文化懇話会関係資料 海の星復刊 第一号 (三先生追悼号)	長崎市	市学 57 (4)	20	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。
22	文化懇話会関係資料 重要漁港計画概要書	長崎市	市学 57 (5)	5	酸性劣化の表紙は錆びたホッチキスを除去後裏打ち平面図は部分修理をした。
23	文化懇話会関係資料 長崎漁港の概要長崎県昭和32年6月	長崎市	市学 57 (6)	10	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。
24	長崎県水産業の概況昭和24年長崎県水産部	長崎市	市学 57 (7)	31	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。
25	文化懇話会関係資料 時局防空必携昭和18年改訂内務省防空局	長崎市	市学 57 (8)	121	冊子は錆びたホッチキスをはずし酸性劣化している本紙を灰汁に浸潤後、極薄の機械漉き和紙でサンドして製本をした。

長崎市所蔵資料修理 計25点

4 資料の管理

1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
- (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
- (3) 長崎奉行所に関する資料
- (4) 長崎文化に関する資料
(「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
(「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 84,950点

長崎県所有の資料 52,404点

長崎市所有の資料 32,546点

指定文化財

○国指定重要文化財

- 安政二年「日蘭条約書」
- 紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風
- 長崎奉行所関係資料 1,242点
- 絹本著色鯉魚跳龍門図

○長崎県指定文化財

- 刀・対州住長幸
- 刀・肥前国忠吉
- 青方文書
- 永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

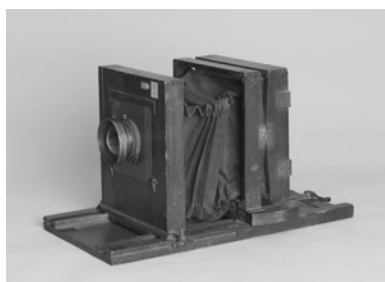
- 紙本著色瀉血手術図
- 紙本著色南蛮人来朝図之屏風
- 紙本著色唐蘭館の図 2巻

日本化学遺産(公益社団法人日本化学会認定)

上野彦馬使用写真機



▲紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風



▲写真機



▲鯉魚跳龍門図

2) 資料及び画像の貸出管理

○画像貸出件数 総数418件 (34件/月)

博物館関係機関	27
行政機関	45
マスコミ	91
出版関係	61
教育関係	117
その他	77
合計	418

○資料貸出件数 6件 (27点)

No	展覧会名	会期	貸出先(展示会場)	貸出期間	資料名		資料番号
					連番	名称	
1	西九州新幹線開業記念特別企画展「新風颯爽 かもめ翔ぶ」	令和4年9月23日(金)～11月6日(日)	武雄市図書館・歴史資料館	令和4年8月31日(水)～11月11日(金)	1	扇面大日本九州鉄道最新地図	県書 4 102
					2	露国使節プチャーチン長崎入港絵巻	県美博 Fイ0245
					3	オランダ渡汽車図入中皿	陶(オランダ) 17
2	2022 コレクション展Ⅲ 生命の輝きを求めて	令和4年9月16日(金)～11月13日(日)	大分県立美術館	令和4年9月12日(月)～11月18日(金)	4	メスキータ神父肖像画	県美博 Fイ0205
					5	伊東マンショ肖像画	県美博 Fイ0227
					6	伊東マンショ肖像(複製) /油彩	県美博 Fイ0236
3	特別展「城址がみた近代大村-鉄道・軍隊・大村公園-」	令和4年10月15日(土)～11月20日(日)	大村市歴史資料館	令和4年9月28日(水)～11月25日(金)	7	大村/島原/平戸/五島旧城郭調帳 明治8年	県書 13 2-2
					8	元大村県庁書類	県書 14 1321
					9	長崎県達 県令 明治22年	県書 14 725-2
					10	鉄道ノ部 明治29年7月～9月	県書 17 349 3
4	出島和蘭商館跡国指定100周年記念企画展「出島-1922▶2022-」展	令和4年10月5日(水)～12月18日(日)	出島復元整備室	令和4年10月5日(水)～12月26日(月)	11	西大村鉄道線路設計平面図 六百分の1	県書 17 349 7-4
					12	御達書并紅毛船風説書 全	市博 310-67
5	特別展「榊林宗建とその一族」	令和4年10月21日(金)～11月17日(木)	シーボルト記念館	令和4年10月14日(金)～令和5年1月10日(火)	13	猩猩宴之図菓子鉢	県美博 Dハa0247
					14	出島門鑑	市博 貿易32
					15	得生軒方函 写本	県書 シ15 6
6	「長崎警備と白帆注進」展	令和4年11月29日(火)～令和5年1月22日(日)	九州国立博物館	令和4年11月11日(金)～令和5年2月7日(火)	16	牛痘小考 嘉永2年序	県書 ヘ15 53
					17	書幅(福)	市博 書(長崎) 15
					18	御役方要用記録 文政2年/巻ノ8	県書 13 929 6-1
					19	御用留 安政7年	県書 14 58-3 4
					20	崎陽群談 壺	市博 210-37-1
					21	長崎名勝図絵稿本	市博 210-59-9
					22	長崎諸官公衙及附近図	県書 3 36-2
					23	御台場十二箇所切絵図 西泊御番所	県書 3 73-2 6
					24	御台場十二箇所切絵図 戸町御番所	県書 3 73-2 8
					25	華蛮要言 巻3	県書 ア13 16 1
7 (返却)	ヨーロッパ歴史館 常設展	-	ヨーロッパ歴史館	平成29年度貸出～令和4年5月20日(金)	26	華蛮要言 巻4	県書 ア13 16 2
					27	華蛮要言 巻1	県書 ア17 38 1
					1	染付龍細工瓢形瓶	県美博 Dハa0726
					2	赤絵蘭船蘭人文蓋付椀(5組のうち3組)	県美博 Dハa1092

3) 新収蔵資料

長崎県収集資料

No	分類	資料名	作者・産地	製作年代	備考
1	絵画	Domestigrie (商家の使用人) / 掛取人物図	川原慶賀	文久2年 (1862)	購入資料
2	絵画	崎陽湊之景	玉錦浦 画/岡田半江 賛	文政9～10年 (1826～1827) 頃	購入資料
3	絵画・版画	NAGASAKI 段丘にある寺院 本蓮寺境内	アルベルト・ベルク	1864～1873年	購入資料

5 資料公開事業

収蔵資料（古文書、絵図や美術工芸資料など156点の高精細画像での撮影、ミュージアムネットワークシステムへの登録やデータ更新（一部その準備）、資料閲覧室での画像データ閲覧の促進をはかった。

令和4年度 撮影資料リスト

No	資料番号	資料名	備考
1	県美博 A1イ0238	木下逸雲 青緑山水図	
2	県美博 A1ロ0121	松井慶仲 虎図	
3	県美博 A1ロ0122	鉄翁 溪山瑞霏	
4	長崎県 令和4年度新収蔵	NAGASAKI 段丘にある寺院 本蓮寺境内	
5	長崎県 令和4年度新収蔵	崎陽湊之景	
6~49	県書 B) 11 171-1 119~161	切支丹史料119~161	43点
50	県書 3 203-1	寛永年間長崎之図	令和4年度修復資料
51	県書 3 54-1	肥前国彼杵郡之内大村領絵図 元禄13年辰正月	
52	県書 3 162-2	城郭全図 大村県	
53	県書 3 211-1	亜米利加船渡来ニ付港外警備図	
54	県書 3 25-2	旧佐賀 旧平戸領図	
55	県書 3 260	肥前全図	
56	県書 3 298 1	御城内外市中島原村図 その1	
57	県書 3 298 2	御城内外市中島原村図 その2	
58	県書 4 33 1	シーボルト先生渡来百年記念会之印	
59	県書 4 33 2	シーボルト先生渡来百年記念会之印	
60	県書 4 60	玳瑁ペーパーナイフ	
61	県書 4 61	シーボルト先生鳴滝塾跡整備記念シーボルト像 壁掛 昭和38年3月16日	
62	県書 4 83	綿打弓	
63	県書 4 102	扇面大日本九州鉄道最新地図	
64	県書 ク18 10	鳳鳴	
65	県書 ク4 5	楠本端山使用の印	
66	県書 テ4 3	西道仙印	
67	県書 テ4 4	貿易手形	
68	県書 ト4 1	藤氏印鑑	
69	県書 ヘ13 398	長崎年暦両面観（文政11年）	
70~75	県書 ミ13 37 絵1~6	雪屋森氏年代記録表 家内事歴、資産建築、長崎記事より絵図	6点
76	市博 絵（中国）1	石榴図	
77	市博 絵（中国）2	蒋廷錫 松鶴図	
78	市博 絵（中国）5	江稼圃 蘭図	
79	市博 絵（中国）6	余菘 八百退齡図	
80	市博 絵（中国）11	方西園 花鳥図	
81	市博 絵（中国）13	江稼圃 山水図	
82	市博 絵（中国）14	吳昌碩 竹図	
83	市博 絵（中国）17	江稼圃 松菊図	
84	市博 絵（中国）19	蒲華 梅図	
85	市博 絵（中国）20	王燦如 星神図	
86	市博 絵（中国）23	胡鉄梅 苹果松図	
87	市博 絵（中国）25	張秋穀 石榴花図	
88	市博 絵（中国）26	陸香舟 関帝図	
89	市博 絵（中国）28	費漢源 山水図	
90	市博 絵（中国）30	羅雨峰 水仙図	
91	市博 絵（中国）33	陳逸舟 石靈芝図	
92	市博 絵（中国）34	費漢源 宮中舞楽図	
93	市博 絵（中国）36	江稼圃 竹図	
94	市博 絵（中国）37	江稼圃 松図	
95	市博 絵（中国）38-1	勞激 四季山水図 江南春樹	

No	資料番号	資料名	備考
96	市博 絵(中国) 38-2	勞激 四季山水図 長江万里	
97	市博 絵(中国) 38-3	勞激 四季山水図 候嶺松風	
98	市博 絵(中国) 38-4	勞激 四季山水図 堯峰雪晴	
99	市博 絵(中国) 40	伝呂紀 芦雁図	
100	市博 絵(中国) 44	金華仙人図	
101	市博 絵(中国) 45	李用雲 滝山水図	
102	市博 絵(中国) 46	趙之謙 芋莖図	
103	市博 絵(中国) 48	江稼圃 彩筆竹石図	
104	市博 絵(中国) 49	中国美人図	
105	市博 絵(中国) 50	馬瑞 山水図	
106	市博 絵(中国) 51	胡鉄梅 山水図	
107	市博 絵(中国) 52-1	費漢源 青緑山水 右幅	
108	市博 絵(中国) 52-2	費漢源 青緑山水 左幅	
109	市博 絵(中国) 56	張秋穀 柘榴図	
110	市博 絵(中国) 57	費漢源 秋景山水図	
111	市博 絵(中国) 62	陳逸舟 晴嵐暖翠図	
112	市博 絵(中国) 63	費漢源 墨竹図	
113	市博 絵(中国) 65	江稼圃 秋景山水図	
114	市博 絵(中国) 68	趙千里琵琶行図	
115	市博 絵(中国) 75	徐雨亭 菊図	
116	市博 絵(中国) 79	陳逸舟 山水図	
117	市博 絵(中国) 81	王克三 水墨山水図	
118	市博 絵(中国) 83	徐雨亭 山水図	
119	市博 絵(中国) 84	張子祥 桃仙図	
120	市博 絵(中国) 90	吳穎佩 文昌帝君夢想関羽図	
121	市博 絵(中国) 97	周天球 古木竹石図	
122	市博 絵(長崎) 112	木下逸雲 石流溪樹図	
123	市博 絵(長崎) 121	守山湘颯 松図	
124~126	市博 書(日本) 52-1~3	書簡 中村季圃宛	3点
127	市博 聖堂器物額・聯5	額・講義公開揭示板	
128	市博 高木210-11-1	外科阿蘭陀人シーボルト一件	
129	市博 高木210-11-2	[外科阿蘭陀人シーボルト一件]	
130	市博 高木210-11-3	御取上之品	
131~149	市博 貿易27-1~19	万国旗鑑(断簡)	19点
150	市博 産業22	南京正伝針屋看板	
151	市博 産業23	長崎針屋看板	
152	市博 図120	長刀岩〔御台場絵図〕	令和4年度修復資料
153	市博 図121	女神〔御台場絵図〕	令和4年度修復資料
154	市博 絵52	シーボルト鳴滝塾図	
155	市博 絵74	長崎市鳥瞰図	
156	市学74	長崎中野の本店唐物方江内々通達状之写 シーボルト事件通報書	

6

長崎学・生涯学習支援事業

1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供することを目的としている。

2 一般向け事業

○れきぶん長崎学講座スタンダード

長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果を広く公開し、郷土の歴史に対する県民・市民の関心と理解を深めること、生涯学習の促進及び長崎学の発展を主な目的とする講座を行った。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	5月21日(土) 14:00~15:30	1階ホール	『寛文長崎図屏風』に描かれた人々の暮らし	深瀬公一郎(当館研究員)	25名
2	6月18日(土) 14:00~15:30		対馬と朝鮮通信使	町田一仁氏(対馬博物館・対馬朝鮮通信使歴史館館長)	37名
3	9月10日(土) 14:00~15:30		長崎・紀州の旅と文化交流-旅網・鯨・巡礼-	蘇理剛志氏(和歌山県立紀伊風土記の丘主査学芸員)	36名
4	10月22日(土) 14:00~15:30		唐寺の仏像	楠井隆志氏(福岡県人づくり・県民生活部文化振興課 新県立美術館建設室参事)	34名
5	10月29日(土) 14:00~15:30		長崎の「お絵像さま」と黄檗肖像画	錦織亮介氏(元福岡市美術館長)	45名
6	11月19日(土) 14:00~15:30		「長崎の黄檗」とは何だったのか?	長岡枝里(当館研究員)	48名
7	1月22日(日) 14:00~15:30		岩倉使節団副使 山口尚芳と長崎	川副義敦氏(武雄市歴史資料館歴史資料専門官)	21名

○長崎学講座エキスパート

当館研究員が中心となって、常設展示に関連した古文書等の原資料や収蔵資料を通して、長崎学講座をより専門的に掘り下げた講座を行った。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	10月15日(土) 10:30~12:00	1階講座室	「長崎の黄檗展」をより楽しむ	長岡枝里(当館研究員)	18名
2	12月3日(土) 14:00~15:30	1階ホール	宣教師の日本潜入と唐船	深瀬公一郎(当館研究員) ※講師の都合により9月24日(土)から振替。	25名

○れきぶん文化財セミナー

当館研究員が古文書の修復をテーマに講座を実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	11月5日(土) 10:00~12:00	1階講座室	古文書の修復体験をしてみよう! (裏打ち)	富川敦子・久保憲司(当館研究員)	7名
2	11月26日(土) 10:00~12:00		古文書の修復体験をしてみよう! (製本)	富川敦子・久保憲司(当館研究員)	7名
3	12月18日(日) 10:00~12:00		古文書の修復体験をしてみよう! (こより作り)	富川敦子(当館研究員)	3名

○これから始める古文書講座（初級）

歴史研究の基礎となる古文書に興味・関心を持ってもらうとともに、その解読方法の習得を主な目的として実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	5月8日（日） 14:00～15:30	1階ホール	古文書史料を読み解く① [初級]	矢田純子（当館研究員）	22名
2	6月5日（日） 14:00～15:30		古文書史料を読み解く② [初級]	矢田純子（当館研究員）	19名
3	7月3日（日） 14:00～15:30		古文書史料を読み解く③ [初級]	矢田純子（当館研究員）	31名

○もっと読みたい古文書講座（中級）

古文書を詠んだ経験のある方を対象に、解説方法の習得を主な目的として実施した。

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	9月4日（日） 14:00～16:00	1階ホール	古文書史料を読み解く①	矢田純子（当館研究員）	34名
2	10月2日（日） 14:00～16:00		古文書史料を読み解く②	矢田純子（当館研究員）	31名
3	11月6日（日） 14:00～16:00		古文書史料を読み解く③	矢田純子（当館研究員）	30名
4	12月4日（日） 14:00～16:00		古文書史料を読み解く④	矢田純子（当館研究員）	33名
5	1月15日（日） 14:00～16:00		古文書史料を読み解く⑤	矢田純子（当館研究員）	31名
6	2月19日（日） 14:00～16:00		古文書史料を読み解く⑥	矢田純子（当館研究員）	33名

○出張古文書講座

県北地域（佐世保）の在住者を対象とした古文書講座を実施した。（受講料：1,000円）

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	7月24日（日） ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	アルカス SASEBO 中会議室A	出張古文書講座 (①初級 ②中級)	矢田純子（当館研究員）	①17名 ②16名

○施設間連携講演会

長崎県からの受託事業として当館を中心に有馬キリシタン遺産記念館及び南島原市が連携し「世界文化遺産 長崎と天草地方のキリシタン関連遺産」をテーマに講演会を実施した。

なお、講演会の動画配信をYouTubeで11月1日から11月30日まで実施した。動画配信閲覧数は253回であった。

No.	日時	会場	講演会タイトル	講師	参加者
1	10月22日（土） 10:30～11:40	南島原市原城オアシスセンター 多目的ホール	文化の拠点としてのキリシタン 島原	デ・ルカ・レンゾ神父（イエズス会 日本管区長）	59名

○スタディーツアー

長崎県からの受託事業として当館と有馬キリシタン遺産記念館が連携し「世界文化遺産 長崎と天草地方のキリシタン関連遺産」をテーマにスタディーツアーを実施した。

No.	日時	会場	ツアータイトル	引率	参加者
1	10月22日（土）終日	南島原市内	南島原のキリシタン 世界文化遺産をめぐる旅	橋本正信氏（長崎県文化観光・世界遺産課文化企画班指導主事）・山口博文（当館サブマネージャー兼研究グループリーダー）・出口幹子（当館教育グループリーダー）	21名

○世界文化遺産 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産写真パネル展

長崎県からの受託事業として当館と長崎県美術館が連携し「世界文化遺産 長崎と天草地方のキリシタン関連遺産」をテーマに写真パネル展を実施した。

No.	期間	会場	展示タイトル	展示内容	参加者
1	12月28日（水）、1月2日（月） ～1月6日（金）（6日間）	長崎県美術館講座室	世界文化遺産 長崎と天草地方のキリシタン関連遺産	「世界文化遺産 長崎と天草地方のキリシタン関連遺産」の概要と各構成資産を紹介する写真パネル14枚を展示した。（入場無料）	-

3 学校向け事業

○学校団体来館状況

		件数	人数
県内	小学校	112	3,729
	中学校	13	532
	高等学校	9	574
	特別支援学校	14	183
	学童・放課後学級	15	215
	幼稚園・保育園	1	21
	大学	5	128
	専門学校	1	13
	その他	3	55
県外	小学校	314	17,933
	中学校	245	7,466
	高等学校	168	3,082
	特別支援学校	8	84
	大学	15	341
	専門学校	1	63
	その他	4	156
合計		928	34,575

○対応件数（来館時対応）

	県内	県外	合計
小学校	45	8	53
中学校	6	4	10
高等学校	3	5	8
特別支援学校	3	1	4
学童・放課後学級	7	0	7
幼稚園・保育園	1	0	1
大学	1	3	4
専門学校	0	0	0
その他	2	2	4
合計	68	23	91

○パートナーズプログラム

博学連携事業として2008年度に発足。研修会を開催し、当館を利用した授業の実践について情報交換を行っている。

〈参加者〉

田中英明（長崎市立南陽小学校教諭）、深堀昭三（長崎市立長浦小学校教諭）、鈴山裕司（平戸市立度島小中学校教諭）、加藤尊城（長崎市立諏訪小学校教諭）、谷口智也（長崎市立高尾小学校教諭）、小林輝子（長崎市立桜町小学校教諭）、植木幹大（長崎市立鳴見台小学校教諭）、南部弥生（聖マリア学院小学校教諭）、田原千佳子（聖マリア学院小学校）、藤村誠（長崎県立長崎東中学校教諭）、梅崎小百合（西海市立大崎中学校教諭）、原田潤一郎（長崎市立長崎中学校教諭）、松尾俊幸（長崎市立琴海中学校教諭）、岩永崇史（活水高等学校活水中学校教諭）、原口茂樹（活水高等学校教諭/長崎大学非常勤講師）、上田奈穂美（長崎県立大村特別支援学校教諭）、橋本正信（長崎県文化振興課・世界遺産課）

〈研修内容〉

	日時	活動内容	参加者
第1回	5月14日(土) 13:30~17:00	前年度の実践事例報告、月イチワークショップの体験、意見交換	11名
第2回	8月7日(日) 13:30~17:00	活動報告、企画展「西九州新幹線開業記念」見学、夏休みイベント見学、意見交換	10名
第3回	10月29日(土) 13:30~17:00	活動報告、企画展「長崎の黄檗」講演会聴講、企画展・常設展見学	9名
第4回	12月3日(土) 13:30~17:00	活動報告、長崎大学教育学部蓄積型実習成果物講評、意見交換	8名
報告会	3月4日(土) 13:30~17:00	実践報告、質疑応答、特集展示室見学	8名

○教員研修会

	日時	テーマ	対象	参加者
1	8月5日(金) 10:30~12:00	夏期教員研修会 ※オンライン	小中高等学校・特別支援学校	2名
2	8月19日(金) 15:00~16:00	研修会 当館講座室ほか	長崎市立南長崎小学校	12名

○遠隔授業

県内の遠隔地にある学校を対象に、オンライン授業を実施した。

No	日時	対象	主な内容	担当	参加者
1	9月30日(金) 9:25~11:15	新上五島町立上五島中学校 2年生	江戸時代の長崎を知ろう	末吉千夏・古豊裕次朗(当館研究員)	39名
2	11月11日(金) 10:25~12:05	平戸市立度島小学校 5・6年生	バーチャル博物館	出口幹子・古豊裕次朗(当館研究員)	15名
3	11月11日(金) 13:50~15:40	平戸市立度島中学校 全学年	バーチャル博物館	出口幹子・古豊裕次朗(当館研究員)	14名

○出張授業

長崎県内の学校を対象に、出張授業を行った。

No	日時	対象	テーマ	担当	参加者
1	5月23日(月) 13:30~14:20	長崎県立長崎工業高等学校 3年生	「精霊流しと長崎くんちーそれぞれの船ー」	古豊裕次朗(当館研究員)	10名
2	5月26日(木) 9:20~12:00	長崎市立為石小学校 6年生	「長崎の歴史」 ※移動博物館を同日開催	出口幹子(当館研究員)	19名
3	6月13日(月) 13:55~15:45	西海市立大崎中学校 2年生	「江戸時代の長崎貿易」 ※移動博物館を同日開催	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	44名
4	7月6日(水) 10:30~12:35	西海市立大崎中学校 2年生	「修学旅行のための長崎ガイド」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	44名
5	7月12日(火) 9:15~10:15	長崎県立希望が丘高等特別 支援学校 1年生	長崎と海外との交流の歴史	松岡めぐみ(当館研究員)	32名
6	7月14日(木) 10:25~12:05	佐世保市立吉井南小学校 6年生	「吉井町周辺の史跡」 「修学旅行のための長崎ガイド」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	39名
7	9月13日(火) 10:00~15:00	佐世保市立相浦西小学校 6年生	「長崎の歴史」 ※移動博物館を同日開催	出口幹子(当館研究員)	500名
8	9月22日(木) 9:15~10:00	長崎市立桜町小学校 3年生	「長崎くんちー川船ー」	古豊裕次朗(当館研究員)	85名
9	9月22日(木) 10:05~10:50	長崎市立桜町小学校 4年生	「長崎くんちー御神輿・シャギリー」	古豊裕次朗(当館研究員)	75名
10	9月26日(月) 10:10~12:35	長崎市立長浦小学校 5・6年生	「長崎の歴史Ⅰ つながりはじめた 世界と長崎」 ※移動博物館を同日開催	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	64名
11	10月5日(水) 14:15~15:15	長崎市立南陽小学校 5年生	「深堀と長崎と佐賀」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	51名
12	10月19日(水) 11:00~12:35	長崎市立長浦小学校 6年生	「長崎の歴史Ⅱ キリシタンと大村 藩長浦との関係」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	15名
13	10月25日(火) 14:25~16:15	長崎県立長崎東中学校 1年生	職業講話 学芸員の仕事	末吉千夏(当館研究員)	24名
14	11月1日(火) 10:20~11:05	東彼杵町立彼杵小学校 4年生	長崎に残る昔の建物(くらしの中に 伝わる願い)	松岡めぐみ(当館研究員)	45名

No	日時	対象	テーマ	担当	参加者
15	11月11日(金) AM	長崎市立深堀小学校 5年生	「長崎市景観教室 深堀の歴史と文化」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	44名
16	11月14日(月) 10:05~14:05	長崎市立南陽小学校 5・6年生	「長崎の歴史」 ※移動博物館を同日開催	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	297名
17	11月18日(金) 11:00~12:35	長崎市立長浦小学校 6年生	「長崎の歴史Ⅲ 明治日本の産業革命遺産と長崎」	末吉千夏(当館研究員)	13名
18	1月23日(月) 14:25~15:15	長崎県立国見高等学校 1年生	長崎の歴史とキリスト教	末吉千夏(当館研究員)	56名
19	2月7日(火) 10:45~12:35	長崎県立小浜高等学校 1年生	「長崎の魅力、再発見 ーじげもん検定ー」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	47名

○オンライン授業

No	日時	対象	テーマ	担当	参加者
1	1月25日(水) 13:00~14:00	聖パウロ学園高等学校 2年生	オンライン授業 長崎旅行の前に	松岡めぐみ(当館研究員)	30名

○高校3年生プログラム

No	日時	対象	主な内容	担当	参加者
1	2月1日(水) 10:00~10:50	聖和女子学院高等学校 3年生	「長崎の歴史とキリスト教 ー長崎くんちー」	古豊裕次朗(当館研究員)	70名
2	2月3日(金) 9:45~11:35	長崎県立大崎高等学校 3年生	「長崎の魅力、再発見 ーじげもん検定ー」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	29名
3	2月8日(水) 11:00~11:50	長崎県立口加高等学校 3年生	南島原の歴史について	松岡めぐみ(当館研究員)	70名
4	2月9日(木) 9:45~10:35	長崎県立西彼杵高等学校 3年生	「西彼杵・長崎の魅力、再発見 ーじげもん検定ー」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	22名
5	2月9日(木) 14:00~15:30	長崎純心女子高等学校 3年生	見学前レクチャー(長崎の歴史文化について)	松岡めぐみ(当館研究員)	84名
6	2月15日(水) 10:05~10:55	長崎県立大村城南高校 3年生	「大村・長崎の魅力、再発見 ーじげもん検定ー」	橋本正信(長崎県文化振興・世界遺産課)	130名

○移動博物館

遠隔地を中心に教育用資料を学校に展示し、解説や見学補助を行った。

No	日時	実施校	対象	参加者
1	5月26日(木) 9:20~12:00	長崎市立為石小学校	6年生 ※出張授業同日開催	19名
2	6月13日(月) 13:55~15:45	西海市立大崎中学校	2年生 ※出張授業同日開催	44名
3	9月13日(火) 10:00~15:00	佐世保市立相浦西小学校	6年生、他学年自由見学 ※出張授業を同日開催	500名
4	9月21日(水) 10:25~13:35	佐世保市立吉井南小学校	6年生	160名
5	9月26日(月) 10:10~12:35	長崎市立長浦小学校	5・6年生 ※出張授業を同日開催	64名
6	11月14日(月) 10:05~14:05	長崎市立南陽小学校	5・6年生 ※出張授業を同日開催	297名

○職場体験

No.	対象	日時	参加者
1	活水中学校2年生	7月7日(木)・8日(金) 9:00~16:00	2名
2	長崎市立茂木中学校2年生	9月15日(木)・16日(金) 9:00~16:00	1名
3	海星中学校2年生	10月12日(水)~14日(金) 9:00~15:00	2名

4 こども向け事業

博物館に興味・関心をもってもらうため、子供の成長段階に応じた様々な学びのプログラムを実施した。

○はくぶつかんのおはなし会

幼児から小学校低学年を対象に、伝統的な季節の行事に合わせて開催。ボランティアスタッフ協力のもと、行事に関連したお話の読み聞かせとものづくりを行っている。

時間／10:30～11:30 場所／2階立山亭、常設展示室 参加費／無料 定員／親子5組

No	開催日	伝統行事	テーマ	参加者
1	4月30日(土)	端午の節句	こいのぼり	10名
2	7月2日(土)	七夕	たなばたかざり	6名
3	7月23日(土)	河童忌	かっぱのスケッチ	12名
4	9月24日(土)	くんち	くんち手ぬぐい	12名
5	12月17日(土)	正月	お正月あそび	10名
6	1月28日(土)	節分	おにのお面	5名
7	2月25日(土)	桃の節句	ひなかざり	7名

○てんじしつのおはなしツアー

子どもはもちろん、保護者の方も一緒に博物館で過ごす時間を楽しんでもらうことを目的として実施。親子を展示室へ招待し、スタッフがつきそって鑑賞する。

参加費／無料 定員／親子5組

No.	開催日時	会場	参加者
1	6月5日(日) 11:00	歴史文化展示室	13名
2	6月11日(土) 11:00	長崎奉行所展示室	4名
3	8月7日(日) 11:00	歴史文化展示室	6名
4	8月21日(日) 11:00	歴史文化展示室	5名
5	11月3日(木祝) 11:00	長崎奉行所展示室	2名
6	11月13日(日) 14:00	企画展示室(長崎の黄檗展)	11名
7	11月13日(日) 16:00		
8	11月19日(土) 11:00	長崎奉行所展示室	5名

○れきぶんこどもクラブ

小学生を対象に、展示室見学や作品制作を通して、長崎の歴史や文化にふれることを目的に、7回連続講座として実施。

時間／14:00～16:00 場所／1階講座室 参加費／各回500円(第7回は無料)

定員／15名

<前期>

	開催日	テーマ	講師	参加者
1回	4月23日(土)	はくぶつかんたんけん	当館研究員	12名
2回	5月7日(土)	きらきら小箱づくり	当館研究員	10名
3回	6月11日(土)	こねこねモンスター	近藤浩一氏	12名
4回	6月25日(土)	こうぞで紙すき	石田孝氏	11名
5回	7月9日(土)	オリジナルの器づくり	土屋美穂氏	10名
6回	7月23日(土)	「西九州新幹線開業記念展」関連イベント	当館研究員	10名
7回	8月6日(土)	展覧会づくり	当館研究員	10名

<後期>

	開催日	テーマ	講師	参加者
1回	10月1日(土)	くんち手ぬぐいをつくろう	当館研究員	14名
2回	10月22日(土)	「長崎の黄檗展」関連イベント	当館研究員	12名
3回	11月19日(土)	南画ってなんだ?	田中正博氏	14名
4回	12月10日(土)	ガラス絵のふしぎを知ろう	林田薫氏	10名

	開催日	テーマ	講師	参加者
5回	1月21日(土)	トントンゴゴギコおもちゃをつくろう ※講師の都合により中止	近藤浩一氏	-
6回	2月4日(土)	昭和の子ども写真展関連イベント	当館研究員	6名
7回	2月18日(土)	展覧会づくり	当館研究員	9名

○こども茶道クラブ

小学生を対象にした、日本の伝統文化、茶道にふれる連続講座。

時間／14:00～16:00 場所／2階立山亭 参加費／3500円(全7回) 定員／15名

主催／一般社団法人表千家同門会長崎県支部 共催／長崎歴史文化博物館

	開催日	内容	参加者
第1回	7月23日(土)	お茶とお菓子のいただき方	11名
第2回	8月6日(土)	茶室でのごあいさつと歩き方	9名
第3回	8月20日(土)	お茶をたてる	8名
第4回	9月3日(土)	お茶をたてて、お運びする	12名
第5回	9月17日(土)	お点前をする①	14名
第6回	10月15日(土)	お点前をする②	9名
第7回	10月29日(土)	親子でお茶会	36名

※第7回は家族の人数を含む

○ゴールデンウィーク 子ども向けイベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
れきぶんのゴールデンウィーク くるくるペーパーで長崎式こいのぼり	5月4日(水祝) ①13:00～14:30 ②15:00～16:30 1階エントランス	色画用紙を巻いて作るくるくるペーパーで、長崎式の掲げ方をするこいのぼりを作成。 参加費：100円 対象：どなたでも	4名

○れきぶんの夏休み

No	イベント名	開催日時・場所	内容・料金・定員	参加者
1	れきぶん子ども特派員	7月18日(月祝) 8月27日(土) 10:00～12:00 1階ホール	「長崎の夏の行事」について子ども特派員になって調査 対象：小学生と保護者 定員：10名 参加費：無料 講師：当館研究員	7/18:41名 8/27:20名
2	銀屏風をつくろう	7月27日(水) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 1階エントランス	ミニ屏風を作成 対象：小中学生 定員：各回12名 参加費：300円	28名
3	佐世保独楽絵付け	7月27日(水) 8月3日(水) ①11:00～11:30 ②14:00～14:30 貸工房	佐世保独楽の絵付けと独楽回し体験。 対象：年長～中学生 定員：各回5名 参加費：900円 講師：佐世保独楽本舗三代目山本貞右衛門	7/27:28名 8/3:22名
4	べっ甲体験	7月28日(木) 8月4日(木) ①10:30～11:00 ②14:00～14:30 貸工房	べっ甲を磨き、ペンダントやストラップを制作した。 対象：小学生～中学生 定員：各回4名 参加費：500円 講師：川政べっ甲	7/28:20名 8/4:18名
5	プラバンで風鈴づくり	7月28日(木) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 1階エントランス	プラバンで風鈴作成 対象：小学生 定員：各回12名 参加費：400円	28名
6	古地図のミニ封筒をつくろう	7月30日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 (随時受付) 1階エントランス	収蔵品の古地図のコピーを使用した封筒づくり。 対象：どなたでも 参加費：50円	41名
7	和紙のおりぞめバッグづくり	8月3日(水) ①10:30～12:00 ②13:00～15:00 1階エントランス	対象：小学生 定員：各回12名 参加費：500円 講師：浦川照文氏(学習塾 照る塾代表)	36名

No	イベント名	開催日時・場所	内容・料金・定員	参加者
8	竹あそび	8月7日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00 イベント広場	水鉄砲づくり。 対象：小学生 定員：各回10名 参加費：300円 講師：近藤浩一氏(長崎県美術協会彫刻部評議員/長崎竹活Labo副代表)	25名
9	動く！オリジナル龍	8月11日(木祝) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30 1階エントランス	色画用紙で揺らすと動く龍を作成 対象：小学生 定員：各回12名 参加費：100円	27名
10	百合和会お箏のミニコンサートと体験ワークショップ	8月5日(金) ①13:00~14:30 ②15:00~16:30	箏の音色を楽しんだ後、箏の演奏を体験 対象：どなたでも 定員：各回10名 参加費：無料 講師：百合和会 協力：平野楽器店	19名
11	オンライン自由研究 コピーのれきし [合羽摺り風カード作り]	8月12日(金) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30	版画や活版についての講話とミニカード作り。 対象：小学3年生~中学生(自宅でzoomが使用できる方) 定員：各回10名 参加費：無料	5名
12	夏のフラワーアレンジ	8月17日(水) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00 1階エントランス	夏の花を使い、作品は持ち帰りとした。 対象：年中~小学生の親子 定員：各回10組 参加費：1,000円 講師：花芸安達流 伊達木百合子氏	30名
13	れきぶんクイズラリー	7月20日(水)~8月31日(水) 常設展示室	参加者にはオリジナル缶バッジを進呈。 対象：どなたでも 参加費：無料	583名
14	れきぶんで見つけた みんなの「いいね」	7月20日(水)~8月31日(水) 1階インフォメーションカウンター	お気に入りの展示物や館内での気づき等について、来館者がふせんにひとこと書いて掲示できるスペースを設置した。	56名

5 レファレンス事業

ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、外部からの画像の貸出に対応している。また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書・文書資料については、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部の文書資料や重要文化財や器物資料など特に貴重な資料については、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り資料に触れる機会を設けている。

ウ) レファレンスルーム利用者状況

令和4年度総利用者数 544人(45人/月)

月別利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
37	23	25	58	51	65	52	43	47	26	52	65

複写利用者数 174件

写真撮影利用者数 204件

特別閲覧利用者数 33件

6 博物館実習

実施期間

2022年 8月23日(火)～8月27日(土)10:00～17:00 5日間

受講費

3,000円

受入大学名および人数

八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科(1名)、山口県立大学国際文化学部文化創造学科(1名)、広島大学文学部人文学科(1名)、合計3名

令和4年度 カリキュラム

テーマ	内容
常設展・企画展について	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展・企画展の意義 ・展示方法、解説方法 ・企画展の種類(自主企画展、巡回展) ・企画展ができるまで
教育普及について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携 ・地域連携 ・ボランティア ・展示室で利用できる教育ツール ・教育活動実習(教育ツールの開発)
広報について	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の目的 ・当館の広報活動(印刷物、マスコミ、HP、SNS等)
資料の保存管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の保存管理の方針(IPM)・資料に応じた環境設定 ・資料の保存管理の方法・文化財保存管理用の機器・道具 ・燻蒸
資料の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の取り扱いに関する基本姿勢 ・屏風、掛け軸、美術工芸品(漆器)の取り扱い方 ・梱包資材、梱包のしかた
古文書資料の修復	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書の修復に関する方針 ・修復を要する資料の状態 ・修復に使う道具 ・修復作業の体験
資料の整理作業	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料の整理(中性紙封筒への詰替え、ラベル貼り) ・資料の調書を取る
関連施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム見学
最終課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化展示室内の1ケースについて展示計画作成 ・キャプション執筆 ・口頭発表

実習スケジュール

	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～17:00)
8月23日(火)	館長講話(水嶋館長)、博物館の管理運営について(木幡・山口)	施設見学(松岡) 資料の保存管理(IPM)について(久保)
8月24日(水)	広報活動について(大石)、常設展・企画展について(長岡)	資料の取り扱い(長岡)、課題準備
8月25日(木)	古文書資料の修復(富川)	資料の整理作業(矢田)、課題準備
8月26日(金)	学校連携について(出口)、地域連携・ボランティア活動について(古豊)	教育活動実習(松岡)、課題準備
8月27日(土)	資料の整理作業(矢田)	フロア業務、課題準備、課題発表と講評
8月30日(火)	振替日(※1名就職試験のため27日欠席)	

7 研修の受け入れ

○蓄積型体験学習

長崎大学教育学部が実施している蓄積型体験学習の受け入れを行った。将来幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の教員を目指す大学生に博物館の教育活動について理解を深めてもらうことができた。

・目的

自ら高めたい資質や能力を定めて、これが達成できると思われる実習先を受入機関から自ら選定し、実習期間との実習計画の打ち合わせによる計画立案とその実施及び自己評価を通して、主体的に活動できる人材を育成することを目的とする。

・受入期間

令和4年6月3日(金)～12月3日(土)

・実習所要時間数

40時間

・実習内容

ミュージアムグッズの開発(れきぶんカルタの作成)

・受入コースおよび人数

長崎大学 教育学部 4年生 10名

幼稚園教育コース・こども保育専攻(1名)

小学校教育コース・教科授業実践専攻(2名)、子ども理解実践専攻(1名)、ICT活用実践専攻(1名)

中学校教育コース・社会専攻(1名)、国語専攻(1名)、音楽専攻(1名)、技術専攻(1名)、
保健体育専攻(1名)

※蓄積型体験学習の受入は今年度で終了

○古文書修復技術講習会

・目的

古文書の適切な管理と補修技術の向上を図ることを目的として、古文書の修理・保存についての理論、補修の実習、情報交換を実施した。

・対象

県内公共図書館、博物館、資料館並びにその他の施設の職員

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	7月25日(月)～26日(火) 10:00～16:00	講座室	和本作り、修理の体験など	富川敦子・久保憲司(当館研究員)	(7/25)9名 (7/26)9名

8 伝統工芸体験工房

体験工房では、長崎が誇る伝統工芸「銀細工」「現川焼」「長崎刺繍」「長崎染」「スタンドグラス」の5種類の体験ができます。長崎市の「長崎伝習所」を卒業した5つの塾の塾生が、ご来館の皆様の体験をサポートいたします。お友達と、または、子ども会などグループでのご参加もできます。お気軽にお立ち寄りいただき、長崎の伝統工芸の素晴らしさを、体験してみてください。

「長崎銀細工研究」塾

その昔、長崎にヨーロッパの宝飾技術が伝わり、江戸時代には献上品として古文書にその名を残した「長崎銀細工」。いにしへのロマンに想像をかきたてられながら、長崎の工芸品として育てていきたいと思っています。

「長崎陶芸復興」塾

田中形部左衛門が開窯したといわれる、繊細で気品ある現川焼。刷毛目模様が特徴のその技術が、伝承されないまま江戸中期のわずか60年で途絶えてしまいました。「幻の焼き物」といわれる現川焼作りを、ろくろ成形、絵付けなどを通して体験してみませんか。

「長崎刺繍再発見」塾

江戸時代、中国から伝わったとされる「長崎刺繍」は、諏訪神社の秋の大祭(おくんち)とともに独自の発展を遂げました。肉入れによる盛上げの技法も特徴の一つです。今、わずかに残った刺繍から、「長崎刺繍」の作風、技法を学びながら手仕事の面白さを体験してみませんか。

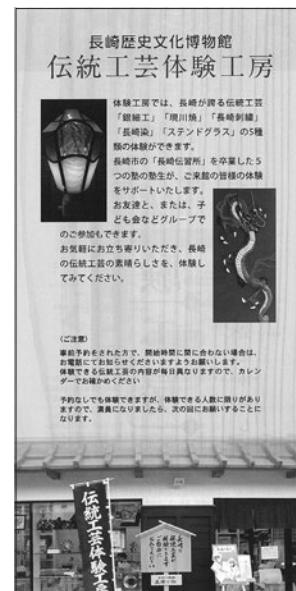
「長崎の染」塾

文政年間に上野俊之丞が市内中島の地で製造・輸出したと記録にも残る「長崎更紗」。更紗模様の型染めや手描きをしてみませんか。

「ながさきやけんスタンドグラス」塾

西欧文化の窓口であった長崎は、今も街中でスタンドグラスが優雅と魅力を漂わせています。かわいらしい作品から少し製作時間を要する物までを準備しておりますので、光を透かしてスタンドグラスの魅力を体感してください。

(令和4年度長崎歴史文化博物館体験工房 パンフレットより)



9 その他の普及活動

○SNS情報発信

教育普及活動専用のSNS(Twitter)アカウントを開設し、情報発信を行った。諸活動の実施前のお知らせに限らず、実施後のふり返りや制作物の紹介などを担当者の視点から行うことで、より広く教育普及活動について知っていただくことを目的としている。

https://twitter.com/rkbn_edu

令和3年4月運用開始

令和5年3月現在のフォロワー数：306

○web企画参加

長崎県外の方にも当館や収蔵品について広く知っていただくための機会として、インターネットミュージアム主催の下記の企画に参加した。

・ミュージアムキャラクターアワード2022

7月26日～9月8日 教育普及キャラクター「にゃがさき奉行・れきブンチョウ」
投票結果 38位／63組

・ミュージアム干支コレクションアワード2023兔

12月13日～1月26日 「ガラス絵重箱」
投票結果 21位／70点

○月イチワークショップ

近隣住民の来館を促すため、「子どもから大人まで」をコンセプトとしてワークショップを月に一度開催した。

場所：1階エントランス 当日随時受付・材料がなくなり次第終了

No.	開催日時	参加費	テーマ	参加者
1	5月21日(土)13:30～16:30	100円	はぎれバッジ	5名
2	6月17日(金)15:30～18:30	200円	青貝細工風プラバン	45名
3	7月29日(金) 10:30～12:00/14:00～15:30	100円	ポスターバッグをつくろう	54名
4	8月10日(水) 10:30～12:00/14:00～15:30	200円	スタンプでてぬぐいハンカチ	67名
5	9月18日(日)13:30～16:30	50円	特集展示「くんち三八八年展」関連企画 とびだすクジラのカード ※台風接近に伴う臨時休館のため中止	-
6	10月21日(金)15:30～18:30	100円	平織りプレスレット	16名
7	11月11日(金)15:30～18:30	100円	企画展「長崎の黄檗」関連企画 しろくろバッジ	43名
8	12月24日(土)13:30～16:30	100円	ステンドグラス風かざり	9名
9	1月7日(土)13:30～16:30	50円	和紙のMYしおり	16名
10	2月5日(日)13:30～16:30	100円	ポスターバッグをつくろう	15名
11	3月5日(日)13:30～16:30	50円	特集展示「春うららⅡ」関連企画 春のお花のとびだすカード	5名

○外国人向けイベント

<留学生のためのギャラリートーク>

長崎に住む外国人留学生を対象に、長崎の歴史について「やさしい日本語」や「英語」でギャラリートークを行う。

参加費：無料 定員：各回10名

No.	日時	会場	テーマ	講師	参加者
1	5月7日(土) やさしい日本語 5月8日(日) 英語 15:00～16:00	2階常設展示室	長崎の歴史について知る	末吉千夏(当館研究員) ヴァレンティーナ・オディーノ (当館スタッフ)	4名 6名

<外国人のためのギャラリートーク>

長崎に住む外国人や外国にルーツを持つ人を対象に、長崎の歴史について「やさしい日本語」や「英語」でギャラリートークを行う。

時間：15:00～16:30 場所：2階常設展示室 定員：各回10名

参加費：[大人]500円 [高校生]250円

※長崎県内在住の留学生、小学生、中学生、キャンパスメンバーズ校は無料

講師：[やさしい日本語]末吉千夏(当館研究員) [英語]ヴァレンティーナ・オディーノ(当館スタッフ)

No.	日時	テーマ	参加者
1	7月2日(土) やさしい日本語 7月9日(土) 英語	長崎の歴史について知る	5名 10名
2	9月23日(金祝) 英語 9月24日(土) やさしい日本語	長崎の歴史とおまつり	3名 7名
3	10月22日(土) 英語 11月12日(土) やさしい日本語	長崎と中国の交流	18名 11名
4	1月14日(土) やさしい日本語 1月21日(土) 英語	長崎の歴史について知る	3名 8名
5	3月11日(土) 英語 3月18日(土) やさしい日本語	長崎の歴史について知る	18名 6名

7

地域連携事業

1 事業概要

- 地域に根ざした文化活動を行う各種団体・個人に活動の場を提供する。
- 地域との連携を深めることにより、地域に開かれた博物館づくりを目指す。
- 地域の人々に質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、地域の文化振興に寄与する。
- 新たな利用者層の拡大と博物館の活性化を図る。

2 イベント実施

○大型企画イベント

※長崎伝統工芸まつり、第17回長崎奉行所夏まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○季節催事（端午の節句、七夕、クリスマス、正月、節分、桃の節句）

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
長崎式こいのぼり	4月19日（火）～5月5日（木祝） 1階イベント広場	江戸時代の絵画にも描かれている長崎式の鯉のぼりを再現し、イベント広場にて紹介	—
れきぶんの七夕かざり	7月1日（金）～7日（木） 1階エントランス	短冊に願いことを書いて、笹竹に飾りつけた。	50名
れきぶんのクリスマスツリー	12月1日（木）～25日（日） 1階エントランス	クリスマスツリーを設置	—
れきぶんおみくじ	1月1日（日祝）～12日（木） 2階常設展示室入口	常設展示に関する内容のオリジナルおみくじを設置。 参加費：無料（※要常設展観覧料）	592名
パフォーマンス書道	1月2日（月祝） ①11:30～ ②15:00～ 1階エントランス	出演：長崎県立長崎西高等学校書道部 観覧料：無料 ○作品は1月15日（日）まで1階エントランスにて展示。	①59名 ②70名
書き初め	1月2日（月祝） 13:00～14:30 2階立山亭	参加費：無料	36名
新春初弾	1月8日（日） 13:00～14:00 1階エントランス	出演：hミュージック 鎮西学院高等学校箏曲同好会（文化庁邦楽普及拡大推進校） 長崎日本大学中学・高等学校音楽部 観覧料：無料	68名
津軽三味線の演奏	1月8日（日） 15:00～16:00 1階エントランス	出演：津軽三味線石井流秀歩会 西方小天鼓 観覧料：無料	72名
奉行所節分豆まき	2月3日（金） 16:30～17:00 奉行所書院・玄関	奉行所で古式に則った追儺（ついな）豆まきと、来館者へ福豆まきを実施	160名

※奉行所もちつきは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○伝統文化事業

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
開館記念イベント 長崎検番の舞	11月3日（祝） ①13:00～13:30 ②15:00～15:30 1階エントランス	開館記念の祝舞を披露 出演：長崎検番 観覧料：無料 定員：70名 ※先着順	①75名 ②61名
開館記念イベント 百合和会お箏の体験ワークショップ	11月3日（祝） 13:30～15:00 2階立山亭	箏に触れるワークショップを実施 講師：百合和会 協力：平野楽器店 参加費：無料 対象：どなたでも 定員：10名	5名

○音楽イベント

イベント名	開催日・場所	内容	観覧者
れきぶんミュージアムコンサート2022			
GWホリデーコンサート	5月5日(木祝) 15:30~16:30 1階ホール	出演：フルート/岩崎梓、クラリネット/西田奈央、ピアノ/寺谷陽子 観覧料：無料	48名
サマーコンサート	7月31日(日) 15:30~16:30 1階ホール	出演：アルパ・ピアノ/西口恭代、ジャンベ/浜本行子、ボンゴ/北原公介、ピアノ/岡珠子 観覧料：無料	48名
ニューイヤーコンサート	2023年1月9日(月祝) 15:30~16:30 1階ホール	出演：長崎県新演奏家協会 フルート/岩崎梓・本多史佳、ピアノ/中村卓士 観覧料：無料	59名

※クリスマスコンサート、スプリングコンサートは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○環境学習会「エコ学ぼ！」イベント

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

○食文化体験

季節の行事にあわせた長崎の伝統料理をいただくことを通して、地域の風土や歴史に育まれた長崎独特の食文化への理解を深めることを目的とする。

講師／脇山壽子氏（郷土料理研究家） 時間／17:00~18:00 場所／レストラン銀嶺

定員／各回10名 参加費／1,800円 ※常設展観覧料を含む

	テーマ	開催日時	参加者
第1回	端午の節句	4月29日(金祝)	4名
第2回	長崎のお盆	8月6日(土)	-
第3回	くんち料理	10月1日(土)	-
第4回	長崎雑煮	12月17日(土)	5名
第5回	節分料理	2月1日(水)	4名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため第2・3回中止。

○アウトリーチ活動

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
出張イベント 西九州新幹線開業記念展 PR&缶バッジづくり	8月4日(木) 10:30~15:30	企画展PR、好きな新幹線を描いて缶バッジを作成 ※西九州新幹線開業記念展関連行事参照	15名
出張イベント 長崎の黄檗展PR&缶バッジ づくり	11月5日(土) 11:00~15:00	企画展PR、筆ペンで好きな絵柄を描き缶バッジ作成 ※長崎の黄檗展関連行事参照	11名

○その他

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
こどもの日フリーデー	5月5日(木祝)	小中学生は2階常設展示室を無料開放	120名
国際博物館の日	5月18日(水)	国際博物館の日にちなみ、2階常設展示室を無料で開放(県民無料サービスデー)	19名
県民無料サービスデー	11月3日(木祝)	開館記念日にちなみ、2階常設展示室を無料で開放	100名
着物フリーデー	1月1日(日祝) ~2日(月)	期間中に着物で来館された方を対象に常設展を無料開放	(1日)2名 (2日)4名
成人の日フリーデー	1月8日(日) ~9日(月祝)	期間中に来館された新成人を対象に常設展を無料開放。	(8日)1名 (9日)0名

○長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム関連イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
孫文・梅屋庄吉ミュージアム 開館記念コンサート	4月29日(金祝) 15:30~16:30	出演：— 観覧料：無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	—
ほんしゃんの夏休み2022			
夏休みスペシャルクイズ	7月21日(木)~8月31日(水) 10:00~16:00	クイズを解きながら、展示室を見学 参加費：無料 (ミュージアム入館料：一般300円、小中学生150円 ※県内小中学生無料)	119名

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
ゆらゆらモビールづくり	8月6日(土)・7日(日)・20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日) ①10:00~11:00 ②14:30~15:30	「長崎の夏」をテーマにモビールを作成 参加費：無料 定員：各回先着6名	10名
ちょっきん切り絵たいけん	7月21日(木)～8月31日(水) 10:00～16:00	魚のモチーフなど切り絵体験 参加費：無料	115名
孫文・梅屋庄吉友情月間			
県民無料招待	11月1日(火)～30日(水)	県民の方にミュージアムの無料開放、毎日10名様に粗品進呈	53名
ミュージアムでクイズラリー	11月1日(火)～30日(水) 10:00～16:00	ミッションに挑戦して、ミュージアムを探検 参加費：150円 ※県内小中学生無料	306名
中国切り絵体験	11月1日(火)～30日(水) 10:00～16:00	幸せを願ってつくる中国の切り絵体験 参加費：無料	81名
ランタンフェスティバル			
県民無料招待	1月22日(日)～2月5日(日)	県民の方にミュージアムの無料開放、毎日10名様に粗品進呈	99名
クイズラリー	1月22日(日)～2月5日(日) 9:00～17:00	ミッションに挑戦して、ミュージアムを探検 参加費：150円 ※県内小中学生無料	111名
切り絵体験	1月22日(日)～2月5日(日) 9:00～17:00	幸せを願ってつくる中国の切り絵体験 参加費：無料	55名
開運☆蝙蝠モビール	1月22日(日)～2月5日(日) 9:00～17:00	慶事・幸運の徴とされる蝙蝠をモチーフにモビールを作成 参加費：無料	48名

3 ボランティア活動

【長崎歴史文化博物館】

○令和4年度登録者数(58名)

登録者数	①展示案内	28名
	②外国語	7名
	③教育普及	11名
	④広報	16名
	⑤保存環境	7名
	⑥孫文・梅屋庄吉ミュージアム	2名
	○寸劇	14名

○活動内容

①展示案内ボランティアの活動について

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、学校団体及び一般団体、個人客に展示案内・誘導等を行う。

【団体対応】対応数：37件(学校団体28件、一般団体9件)

【展示案内ボランティアガイド集会】

	日時	内容	講師
1	4/9(土) 14:00～15:30	講話 「人生いろいろ ガイドさんいろいろ ～ゲスト・ティーチャー授業実践からの一考察～」	加藤 尊城 先生(元小学校教諭) ※当館パートナーズプログラム参加者
2	5/28(土) 14:00～15:00	(スキルアップ研修) 講話 「スクール・セクハラを防止するために」	門 更月 先生(もうセクハラを許さない 女たちの会・ながさき代表)
-	6/18(土) 14:00～15:30	長崎学講座スタンダード聴講 「対馬と朝鮮通信使」講師：町田一仁氏(対馬博物館・ 対馬朝鮮通信使歴史館館長)	-
3	7/9(土) 11:00～12:00 7/18(月) 14:00～15:00	常設展示 [西洋との出会い～長崎貿易]	古豊裕次朗・末吉千夏(当館研究員)
4	8/24(水) 14:00～15:00 8/28(日) 14:00～15:00	常設展示 [中国との交流～長崎の暮らし] [特集展示「くんち三八八年展」]	古豊裕次朗・末吉千夏(当館研究員)
5	9/17(土) 14:00～15:00 9/23(金祝) 11:00～12:00	常設展示 [長崎の美術工芸～オランダとの交流]	古豊裕次朗・末吉千夏(当館研究員)
6	10/20(木) 14:00～15:00 10/30(日) 11:00～12:00	常設展示 [近代化の魁・長崎]	古豊裕次朗・末吉千夏(当館研究員)
7	11/17(木) 14:00～15:00 11/23(水祝) 11:00～12:00	常設展示 [長崎奉行所ゾーン]	古豊裕次朗・末吉千夏(当館研究員)

	日 時	内 容	講 師
8	1/17 (火) 14:00~15:30	常設展示 [歴史文化展示ゾーン/長崎奉行所ゾーン]	深瀬公一郎 (当館研究員)
9	2/22 (水) 14:00~15:00	ミーティング	古豊裕次朗・末吉千夏 (当館研究員)

②外国語ボランティアの活動について

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、外国人客(英語)に展示案内・誘導等を行う。
寸劇台本、表示類の英訳。

【勉強会】毎月2回 火曜日14:00~16:00 常設展示室

【団体対応】対応数：3件(学校団体2件、一般団体1件)

③教育普及ボランティアの活動について

教育普及活動(こどもクラブ、おはなし会、おはなしツアー、月イチワークショップ、企画展イベント、夏休みイベント、講座・講演会等)の運営。

企画展オープニングセレモニー等の受付。

【今年度活動】おはなし会・おはなしツアー・こどもクラブ・月イチワークショップ・夏休みイベント補助・企画展関連イベント補助・学校対応時の制作体験補助・諸活動に関わるミーティング

④広報ボランティアの活動について

印刷物整理作業、新聞切り抜き作業、ボランティア通信「風説書」の発行、発送作業等。

【今年度活動】

印刷物整理作業：毎月1回 土曜日 10:00~12:00 / 3月4日(土)教育プログラム発送作業

新聞切り抜き作業：月1~3回程度 1回3時間程度

ボランティア通信：「風説書」60~63号発行

※印刷物整理作業は今年度までで活動終了。印刷物整理班のメンバーは、新聞切り抜き班または他のボランティアグループに異動し活動する。

⑤保存環境ボランティアの活動について

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。IPM(Integrated Pest Management総合的有害生物管理)の考えに基づき、現在露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング(目視点検)等を行う。

【今年度活動】主に休館日 13:30~

バックヤード、2階常設展示室、奉行所復元コーナー清掃・温湿度用紙交換

⑥長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムボランティアの活動について

学校団体及び一般団体、個人客に展示案内・誘導等を行う。イベントや施設の運営補助。

その他、業務に係わる事務作業の補助。

【団体対応】対応数：1件(一般団体)

○寸劇ボランティアの活動について

当館収蔵の江戸時代の裁判記録「犯科帳」をもとに、寸劇仕立てで奉行所展示室お白洲にて紹介。

[上演日時]毎週日曜日 11:00~/13:30~/14:30~/15:30~ 1日4回

[令和4年度の演目]

「ハタ揚げ騒動」 3月6日 ~ 5月29日

「漂流民マクドナルド事件」 6月5日 ~ 6月26日

「シーボルト事件」 7月3日 ~ 7月31日

「ペーロン競漕喧嘩事件」 8月7日 ~ 8月28日

「唐人屋敷抜け穴掘り事件」 9月4日 ~ 9月25日

「くんち奉納踊り訴え」 10月2日 ~ 10月30日

「偽占い師事件」 11月6日 ~ 12月25日

「大改」 1月2日(月祝) ~ 2月26日

「ハタ揚げ騒動」 3月5日 ~ 5月28日

※9/18(日)台風接近に伴う臨時休館のため公演中止

※12/4(日)聖福寺保存会茶筌供養茶会で奉行所ゾーン使用のため、公演中止

◇御白洲寸劇の魅力増進事業(多言語化・映像環境整備)

- ・寸劇演目「ペーロン競漕喧嘩事件」、「シーボルト事件」、「唐人屋敷抜け穴掘り事件」、「漂流民マクドナルド事件」の4本を撮影し映像化。
- ・日本語、英語、中国語、韓国語に対応。
- ・奉行所シアタールームで上映追加、奉行所復元展示室内の玄関、書院に設置のモニターで上映中。

○ボランティア研修

【令和4年度スキルアップ研修】※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアガイド集会で開催。

日時	内容	講師
5/28(土) 14:00~15:00	(展示案内ボランティアガイド集会講話) 「スクール・セクハラを防止するために」	門更月先生(もうセクハラを許さない女たちの会・ながさき代表)

8 広報マーケティング

1 広報ツール

- ・印刷物（年間スケジュール、れきぶんニュース、企画展PR用印刷物、イベント歳時記、その他単発イベント案内）
- ・プレスリリース
- ・WEB媒体（公式ホームページ、メールマガジン、Facebookページ、twitter、Instagram）
- ・広告出稿・PR活動（企画展告知）

○印刷物 年間スケジュール

特集展示

2022年 4月開館

長崎歴史文化博物館2階展示室

長崎の歴史を伝える展示室です。

長崎奉行所ゾーン

江戸時代の長崎の町並りを再現した展示室です。

長崎奉行所時代の展示室です。

町屋カレンダー

3月 桃の節句 2/28-4/17

4月 雛の節句 4/19-6/19

5月 端午の節句 4/19-6/19

6月 七夕 6/21-7/18-8

7月 お盆 7/20-8/30

8月 中秋の名月 9/13-9/19

9月 くんち 9/21-10/19

10月 冬至 10/18-12/25

11月 正月 12/27-1/15

12月 初盆 1/17-2/19

1月 桃の節句 2/18-4/16

観覧料 (税込)

大人 500円(500円) 小・中学生 300円(300円)

団体料金(50名以上) 別途見積り

観覧時間

9時～17時(入館は16時)

休館日 毎月第1・3月曜日(祝日の場合は翌日、12/28日～12/31日)

観覧料 5,000円

貸出料 50,000円(1ヶ月)

2022

年間スケジュール 2022.4→2023.3

ANNUAL SCHEDULE

長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 企画展ラインナップ

※スケジュールや内容は予告なく変更・中止になる場合がありますのでご了承ください。詳細は広報担当のチラシや公式ホームページをご覧ください。

カリグラフィアート展

「世界を変えた百珠」マゼランとエルカノによる東上の世界一周から500年

4月23日(土)～5月29日(日)

西九州新幹線開業記念展

7月16日(土)～8月28日(日)

長崎の貴族

一福元将帥と唐寺をめぐる物語

10月15日(土)～11月27日(日)

写真展「写真家が捉えた昭和の子ども」

12月24日(土)～2月12日(日)

企画展

2022 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2023 1月 2月 3月

休館日 4/4(水) 4/18(水) 5/2(木) 5/16(木) 6/6(金) 6/20(金) 7/4(月) 7/19(月) 8/1(日) 8/22(日) 9/5(月) 9/20(月) 10/23(木) 10/17(木) 11/7(金) 11/21(金) 12/5(月) 12/19(月) 1/3(水) 1/16(水) 2/6(木) 2/20(木) 3/6(日) 3/20(日)

特集展示 NAGASAKIカリグラフィ ながさきの夏 くんち三八八祭 唐寺の名宝 新年を奏く

NAGASAKIカリグラフィ

4月23日(土)～5月29日(日)

ながさきの夏

6月22日(水)～8月21日(日)

くんち三八八祭

8月24日(水)～10月16日(日)

唐寺の名宝

10月15日(土)～12月18日(日)

新年を奏く

12月24日(土)～2月19日(日)

3月5日～美術の中の春

3月22日(水)～4月16日(日)

れきぶんニュース

vol.59 春号



2022年4月発行

- (内容)
 《企画展》
 ●カリグラフィーアート展
 《特集展示》
 ●NAGASAKIカリグラフィー
 《新発見資料》
 ●1903年梅屋庄吉が仕掛けた笑い
 《教育グループ活動レポート》
 ●「やさしい日本語」展示案内
 《奉行所ゾーン》
 ●「奉行所シアター」上映作品追加

vol.60夏秋号



2022年9月発行

- (内容)
 《企画展》
 ●長崎の黄檗
 《特集展示》
 ●唐寺の名宝
 ●くんち三八八年展
 《開催報告》
 ●西九州新幹線開業記念展
 ながさき・かもめ今昔
 ●特集展示「ながさきの夏」

vol.61 新春号



2023年2月発行

- (内容)
 ●新年のごあいさつ
 一人の力よりも、みんなの力で
 《企画展》
 ●写真家捉えた 昭和のこども
 ●2023年度企画展ラインナップ
 《1年の歩み》
 2022年の出来事をふりかえる
 《特集展示》
 ●新年を寿ぐ
 《活動報告》
 ●開館17周年記念「長崎検番の舞」

企画展PR用印刷物（B2・B3ポスター、A4チラシ、優待券等）

西九州新幹線開業記念展
 ながさき・かもめ今昔



長崎の黄檗
 一隠元禅師と唐寺をめぐる物語—



写真家が捉えた
 昭和のこども



その他単発イベント案内

イベント歳時記 4・5月号

イベント歳時記 2022 4・5月号
EVENT SCHEDULE

企画展示室
カリグラフィート展
4/23@~5/29@

常設展示室
4/20@~4/19@
4/19@~6/19@

4/19@~5/5@
おきなひのほり

4/30@ 10:30~11:30
おきなひのほり

4/30@ 13:00~15:30
おきなひのほり

4/29@ 13:00~18:00
おきなひのほり

5/8@ 14:00~15:30
おきなひのほり

5/21@ 14:00~15:30
おきなひのほり

5/29@ 13:00~15:00
おきなひのほり

イベント歳時記 6・7・8月号

イベント歳時記 2022 6・7・8月号
EVENT SCHEDULE

常設展示室
6/22@~6/21@
6/21@~7/18@
7/20@~8/30@

6/18@ 14:00~15:30
おきなひのほり

6/5@ 14:00~15:30
おきなひのほり

7/3@ 14:00~15:30
おきなひのほり

6/11@ 10:00~11:00
おきなひのほり

6/18@ 14:00~15:30
おきなひのほり

7/10@ 10:00~11:00
おきなひのほり

7/24@ 10:00~11:00
おきなひのほり

8/1@ 10:00~11:00
おきなひのほり

イベント歳時記 10~12月

イベント歳時記 2022 10・12月号
EVENT SCHEDULE

10/22@
おきなひのほり

11/3@
おきなひのほり

11/11@
おきなひのほり

11/26@
おきなひのほり

12/1@
おきなひのほり

12/17@
おきなひのほり

イベント歳時記 1~3月号

イベント歳時記 2023 1-3月号
EVENT SCHEDULE

1/24@~1/12@
おきなひのほり

1/14@ 10:30~12:00
おきなひのほり

1/12@~1/11@
おきなひのほり

1/15@ 11:00~12:00
おきなひのほり

1/21@ 14:00~15:30
おきなひのほり

1/29@ 13:00~15:00
おきなひのほり

1/10@ 10:30~12:00
おきなひのほり

1/18@ 10:30~12:00
おきなひのほり

1/26@ 10:30~12:00
おきなひのほり

2/2@ 10:30~12:00
おきなひのほり

2/9@ 10:30~12:00
おきなひのほり

2/16@ 10:30~12:00
おきなひのほり

2/23@ 10:30~12:00
おきなひのほり

3/2@ 10:30~12:00
おきなひのほり

3/9@ 10:30~12:00
おきなひのほり

3/16@ 10:30~12:00
おきなひのほり

3/23@ 10:30~12:00
おきなひのほり

3/30@ 10:30~12:00
おきなひのほり

スタディーツアー

長崎県文化観光推進事業・スタディーツアー

南島原のキリシタン
世界文化遺産をめぐる旅

開催日 2022年10月22日[土]

2022年 8月25日

2022年 8月25日

2022年 8月25日

その他販促物

れきぶんとほんしゅん常設展観覧セット券

おトクに楽しもう!

れきぶんとほんしゅん 常設展観覧セット券

れきぶんとほんしゅん 常設展観覧セット券

2館まとめて

大人 930円のところ 700円 230円
高校生 610円のところ 450円 160円
小中生 460円のところ 330円 130円

3月31日までは、ほんしゅん入場券が約10分、れきぶんに約13分。長崎駅より歩いて13分。TEL: 095-839-1111

おトクに楽しもう!

れきぶんとほんしゅん 常設展観覧セット券

れきぶんとほんしゅん 常設展観覧セット券

2館まとめて

大人 930円のところ 700円 230円
高校生 610円のところ 450円 160円
小中生 460円のところ 330円 130円

3月31日までは、ほんしゅん入場券が約10分、れきぶんに約13分。長崎駅より歩いて13分。TEL: 095-839-1111

(長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)

孫文・梅屋庄吉友情月間



ランタンフェスティバル
スペシャルイベント



○プレスリリース

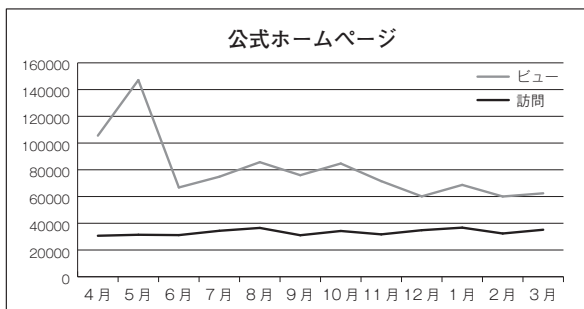
No	配信日	内容
News No.01	令和4年4月19日	特別展「カリグラフィ―アート展」開催のご案内
News No.02	令和4年4月27日	特集展示・GWイベント情報
News No.03	令和4年5月10日	初夏の講座のご案内
News No.04	令和4年7月8日	西九州新幹線開業記念展 プレス内覧会・開会式のご案内
News No.05	令和4年8月25日	特集展示「くunchi三八八年展」
News No.06	令和4年9月5日	台風接近による開館時間変更のお知らせ
News No.07	令和4年9月17日	台風接近による開館時間変更のお知らせ
News No.08	令和4年9月17日	台風接近による開館時間変更のお知らせ
News No.09	令和4年10月5日	企画展「長崎の黄葉」プレス内覧会・開会式のご案内
News No.10	令和4年10月19日	特集展示「東寺の名宝」
News No.11	令和4年10月20日	講演会「南島原のキリシタン」開催のご案内
News No.12	令和4年10月24日	れきぶん開館記念イベントのご案内
News No.13	令和4年12月1日	写真展「写真家が捉えた 昭和のこども」開催のご案内
News No.14	令和4年12月14日	「写真家が捉えた 昭和のこども」プレス内覧会・開会式
News No.15	令和5年1月5日	特集展示「新年を寿ぐ」
News No.16	令和5年1月5日	1月の講座・イベントのご案内
News No.17	令和5年1月26日	れきぶんの節分
News No.18	令和5年2月18日	2023年度年間スケジュール
News No.19	令和5年2月23日	町屋「桃の節句」
News No.20	令和5年2月27日	特集展示「春うららII」
News No.21	令和5年3月2日	常設展示室「長崎貿易」映像コーナーに新作映像登場

○WEB媒体

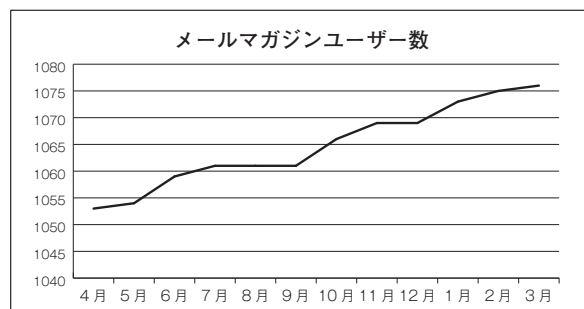
公式ホームページ

<http://www.nmhc.jp/>

(平成24年5月2日リニューアル・運用開始)



メールマガジン (月2回発行)

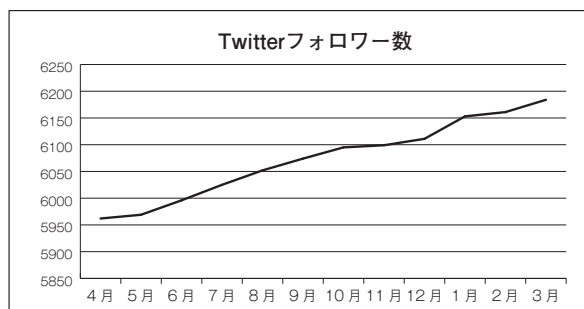


SNS (Twitter)

https://twitter.com/ngs_rekibun



平成24年10月運用開始

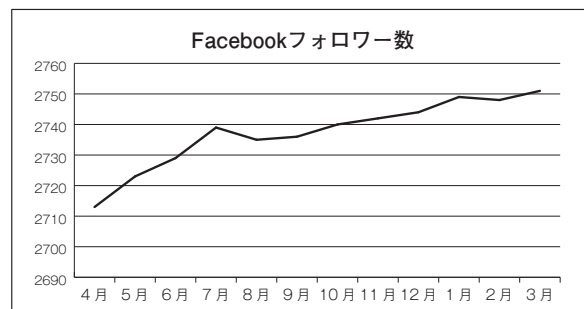


SNS (Facebookページ)

<https://www.facebook.com/rekibun/>



平成24年10月運用開始

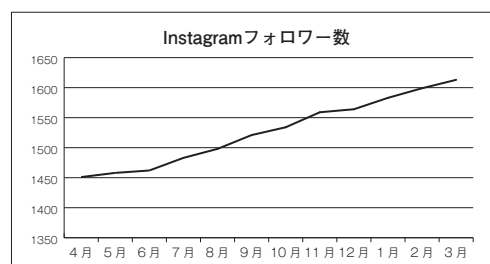


SNS (Instagram)

<https://www.instagram.com/rekibun/>



平成28年8月運用開始



○広報実績（企画展）

西九州新幹線開業記念展

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
6月27日(月) ～8月28日(日)	イベントバンク	BIGLOBE旅行	西九州新幹線開業記念展 告知	インターネット
		Walkerplus(KADOKAWA)		
		いこーよ		
		goo地図		
		gooニュース		
		dmenuニュース		
		ゆこゆこネット		
		日本旅行		
		北総鉄道		
		小田急電鉄		
		SPOPITA		
7月1日(金)	リクルート	九州じゃらん 8月号	開催告知	雑誌
7月2日(土)	KADOKAWA	九州 LOVE Walker 2022夏	おでかけ情報(開催概要)	雑誌
7月6日(水)	JR九州	プレスリリース	開業記念手ぬぐい発売	インターネット
7月7日(木)～	NBC長崎放送	公式サイト	イベント・コンサート情報(開催情報)	インターネット
7月8日(金)	長崎新聞社	長崎新聞 ととって motto!	おでかけ情報(開催概要)	新聞・FP
7月8日(金)～	イズワークス	カタルネット(長崎バスポータル)	お知らせ(開催情報)	インターネット
7月12日(火)	朝日新聞社	朝日新聞(夕刊)	美術館・博物館(開催情報)	新聞
7月7日(木)	長崎なう	長崎なう	開業記念手ぬぐい発売	インターネット
7月10日(日)	交友社	鉄道ファン(railf.jp)	鉄道イベント(開催概要)	インターネット
7月15日(金)	NBC長崎放送	Pint !	開会式・開催情報	テレビ
7月16日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	開会式・内覧会 取材	新聞
	NBC長崎放送	NBCラジオ R50	会場生放送(古豊研究員出演)	ラジオ
7月16日～随時	NBC長崎放送	テレビスポット	テレビCM (会期中随時OA)	テレビ
		天気フィラー	天気予報バック映像 (会期中随時OA)	テレビ
		ラジオスポット	ラジオCM (会期中随時OA)	ラジオ
7月18日(月)	NBC長崎放送	Pint !	会場生中継(古豊研究員出演)	テレビ
7月18日(月)～	みらい長崎	みらい長崎ココウォーク 公式ホームページ	チケット提示で観覧車優待、出張イベント 開催情報	インターネット
7月14日(木)	ARTNE編集部	ARTNE	開催情報	インターネット
7月19日(火)	西日本新聞社	西日本新聞	取材記事	新聞
7月26日(火)～	みらい長崎	COCO Press 8月号	出張イベント情報(缶バッジ作り)	FP
8月1日(月)	NBCラジオ	あの人この歌 ああ人生	きしゃ倶楽部 吉村氏出演	ラジオ
8月4日(木)	NBC長崎放送	公式ホームページ	絵本のスタジオ(出張イベント)	インターネット
8月12日(金)	ライフさせば	99view	開催情報	雑誌・FP
8月19日(金)	NHK長崎放送局	ニュース	展覧会紹介(取材)	テレビ
	毎日新聞社	毎日新聞	展覧会紹介(取材)	新聞
8月20日(土)	毎日新聞社	毎日新聞	展覧会28日まで(NBC社告枠)	新聞

○長崎の黄檗

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分	
10月3日(月) ～11月27日 (日)	イベントバンク	BIGLOBE旅行	黄檗展 告知	インターネット	
		Walkerplus(KADOKAWA)			
		いこーよ			
		goo地図			
		gooニュース			
		dmenuニュース			
		ゆこゆこネット			
		日本旅行			
		北総鉄道			
		小田急電鉄			
		SPOPITA			
		Yahoo! MAP・SmartNews・いこーよ・gooニュース・dmenuニュース・NTTドコモ iコンシェル・NTTドコモ my days・Jorte・NAVITIME for スゴ得・アルパインBIG X CONNECT・CableGate・MY J.COM・お出かけお天気・JC-Smart(きゅーちゃんナビ)			スマートフォンアプリ
		10月3日(月)			長崎新聞社
10月5日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	社告(中サイズ4C)	新聞	
10月14日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	開幕告知広告 全5段4C	新聞	
	KTNテレビ長崎	ニュース	開会式・内覧会取材	テレビ	
10月15日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	開幕情報(取材記事)	新聞	
10月17日(月)	朝日新聞社	朝日新聞	展覧会紹介(取材記事)	新聞	
10月18日(火)	KTNテレビ長崎	マルっと!	ひろすけじるし 長崎遺産	テレビ	
10月18日(火)	毎日新聞社	毎日新聞	展覧会紹介(取材記事)	新聞	
10月20日(木)～	KTNテレビ長崎	KTN公式ホームページ	展覧会紹介	インターネット	
10月22日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
10月22日(土)～	長崎純心大学	純心祭	企画展チケット協賛、WEB告知	インターネット	
10月25日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	石だたみ(黄檗ワークシート)	新聞	
10月27日(木)	KADOKAWA	Walker+	展覧会紹介	インターネット	
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
10月30日(日)	NIB長崎国際テレビ	出島フカボリ見聞録	黄檗展CM出稿(提供)	テレビ	
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
10月31日(月)	長崎新聞社	NR 11月号	展覧会紹介	新聞・FP	
11月1日(火)	朝日新聞社	朝日新聞(夕刊)	美術館・博物館(展覧会情報小)	新聞	
	みらい長崎ココウォーク	COCOプレス11月号	出張ワークショップ	FP	
11月2日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	社告・ミニ(共催)	新聞	
11月3日(木祝)	長崎新聞社	長崎新聞	社告(全5d4C)	新聞	
			長崎新聞の催し(社告ミニ)		
11月4日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月6日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月8日(火)～	NIB長崎国際テレビ	NIB番組内スポット	黄檗展TVCM(20本分)OA	テレビ	
11月9日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	黄檗の源流①(連載記事 1/5)	新聞	
11月10日(木)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月11日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	黄檗の源流②(連載記事 2/5)	新聞	
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月12日(土)	西日本新聞社	西日本新聞	長崎の唐寺(気ままに時間旅行)	新聞	
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月15日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月16日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	黄檗の源流①(連載記事 3/5)	新聞	
	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	
11月17日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞	

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
11月18日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	黄檗の源流②(連載記事 4/5)	新聞
			澤田瞳子氏講演会 取材記事	
			長崎新聞の催し(社告ミニ)	
11月19日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞
11月20日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	開幕告知広告 全5段4C	新聞
11月21日(月)	長崎新聞社	長崎新聞	黄檗の源流⑤(連載記事 5/5)	新聞
11月22日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞
11月23日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞
11月24日(木)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞
11月25日(金)	長崎新聞社	とととってmotto!	展覧会紹介	新聞・FP
11月26日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞
11月27日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	長崎新聞の催し(社告ミニ)	新聞

○写真家が捉えた昭和のこども

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
12月2日(金)	ライブ企画社	99VIEW 12月号(VOL.368)	開催情報	FP
12月7日(月) ~2月12日(日)	イベントバンク	BIGLOBE旅行	開催情報	インターネット
		Walkerplus(KADOKAWA)		
		いこーよ		
		goo地図		
		gooニュース		
		dmenuニュース		
		ゆこゆこネット		
		日本旅行		
		北総鉄道		
		小田急電鉄		
SPOPITA	スマートフォンアプリ			
Yahoo! MAP・SmartNews・いこーよ・gooニュース・dmenuニュース・NTTドコモ iコンシェル・NTTドコモ my days・Jorte・NAVITIME for スゴ得・アルパインBIG X CONNECT・CableGate・MY J:COM・お出かけお天気・静岡公式アプリ TIPS・JC-Smart(きゅーちゃんナビ)				
12月8日(木)~	アルトネ編集部	アルトネ	開催情報	インターネット
12月17日(土)~	KTNテレビ長崎	公式ホームページ	開催情報	インターネット
12月13日(火)~	土門拳記念館	ホームページ	講演会情報	インターネット
12月24日(土)~	KTNテレビ長崎	公式ホームページ	8gram(開会式・昭和の茶の間)	インターネット
12月23日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	おでかけ情報(展覧会紹介)	新聞
		とととってmotto!	おでかけ情報(展覧会紹介)	新聞・FP
12月26日(月)~	KTNテレビ長崎	TVスポット(3~4本/1日)	CM15秒	テレビ
12月27日(火)	KTNテレビ長崎	プチまる	展覧会紹介	テレビ
12月29日(木)	長崎新聞社	長崎新聞	読者投稿 展覧会感想	新聞
1月2日(月)	日本経済新聞社	日本経済新聞	福岡・長崎で注目写真展	新聞
1月5日(木)~	KADOKAWA	Walkerplus	展覧会紹介	インターネット
1月5日(木)	西日本新聞社	西日本新聞	展覧会紹介(取材記事)	新聞
1月7日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	講演会情報	新聞
1月9日(月)~	KTNテレビ長崎	公式ホームページ	チケットプレゼント	インターネット
1月9日(月)	KTNテレビ長崎	マルっと!	展覧会紹介(取材)、チケットプレゼント	テレビ
1月12日(木)	KTNテレビ長崎	プチまる	展覧会紹介	テレビ
	長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ	展覧会紹介	テレビ
1月13日(金)	KTNテレビ長崎	プチまる	展覧会紹介	テレビ
1月14日(土)	毎日新聞社	毎日新聞	展覧会紹介(取材記事)	新聞
1月18日(水)	KTNテレビ長崎	マルっと!	会場生中継(展覧会紹介)	テレビ

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
1月20日(金)	エフエム諫早	美香のFlowerCinema	展覧会紹介	ラジオ
2月1日(水)	NHK福岡放送局	はっけんTV	展覧会紹介	テレビ
2月1日(水)~	長崎空港ビルディング	空港ビルデジタルサイネージ	展覧会紹介	広告
2月3日(金)~	アルトネ編集部	アルトネ	九州の写真展紹介	インターネット

○その他情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
4月1日(金)	JALブランドコミュニケーション	SKY WORD 4月号	シュガーロード(博物館紹介)	機内誌
	長崎ケーブルメディア	TVガイド 4月号	無料広告(常設案内)、エンタメ★マルシェ(銀嶺紹介)	ガイド誌
	長崎市美術振興会	美振 No.118	2022年上期展示スケジュール	会報誌
4月6日(水)	新華社通信	新華社通信	黄檗展紹介(日本の黄檗宗で隠元禅師350年大遠諱の法要)	インターネット
4月23日(土)	NBC長崎放送	ニュース	カリグラフィーアート展開幕	テレビ
	KTNテレビ長崎	Live News イット!	カリグラフィーアート展開幕	テレビ
4月27日(水)	アルトネ編集部	アルトネ	カリグラフィーアート展	インターネット
	ながさきプレス	ながさきプレス 5月号	EVENTGUIDE(カリグラフィーアート展)	雑誌
GW期間中随時	NBCラジオ、FM長崎	ニュース、ワイド番組枠	GW情報告知	ラジオ
5月1日(日)	JALブランドコミュニケーション	SKY WORD 5月号	シュガーロード(博物館紹介)英語・中国語記事	機内誌
5月5日(木祝)	NCC長崎文化放送	ニュース	こどもの日フリーデー(取材有)	テレビ
5月13日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	カリグラフィーアート展(取材記事)	新聞
5月14日(土)	BSフジ	皇室のこころ~2022春~	研究員インタビュー(悠仁さまご来館)	テレビ
	読売新聞社	読売新聞オンライン/解藩知県番外編	天領 独自の文化 花開く(歴史コラム)	インターネット
5月13日(金)	長崎新聞社	長崎新聞とととってmotto!	おでかけ情報(NAGASAKIカリグラフィー)	新聞・FP
		長崎新聞	カリグラフィーアート展	新聞
5月15日(日)	長崎県警察	でじま 5月号 長崎万華鏡184	収蔵品紹介(般若心経)	機関紙
5月8日・15日・22日・29日(日)	NHK	BS 4K	土曜ドラマ「わけもん」再放送	テレビ
5月27日(月)	住navi	ワイヤーママ 6月号	月イチワークショップ	FP
6月1日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	不明資料について	新聞
6月9日(木)	KTNテレビ長崎	マルっと!	堤けんじ氏 新幹線たぬき絵(新幹線展告知あり)	テレビ
6月11日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	石だたみ(商店繁昌漫画双六)	新聞
6月20日(月)	ベースボール・マガジン社	テニスマガジン ONLINE	古今東西テニス史探訪② 長崎外国人居留地のテニス物語(収蔵写真掲載)	インターネット
6月24日(金)	長崎新聞社	長崎新聞 とととってmotto!	雨の日はミュージアムへ(取材記事)	新聞・FP
6月25日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス 7月号	EVENTGUIDE(特集展示ながさきの夏)	雑誌
7月15日(金)	長崎県警察	でじま 7月号 長崎万華鏡185	収蔵品紹介(横浜鉄道館蒸気車之図)	機関紙
8月12日(金)	NBC長崎放送	Pintl 長崎DEEPEr!	長崎のお盆(町屋・赤瀬所長)	テレビ
8月15日(月)	NBC長崎放送	特別番組	精霊流し(赤瀬所長)	テレビ
8月16日(火)	NBC長崎放送	Pintl 特集	夏休みの宿題の参考に!(染め・れきぶんの夏休み取材)	テレビ
8月31日(水)	KTNテレビ長崎	マルっと!	英国王立写真協会 写真展	テレビ
9月15日(木)	長崎県警察	でじま 9月号	収蔵品紹介(みゆきの先とも)	広報誌
9月16日(金)	西日本新聞社	西日本新聞	イベント情報(くんち三八八年展)	新聞
9月17日(土)	朝日新聞社	朝日新聞	くんち特集(くんち三八八年展)	新聞
	KTNテレビ長崎	ニュース	台風14号に伴う臨時休館	テレビ
	文化出版局	装苑ONLINE https://soen.tokyo/fashion/news/iami220917/	えびすリアリズム展 描き下ろし作品(I AM I IN FACT...が蛭子能収とコラボ)	インターネット
9月18日(日)	NBC長崎放送	交通・生活情報	台風14号に伴う臨時休館	テレビ
9月16日(月)	NHK長崎放送局	NHK長崎ホームページ	新幹線特設サイト(かもめ展取材映像2次使用)	インターネット
9月20日(火)	九州観光コンシェルジュ	長崎観光コンシェルジュ	博物館紹介(広告出稿)	雑誌・FP
9月26日(月)	NHK長崎放送局	イブニング長崎	元和の大殉教(参考資料提供)	テレビ

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
10月3日(月)~16日(日)	イベントバンク	BIGLOBE旅行、Walkerplus (KADOKAWA)ほか	くんち三八八年展 告知	インターネット
		Yahoo! MAP・SmartNews・いこーよ・gooニュース・dmenu ニュース・NTTドコモ iコンシェル・NTTドコモ my days・Jorte・NAVITIME for スゴ得・アルパインBIG X CONNECT・CableGate・MY J.COM・お出かけお天気・JC-Smart(きゅーちゃんナビ)		スマートフォンアプリ
10月7日(金)	地域情報センター	ふくおか経済WEB	西九州新幹線たぬき絵手ぬぐい取扱	インターネット
10月8日(土)	読売新聞社	読売新聞	くんち三八八年展(取材記事)	新聞
10月18日(火)~	純心大学	純心祭ホームページ	協賛(企画展招待券提供)	インターネット
10月21日(金)	長崎新聞社	長崎新聞	市川森一脚本賞財団 来年1月末で解散	新聞
11月1日(火)~	みらい長崎	ココプレス 11月号	出張イベント告知	FP
11月1日(火)	スカイマーク	空の足跡 11月号	西九州新幹線開業・齊藤氏インタビュー	機内誌
11月5日(土)	エフエム長崎	サタデーチャットボックス	博物館、HSB紹介(オーディオ出演・事前収録)	ラジオ
11月9日(水)	KTNテレビ長崎	みじかなナガサキ	博物館紹介(オーディオ出演・事前収録)	テレビ、インターネット
11月10日(木)~	JTBパブリッシング	るるぶ&MORE	博物館紹介(花と風)	インターネット
11月9日(水)	KTNテレビ長崎	みじかなナガサキ	博物館紹介(オーディオ出演・事前収録)	テレビ、インターネット
11月10日(木)~	JTBパブリッシング	るるぶ&MORE	博物館紹介(花と風)	インターネット
11月15日(火)	長崎県警察	でじま 11月号	収蔵品紹介(隠元騎獅像)	広報誌
11月21日(月)	長崎新聞社	長崎新聞	文房具をめぐる日中交流史	新聞
11月25日(金)	長崎県広報課	つたえる県ながさき 12月号	博物館紹介(表4)	広報誌
	NCC長崎文化放送	トコハピ	奉行所紹介(山口広助の行ったき長崎探訪「ひみつウォーク」)	テレビ
11月26日(土)	三栄、プラネットライツ	時空旅人 2023年1月号	中国特集(長崎と中国、隠元・博物館紹介)	雑誌
11月30日(水)	JTBパブリッシング	ノジュール 12月号	今読み直したい!あの名作の舞台へ(博物館紹介)	雑誌
11月21日(月)	長崎新聞社	長崎新聞	文房具をめぐる日中交流史	新聞
12月18日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	上野彦馬とその時代(収蔵資料画像提供)	新聞
12月19日(月)	長崎新聞社	長崎新聞	180年前の「信牌」発見(長崎市購入資料)	新聞
	NHK長崎放送局	イブニング長崎		テレビ
12月21日(水)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎	市川森一シンポジウム	テレビ
1月3日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	パフォーマンス書道(取材記事)	新聞
1月15日(日)	長崎県警察	でじま 1月号	収蔵品紹介(瓶梅図)	広報誌
1月16日(月)	BSフジ	ガリレオX 公式サイト	次回予告(電線がもたらした情報通信)1/22放送	インターネット
1月22日(日)、29日(再放送)	BSフジ	ガリレオX	電線がもたらした情報通信(取材協力)	テレビ
1月23日(月)~	ナビタイムジャパン	ナビタイムトラベル	博物館紹介 https://travel.navitime.com/ja/area/jp/spot/02301-1301454	インターネット
1月27日(金)~	アルトネ編集部	アルトネ	節分特集	インターネット
2月1日(水)	NIB長崎国際テレビ	ニュースevery	節分料理	テレビ
2月3日(金)	西日本新聞社	西日本新聞	おしらせ本舗(節分告知)	新聞
2月4日(土)	長崎新聞社	長崎新聞	食文化体験取材記事	新聞
2月8日(水)	NHK長崎放送局	イブニング長崎	新年を寿ぐ(取材あり)	テレビ
2月11日(土)	西日本新聞社	西日本新聞	市役所・市議会銘板(収蔵資料画像提供)	新聞
2月14日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	シーボルト来日200年記念事業	新聞
2月15日(水)~	株ゼンリン	STLOCAL	雨の日も楽しめる長崎一推しスポット3選	インターネット
2月19日(日)	長崎新聞社	長崎新聞 ジュニア版	長崎学児童研究コンクール	新聞
2月24日(金)	朝日新聞社	朝日新聞	町屋 桃の節句紹介(取材記事)	新聞
3月1日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	本山家文書目録公開へ	新聞
	西日本新聞社	西日本新聞		新聞
3月3日(金)	KTNテレビ長崎	マルっと!(ニュース)	桃の節句(町屋雛飾り)	テレビ
	長崎県警察	でじま 3月号	収蔵品紹介(桜花孔雀図伏彩色螺鈿酒宴盆)	広報誌

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
3月16日(木) ～6月11日(日)	イベントバンク	BIGLOBE旅行	肉筆浮世絵 開催情報	インターネット
		Walkerplus (KADOKAWA)		
		いこーよ		
		goo地図		
		gooニュース		
		dmenuニュース		
		ゆこゆこネット		
		日本旅行		
		北総鉄道		
		小田急電鉄		
		SPOPITA		
		・Yahoo! MAP・SmartNews・ いこーよ・gooニュース・ dmenuニュース・NTTドコモ i コンシェル・NTTドコモ my daiz・Jorte・NAVITIME for スゴ得・アルパインBIG X CONNECT・CableGate・MY J:COM・お出かけお天気・静岡 県公式観光アプリ TIPS・ JC-Smart(きゅーちゃんナビ)・ Remly		
3月23日(木)	朝日新聞社	朝日新聞	江戸期に探る市場との対話(収蔵品提供)	新聞
3月27日(月)	NHK長崎放送局	イブニング長崎	駐ベトナム日本大使 長崎訪問	テレビ
3月31日(金)	NBC長崎放送	ニュース(昼)	春うららII	テレビ
	KTNテレビ長崎	朱色のロマンス航路	収蔵品紹介(ベトナム鏡)	テレビ

○孫文・梅屋ミュージアム

●一般情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名	内容	媒体区分
4月22日(金)	文藝春秋	オール読物 5月号	見果てぬ王道 第5回	雑誌
5月2日(月)	旅行新聞社	旬刊旅行新聞	コラム観光最前線(「弱虫ペダル」マンホール登場)	インターネット
5月20日(金)	文藝春秋	オール読物 6月号	見果てぬ王道 第6回	雑誌
5月25日(水)	共同通信グループ	NNA ASIA アジア経ニュース	建物紹介(テイクオフ/コラム)	インターネット
5月27日(金)	ながさきプレス	ながさきプレス 6月号	館紹介・表紙(ながさきレトロさんぽ)	雑誌
6月4日(土)	JR西日本	JRおでかけネット	館紹介 https://guide.jr-odekake.net/spot/12284	インターネット
6月22日(水)	文藝春秋	オール読物 7月号	見果てぬ王道 第7回	雑誌
7月22日(金)	文藝春秋	オール読物 8月号	見果てぬ王道 第8回	雑誌
8月2日(火)	孫文梅屋M	公式ホームページ	日中国交正常化50周年記念展示	インターネット
8月22日(月)	文藝春秋	オール読物 9・10月合併号	見果てぬ王道 最終回	雑誌
9月12日(月)	NHK長崎放送局	ニュース、イブニング長崎	孫文梅屋塾	テレビ
9月18日(日)	NBC長崎放送	交通・生活情報	台風14号に伴う臨時休館	テレビ
11月13日(日)	長崎新聞社	長崎新聞	「身近な中国を探す旅」に参加して	新聞
11月26日(土)	三栄、プラネットライツ	時空旅人 2023年1月号	中国特集(長崎と中国、博物館紹介、辛亥革命、小坂氏)	雑誌
12月27日(火)	長崎新聞社	長崎新聞	県「書いてみんなね長崎」事業活用「見果てぬ王道」刊行	新聞
1月1日(日)号	日中友好協会	日中友好協会ホームページ	小坂氏登壇(埼玉県日中友好協会講演会「梅屋庄吉と孫文」)	インターネット
1月16日(月)	BSフジ	ガリレオX 公式サイト	次回予告(電線がもたらした情報通信) 1/22放送	インターネット
1月22日(日)、 29日(再放送)	BSフジ	ガリレオX	電線がもたらした情報通信(取材協力)	テレビ
1月31日(火)	長崎経済新聞	長崎経済新聞	梅屋庄吉のひ孫が長崎東中・高で講演会	インターネット
2月1日(水)	長崎新聞社	長崎新聞	わたしのおすすめ本(見果てぬ王道)	新聞
3月31日	EPARK	ローカルプレイス	ミュージアム情報	インターネット

●SNS情報発信記録

発信日	媒体名	内容
4月5日(火)	TW・FB・IG	清明節
4月8日(金)	TW・FB・IG	左官の日・ホンシャン建物内部について
4月12日(火)	TW・FB・IG	居留地探訪③ 南山手乙27番館
4月13日(水)	TW・FB・IG	祈念坂
4月19日(火)	TW・FB・IG	ミュージアムショップ 商品紹介(長崎Tシャツ)
4月24日(日)	TW・FB・IG	梅屋庄吉ハタあげエピソード
4月25日(月)	TW・FB・IG	4月26日は開館8周年記念日
4月28日(木)	TW・FB・IG	ほんしゃんのシュロの木
5月4日(水祝)	TW・FB・IG	ほんしゃんSNS開始2周年
5月5日(木祝)	TW・FB・IG	ほんしゃんのこどもの日フリーデー
5月8日(日)	TW・FB・IG	梅屋トクの誕生日・母の日
5月11日(水)	TW・FB・IG	ほんしゃんのあじさい
5月14日(土)	TW・FB・IG	5月18日 国際博物館の日フリーデー
5月15日(日)	TW・FB・IG	休館日案内
5月18日(水)	TW・FB・IG	5月18日 国際博物館の日フリーデー
5月23日(月)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ
5月24日(火)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ答え合わせ
5月28日(土)	TW・FB・IG	花火の日、ほんしゃんのあじさい
5月30日(月)	TW・FB・IG	ながさきプレス 6月号
6月2日(木)	TW・FB・IG	写真の日・梅屋庄吉の写真館
6月7日(火)	TW・FB・IG	あじさい
6月10日(金)	TW・FB・IG	時の記念日・周辺観光地紹介(どんの山公園)
6月11日(土)	TW・FB・IG	カサの日・梅屋家のアルバム
6月14日(火)	TW・FB・IG	下田菊太郎の誕生日
6月18日(土)	TW・FB・IG	ショップ商品紹介(手ぬぐい)
6月20日(月)	TW・FB・IG	休館日案内
6月26日(日)	TW・FB・IG	今日のほんしゃん
7月6日(水)	TW・FB・IG	7日は七夕
7月15日(金)	TW・FB・IG	ほんしゃんの夏休み イベント情報
7月22日(金)	TW・FB・IG	ほんしゃんの夏休み スペシャルクイズ
7月25日(月)	TW・FB・IG	れきぶん・ほんしゃん共通券紹介
7月30日(土)	TW・FB・IG	れきぶん・ほんしゃん共通券紹介
7月31日(日)	TW・FB・IG	常設展紹介(日中国交正常化50周年特集)
8月5日(金)	TW・FB・IG	ほんしゃんの夏休み ゆらゆらモバイル作り参加者募集
8月13日(土)	TW・FB・IG	休館日案内
8月14日(日)	TW・FB・IG	ほんしゃんの夏休み(ちよつきん切り絵体験)
8月21日(日)	TW・FB・IG	ほんしゃんの夏休み(ゆらゆらモバイル)
9月3日(土)	TW・FB・IG	ほんしゃん建物紹介
9月5日(月)	TW・FB・IG	台風接近のため時短営業
9月6日(火)	TW・FB・IG	台風11号通過後 営業案内
9月10日(土)	TW・FB・IG	中秋節
9月11日(日)	TW・FB・IG	南極探検「白瀬隊」ドキュメンタリー／南極観測船しらせ寄稿
9月17日(土)	TW・FB・IG	台風接近のため臨時休館
9月23日(金)	TW・FB・IG	西九州新幹線開業・ブルーインパルス
10月1日(土)	TW・FB・IG	アクセス情報(バス停名変更)
10月2日(日)	TW・FB・IG	出島メッセ大くんち展・くんち三八八年展

発信日	媒体名	内容
10月9日(日)	TW・FB・IG	ほんしゃん・れきぶん共通券
10月13日(木)	TW・FB・IG	建物紹介(窓枠の装飾)
10月23日(日)	TW・FB・IG	11月は孫文梅屋庄吉友情月間
11月2日(水)	TW・FB・IG	友情月間特典紹介
11月3日(木)	TW・FB・IG	友情月間 中国切り絵体験
11月19日(土)	TW・FB・IG	梅屋トクの命日
11月20日(日)	TW・FB・IG	休館日案内、友情月間あと10日
11月29日(火)	TW・FB・IG	友情月間明日まで
12月3日(土)	TW・FB・IG	クリスマスツリー登場
12月10日(土)	TW・FB・IG	見果てぬ王道 発売予告
12月12日(月)	TW・FB・IG	見果てぬ王道 発売
12月14日(水)	TW・FB・IG	ライトアップ情報
12月17日(土)	TW・FB・IG	ミュージアムショップ グラバー図譜カレンダー
12月18日(日)	TW・FB・IG	降雪・開館情報
12月23日(金)	TW・FB・IG	通常開館、ミュージアムショップ グラバー図譜カレンダー
12月24日(土)	TW・FB・IG	クリスマスイブ 周辺ライトアップ情報
12月27日(火)	TW・FB・IG	年末年始休まず開館・お正月着物フリーデー
12月30日(金)	TW・FB・IG	年末のご挨拶
1月2日(月)	TW・FB・IG	新年のご挨拶
1月7日(土)	TW・FB・IG	もうすぐ成人の日フリーデー
1月12日(木)	TW・FB・IG	ながさきで心呼吸の旅キャンペーン
1月16日(月)	TW・FB・IG	休館日
1月17日(火)	TW・FB・IG	ランタンフェスティバルスペシャルイベント情報
1月22日(日)	TW・FB・IG	ランタンフェスティバル開幕
1月24日(火)	TW・FB・IG	おうちでほんしゃんワークショップ(まんまるランタン)
1月25日(水)	TW・FB・IG	大雪のため臨時休館
1月27日(金)	TW・FB・IG	ランタンフェスSPイベント(コウモリモビール)
1月28日(土)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ(中国語であけましておめでとう)
1月29日(日)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ答え合わせ
1月31日(火)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ(媽祖)
2月1日(水)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ答え合わせ
2月2日(木)	TW・FB・IG	ランタンフェスSPイベントまもなく閉幕
2月3日(金)	TW・FB・IG	おうちでほんしゃんワークショップ(元宵団子をつくろう)
2月4日(土)	TW・FB・IG	おうちでほんしゃんワークショップ、ほんしゃんクイズ
2月5日(日)	TW・FB・IG	ほんしゃんクイズ答え合わせ、ランタンフェス最終日
2月10日(金)	TW・FB・IG	れきぶんイベント広場の梅・共通セット券
2月14日(火)	TW・FB・IG	江戸時代のチョコレート
2月20日(月)	TW・FB・IG	休館日案内
2月26日(月)	TW・FB・IG	周辺案内(ハルデス煉瓦)
3月3日(金)	TW・FB・IG	ほんしゃんのあじさいの新芽
3月5日(日)	TW・FB・IG	梅屋庄吉小学校卒業の日
3月7日(火)	TW・FB・IG	ミュージアムショップ新商品登場
3月12日(日)	TW・FB・IG	孫文命日
3月18日(土)	TW・FB・IG	周辺案内(国際ターミナル・客船入港)
3月24日(金)	TW・FB・IG	周辺案内(福建会館)
3月28日(火)	TW・FB・IG	長崎生まれの客船ダイヤモンドプリンセス入港

2 営業活動

【営業目的】

- ①修学旅行・一般団体・インバウンドツアーを中心とした誘致活動。
- ②長崎市で行われるイベントでの誘致活動。(西九州新幹線開業、ランタンフェスティバル等)
- ③大型クルーズ船客の博物館及び「孫文・梅屋庄吉ミュージアム」への誘客活動。
- ④市内宿泊施設への宣伝活動をホステル・ゲストハウス等への施設数拡大による強化。
- ⑤県内宿泊施設・観光・立寄り施設等への宣伝活動の地域拡大・訪問回数増による強化。
- ⑥企画展に対する協賛企業及び後援団体の依頼活動。
- ⑦キャンパスメンバーへの営業活動。

【主な活動内容】

インバウンドツアー(クルーズ船客)への誘客活動ならびに、県外旅行会社への訪問(県・市の観光誘致団体との連携営業活動含む)。

※修学旅行誘致活動は、下見来館の際、出来るだけ面談し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等、案内対応した。

《4月》 ※修学旅行下見(5校-15名)

- 1日 新年度挨拶回り。(マスコミ関係)
- 8日 新年度挨拶回り。(長崎国際観光コンベンション協会、市内観光施設ほか)
- 22日 企画展カリグラフィアート展開催告知。
- 23日 企画展『カリグラフィアート』開会式(会期：4/23～5/29)
- 25日 市内観光施設およびホテルへの館内イベント情報パンフレット設置・告知。(GWイベント情報ほか)
- 29日 市内観光施設およびホテルへの館内イベント情報パンフレット設置・告知。

《5月》 ※修学旅行下見(3校-9名)、

- 修学旅行(43校-1,318名)受入。
- 9日 市内観光施設およびホテルへの館内イベント情報パンフレット設置・告知。
- 20日 デスティネーションキャンペーン長崎実行委員会第3回総会出席。
- 長崎県庁1階大会議場にて
- 26日 企画展『西九州新幹線開業記念展』協賛依頼。

《6月》 ※修学旅行下見(1件-3名)、

- 修学旅行(62校-1,905名)受入。
- 2日 令和4年度施設間連携事業開催打合せ。南島原市にてスタディツアー・講演会・関連パネル展など開催予定
- 3日 市内観光施設およびホテルへの館内イベント情報パンフレット設置・告知。
- 9日 長崎国際観光コンベンション協会打合せ。長崎市内周遊Passおよび長崎県Maasについて
- 23日 「長崎市内観光関連施設管理者協議会第12回事業推進委員会」出席。
- 27日 令和4年度長崎国際観光コンベンション協会総会出席。
- 出島メッセ・ヒルトンホテルにて
- 30日 令和4年度施設間連携講演会開催下見・打合せ。南島原市にて

《7月》 ※修学旅行下見(16件-63名)、

- 修学旅行(8校-250名)受入。
- 6日 チーム長崎セーフティー継続審査。
- 15日 企画展『西九州新幹線開業記念展 ながさき・かもめ今昔』
- プレス内覧・開会式 (会期：7/16～8/28)

《8月》 ※修学旅行下見(46校-155名)

4日 「長崎市内観光関連施設管理者協議会第13回事業推進委員会」出席。

《9月》 ※修学旅行下見(6校-16名)、

- 修学旅行(97校-2,856名)受入。
- 2日 令和5年度施設間連携講演会下見、打合せ。平戸市にて
- 5日 「長崎市内観光関連施設管理者協議会第14回事業推進委員会」出席。
- 5日 台風11号接近による開館時間変更のお知らせ。(9/6開館時間 12:00～19:00変更)
- 17日 台風17号接近による臨時休館のお知らせ。(9/18、19臨時休館)
- 28日 長崎国際観光コンベンション協会主催「日本修学旅行協会竹内理事長講演会」出席。当館ホールにて

《10月》 ※修学旅行下見(2校-3名)、

- 修学旅行(166校-5,209名)受入。
- 14日 企画展『隠元禅師300年大遠韓 日中国交正常化50周年 長崎県・福建省友好県省締結40周年記念 長崎の黄檗-隠元禅師をめぐる物語』 プレス内覧・開会式(会期：10/15～11/27)
- 22日 長崎文化観光推進事業「南島原のキリシタン」講演会・スタディツアー 講師：デ・ルカ・レンゾ神父 南島原市にて 11/1～11/30 YouTube 配信(視聴者281件コメントなし)

《11月》 ※修学旅行下見(4校-7名)、

- 修学旅行(146校-4,293名)受入。
- 3日 開館17周年記念県民無料サービスデー(常設展) 大人90名小中校10名 計100名
- 5日 ココウォーク出張ワークショップ(缶バッチづくり)参加者11名。
- 18日 「長崎市内観光関連施設管理者協議会第15回事業推進委員会」出席。

《12月》 ※修学旅行下見(2校-4名)、

- 修学旅行(22校-551名)受入。
- 12日 東京都旅行業協会千代田地区研修観光説明会参加。(千代田区旅行業者11社/長崎市内施設10社)
- 23日 写真展『写真家が捉えた昭和のこども』プレス内覧・開会式(会期：12/24～2/12)

《1月》 ※修学旅行下見(5校-14名)

- 6日 長崎県観光連盟主催 新年賀詞交換会出席。ホテルニュー長崎にて
- 26日 第1回「長崎市東京事務所・市内事業者」情報交換会参加。(リモート会議)

《2月》 ※修学旅行下見(1校-3名)

- 8日 「長崎市内観光関連施設管理者協議会第16回事業推進委員会」出席。
- 15日 台湾教育旅行視察対応。
- 18日 全国修学旅行研究協会視察対応。
- 20日 福岡ランドオペレーター・旅行会社セールス

《3月》 ※修学旅行下見(3校-6名)、

- 修学旅行(7校-260名)受入。
- キャンパスメンバーズ、契約確認で各学校法人営業活動実施。(長崎外国語大学・活水女子大学・長崎大学・長崎純心大学・長崎県立大シーボルト校)長崎県内および市内を中心とした旅行代理店および交通機関等へ次年度営業形態告知作業。
- 13日 「長崎市内館関連施設管理者協議会」出席。
- 25日 「DCキャンペーン長崎実行委員会第4回総会」出席。

9

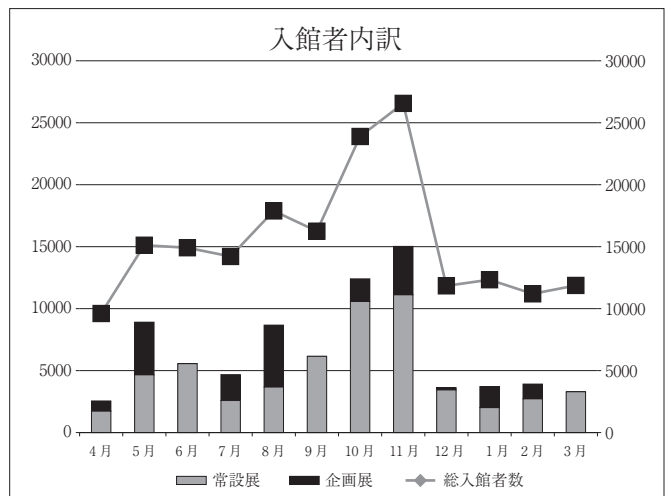
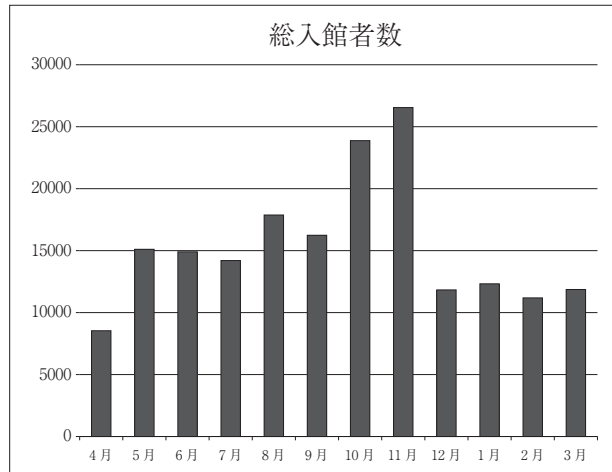
利用状況

1 来館者統計

【長崎歴史文化博物館】

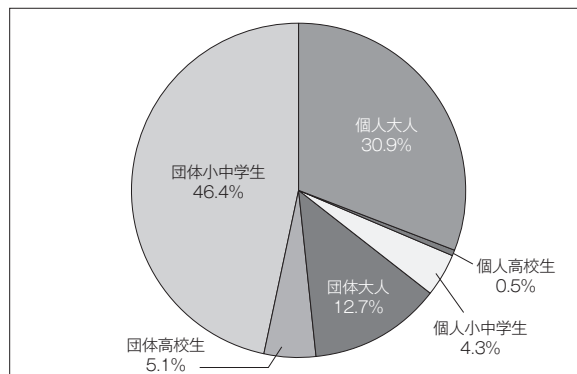
ア) 入館者数

	入館者数	常設展	企画展
4月	9,601	1,727	823
5月	15,108	4,659	4,248
6月	14,905	5,561	0
7月	14,201	2,585	2,090
8月	17,875	3,673	4,996
9月	16,241	6,152	0
10月	23,877	10,576	1,828
11月	26,546	11,117	3,906
12月	11,833	3,442	188
1月	12,325	2,013	1,696
2月	11,188	2,721	1,191
3月	11,865	3,293	0
合計	185,565	57,519	20,966



イ) 常設展入館者内訳

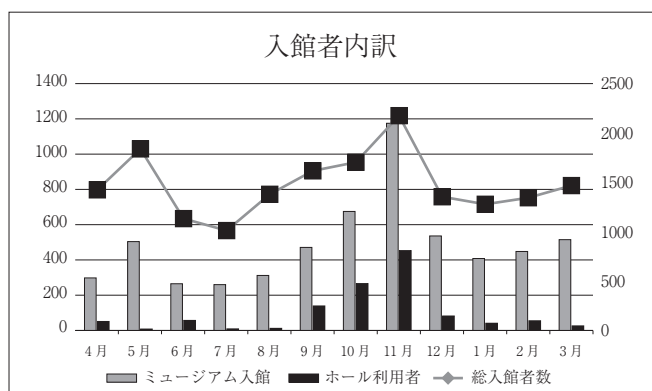
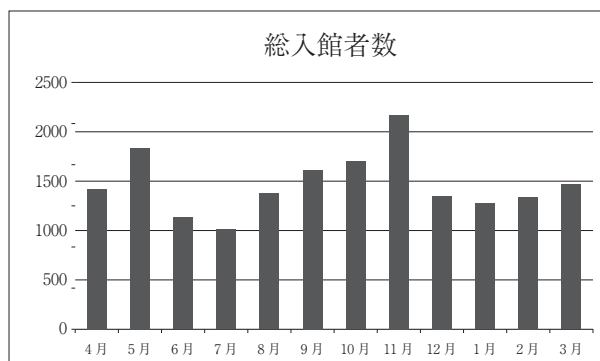
個人	大人	17,753	30.9%
	高校生	310	0.5%
	小中学生	2,492	4.3%
団体	大人	7,326	12.7%
	高校生	2,925	5.1%
	小中学生	26,713	46.4%
		57,519	100.0%



【長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館/長崎近代交流史と孫文梅屋庄吉ミュージアム】

ア) 入館者数

	総入館者数	ミュージアム入館	ホール利用者
4月	1,422	298	51
5月	1,836	504	8
6月	1,131	265	57
7月	1,010	260	9
8月	1,377	312	12
9月	1,614	471	139
10月	1,701	675	266
11月	2,172	1,175	453
12月	1,352	536	82
1月	1,276	408	41
2月	1,342	448	55
3月	1,465	515	26
合計	17,698	5,867	1,199



2 主な出来事と来館者

【長崎歴史文化博物館】

月日	内容
4月5日～	常設展示室 タッチパネル再開
4月19日～6月19日	町屋「端午の節句」
4月20日～6月19日	特集展示「NAGASAKIカリグラフィー」
4月23日～6月19日	特別展「カリグラフィーアート展 “世界を変えた冒険”マゼランとエルカーノによる史上初の世界一周から500年」
5月5日	こどもの日フリーデー
5月18日	国際博物館の日・県民無料サービスデー
6月21日～7月18日	町屋「七夕」
6月22日～8月21日	特集展示「ながさきの夏」
7月16日～8月28日	特別展「西九州新幹線開業記念展 ながさき・かもめ今昔」
7月20日～8月30日	町屋「お盆」
8月6日	食文化体験「お盆」
8月23日～9月13日	特別展示 堤けんじ「たぬきの長崎くんち」
8月24日～10月16日	特集展示「くんち三八八年展」
8月29日～10月10日	西九州新幹線かもめパネル展示
9月1日～9月19日	町屋「中秋の名月」
9月6日	台風のため時短営業
9月18日、19日	台風のため臨時休館
9月21日～10月16日	町屋「くんち」
10月15日～11月27日	特別展「長崎の黄檗—隠元禅師と唐寺をめぐる物語—」
10月18日～12月25日	町屋「冬至」
10月19日～12月18日	特集展示「唐寺の名宝」
10月22日	スタディーツアー「南島原のキリシタン 世界遺産をめぐる旅」開催

月日	内容
11月1日～11月30日	長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館「孫文・梅屋庄吉友情月間」
11月1日～	常設展示室 香りの体験展示再開
11月3日	開館記念日
11月5日	澤田瞳子氏トークショー「長崎の黄檗―隠元をめぐる人々と長崎の町」
12月17日	食文化体験「長崎雑煮」
12月21日～2月19日	特集展示「新年を寿ぐ」
12月24日～2月12日	写真展「写真家が捉えた 昭和のこども」
12月27日～1月15日	町屋「正月」
2月3日	奉行所節分豆まき 開催
2月21日～4月16日	町屋「桃の節句」
2月22日～4月16日	特集展示「春うららII」
3月2日～	常設展示室 長崎貿易映像コーナー（マルチスクリーン）に新作登場

3 貸館・貸室

■令和4年度 貸し施設状況（有料）

	件数	人数
ホール	58	3,828
イベントの間	132	3,328
会議室	81	2,191
講座室	60	3,211
その他（イベント広場、企画展示室等）	9	9,936
合計	340	22,494

10 収 支

【長崎歴史文化博物館】 〈負担金事業〉

単位：円

		協定予算額 ①	実績額 ②	予算との差異 ②-①
収入 合計		362,600,000	362,373,300	▲226,700
設置者負担金		362,000,000	362,000,000	±0
利用者負担金収入		600,000	373,300	▲226,700
支出 合計		362,600,000	355,431,077	▲7,168,923
管理運営人件費		129,698,000	128,479,602	▲1,218,398
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	15,400,000	13,853,622	▲1,546,378
	調査研究事業	17,720,000	13,464,301	▲4,255,699
光熱水費		69,725,000	95,960,302	+26,235,302
	光熱費高騰支援負担金	0	-25,153,000	▲25,153,000
維持管理費	施設設備保守点検業務	49,747,000	50,240,783	+493,783
	清掃、警備、樹木管理業務	35,750,000	34,642,647	▲1,107,353
	修繕費	5,000,000	5,634,640	+634,640
	受付案内業務	35,200,000	35,200,000	±0
	発券機、車両リース	4,360,000	3,108,180	▲1,251,820
負担金事業収支		0	6,942,223	+6,942,223

〈利用料金及びその他自主事業〉

単位：円

		予算額 ①	実績額 ②	予算との差異 ②-①
収入 合計		72,385,000	80,934,884	8,549,884
観覧料	常設展観覧	10,677,000	14,427,269	3,750,269
	企画展観覧	5,500,000	6,034,100	534,100
	協賛金等収入	21,285,000	24,004,688	2,719,688
その他利用料金	駐車場収入	4,857,000	5,233,970	376,970
	施設貸し出し収入	3,086,000	4,597,174	1,511,174
ミュージアムショップ収入		14,466,000	17,049,653	2,583,653
飲食施設収入		12,514,000	9,588,030	▲2,925,970
支出 合計		66,804,000	67,959,541	1,155,541
展覧会事業費	常設展示事業費	1,200,000	1,845,770	645,770
	展覧会・企画展事業費	33,220,000	33,336,327	116,327
業務経費	広報・マーケティング費	1,200,000	1,170,535	▲29,465
	駐車場運営費	100,000	94,000	▲6,000
	その他利用料金事業	4,017,000	6,670,059	2,653,059
ミュージアムショップ営業支出		14,468,000	15,364,093	896,093
飲食施設営業支出		12,599,000	9,478,757	▲3,120,243
利用料金及びその他自主事業 収支		5,581,000	12,975,343	7,394,343

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

〈負担金事業〉

単位：円

		協定予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
収入 合計		19,422,000	19,433,341	+ 11,341
設置者負担金		19,422,000	19,422,000	± 0
利用者負担金収入		0	0	± 0
指定管理者負担金		0	11,341	+ 11,341
支出 合計		19,817,000	19,166,712	▲ 650,288
管理運営人件費		12,470,000	12,309,344	▲ 160,656
運営事業費		1,866,000	1,386,999	▲ 479,001
光熱水費		2,030,000	2,026,210	▲ 3,790
維持管理費	施設設備保守点検業務	566,000	541,535	▲ 24,465
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	2,885,000	2,902,624	+ 17,624
負担金事業収支		-395,000	266,629	+ 661,629

〈利用料金事業〉

単位：円

		予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
収入 合計		1,420,300	1,116,319	▲ 303,981
観覧料収入		1,071,000	1,115,901	44,901
貸ホール収入		349,300	418	▲ 348,882
その他利用料金収入		0	0	0
支出 合計		933,900	861,617	▲ 72,283
展覧会事業費	常設展示事業費	519,000	842,997	323,997
	展覧会・企画展事業費	0	0	0
業務経費	広報・マーケティング費	246,000	0	▲ 246,000
	その他利用料金事業	168,900	18,620	▲ 150,280
利用料金事業 収支		486,400	254,702	▲ 231,698

〈参考：その他自主事業〉

単位：円

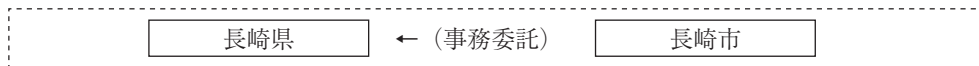
		予算額 記念館+ミュージアム	実績額 記念館+ミュージアム	予算との差異 記念館+ミュージアム
ミュージアムショップ収入		626,000	552,901	▲ 73,099
ミュージアムショップ営業支出		491,158	412,469	▲ 78,689
その他自主事業 収支		134,842	140,432	5,590

組 織

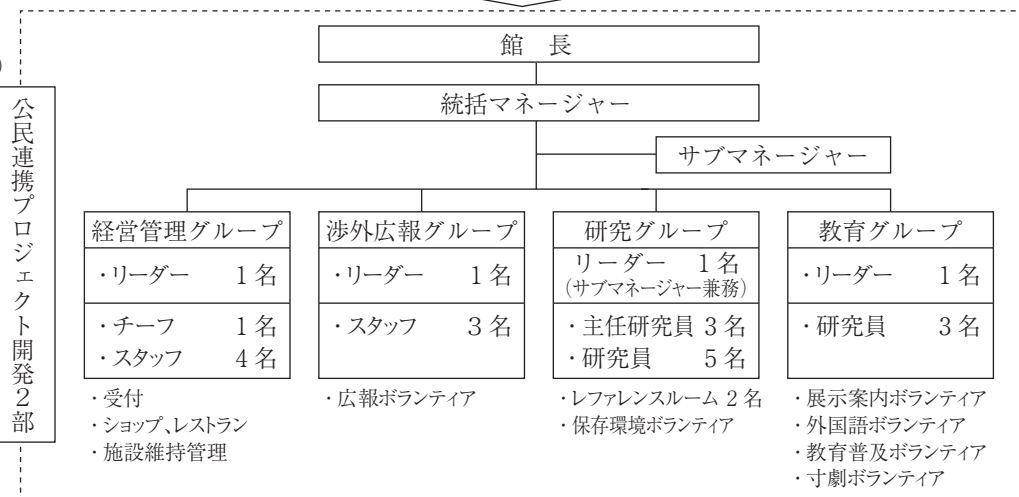
1 職員

【長崎歴史文化博物館】

・設置者



・乃村工藝社
(指定管理者)



業務委託

JR九州サービスサポート
J&Jヒューマンソリューションズ
銀嶺

〈職員構成〉

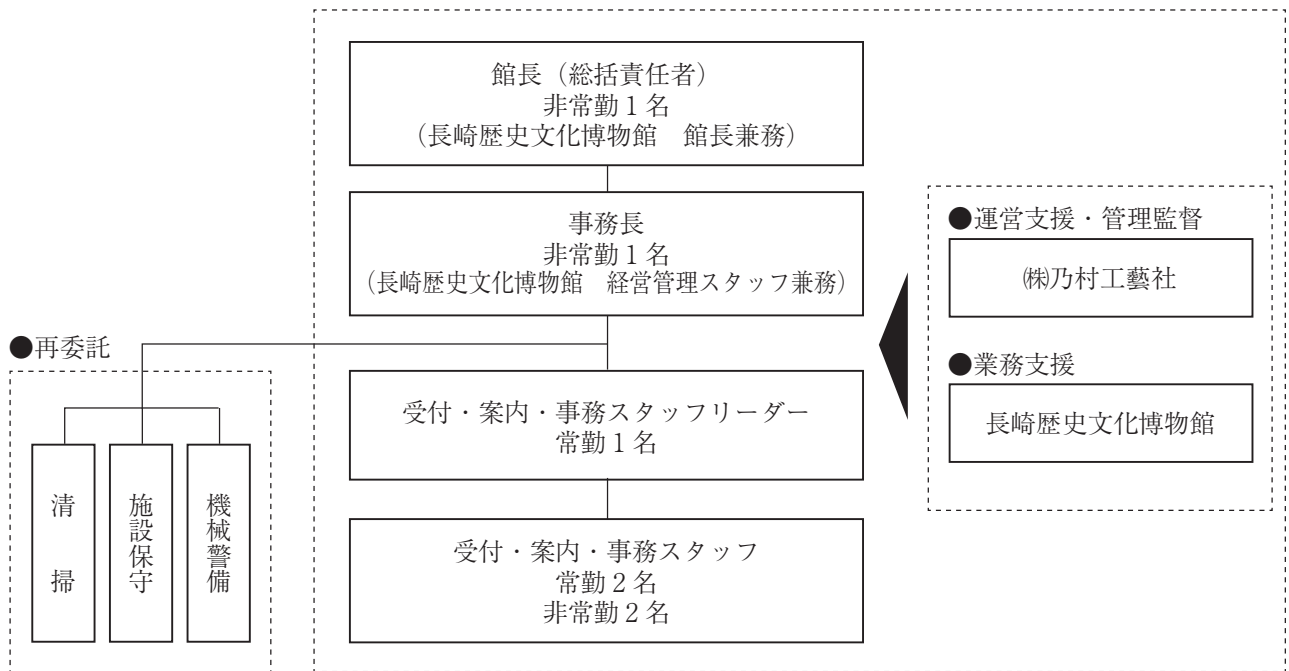
館長	1	館長	水嶋 英治
統括マネージャー	1	統括マネージャー	木幡 明彦
サブマネージャー	1	サブマネージャー	山口 博文 ※研究グループリーダー兼務
研究グループリーダー (サブマネージャー兼務)	1	研究グループリーダー	山口 博文
主任研究員	3	主任研究員	久保 憲司
研究員	5	主任研究員	越中 勇
レファレンス	2	主任研究員	深瀬 公一郎
教育グループリーダー	1	研究員	富川 敦子
研究員	3	研究員	矢田 純子
レファレンス	2	研究員	長岡 枝里
教育グループリーダー	1	研究員	早田 萌 (～2022年9月)
研究員	3	レファレンス担当	施 燕
レファレンス	2	レファレンス担当	道下 舞子
経営管理グループリーダー	1	教育グループリーダー	井上 祥花 (2022年11月～)
チーフ	1	研究員	出口 幹子
スタッフ	4	研究員	古豊 裕次朗
渉外広報グループリーダー	1	研究員	松岡 めぐみ
スタッフ	3	研究員	末吉 千夏
		経営管理グループリーダー	山崎 竜太
		チーフ	真崎 俊介
		スタッフ	木原 政樹
		スタッフ	境 陽子
		スタッフ	永田 喜代子
		スタッフ	仁禮 哲哉 (～2022年2月)
		渉外広報グループリーダー	松尾 純也
		スタッフ	大石 美織
		スタッフ	ヴァレンティーナ・オディーノ (れきぶんアンバサダー)
		スタッフ	早田 萌 (2022年10月～)
合計	27名		

長崎県文化観光国際部 文化振興・世界遺産課 長崎市文化観光部 観光政策課

指導・監督・連携



協議・報告・連携



〈職員構成〉

統括責任者	1
事務長	1
受付・案内・事務スタッフリーダー	1
スタッフ（常勤）	2
スタッフ（非常勤）	2
合計	7

統括責任者（館長兼務）	水嶋 英治
事務長（兼務）	真崎 俊介
受付・案内・事務スタッフリーダー	本村 明子
スタッフ	板倉 加奈
スタッフ	池田 憲彦（2022年 8月31日まで）
スタッフ	森岡 千尋（2022年10月16日まで）
スタッフ	岩口 恭子（2023年 3月31日まで）
スタッフ	金氣 奈々美
スタッフ	橋口 奈央子

2 友の会

○令和4年度

個人会員	63人
賛助会員	11団体

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
個人会員	140人	189人	180人	178人	199人
賛助会員	22団体	11団体	14団体	13団体	13団体
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	153人	181人	122人	79人	79人
	13団体	12団体	11団体	9団体	11団体

賛助会員

(令和4年度)

アイティーアイ株式会社 JR九州サービスサポート株式会社 有限会社葵巧芸社 崎永海運株式会社
 有限会社藤勝苑 扇精光ホールディングス株式会社 長崎空港ビルディング株式会社
 J&Jヒューマンソリューションズ (株)インテックス にんじんネットソリューションズ 安達株式会社

〈個人会員〉

- 年会費 5,200 円
- 有効期間 1 年間
- 特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを無料でご観覧いただけます。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年4 回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで1 割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは1 割引でご利用いただけます。
7. 当館主催の企画展の開会式にご招待いたします。
8. 各種催しのご案内を送付します。
9. 佐賀宇宙科学館及び壱岐市立一支国博物館に割引で入場できます。
10. 長崎県美術館・大分県立美術館・熊本県立美術館・九州国立博物館主催の企画・常設展を割引料金でご覧いただけます。

※九州国立博物館は文化交流展のみとなります

〈賛助会員〉

- 年会費 1 口 52,000 円
- 有効期間 1 年間
- 特典

1. 会員証のご提示により同伴1 名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1 口 50 枚をお渡しいたします。常設展チケット、1 口 30 枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式に1 名ご招待いたします。
4. 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを無料でご観覧いただけます。
5. 「長崎れきぶんNEWS」を年4 回お届けいたします。
6. 館内ミュージアムショップで1 割引のお買い物ができます。
7. 館内レストランは1 割引でご利用いただけます。
8. 佐賀宇宙科学館及び壱岐市立一支国博物館に割引で入場できます。

9. 館内貸室は2割引でご利用できます。
 10. 1階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。
 11. 長崎県美術館・大分県立美術館・熊本県立美術館・九州国立博物館主催の企画・常設展を割引料金でご覧いただけます。
- ※九州国立博物館は文化交流展のみとなります

〈キャンパスメンバーズ〉

長崎歴史文化博物館キャンパスメンバーズは、大学・専修学校等教育機関との連携を図り、学生の皆様が博物館に親しんでいただき、長崎の歴史や文化・観光にふれる場を提供することを目的とした会員制度です。

キャンパスメンバーズ会員校に在籍する学生および教職員の方は、当館の常設展示や当館主催の企画展を無料で観覧することができます。

また、館内施設を無料または割引価格でご利用いただくことができます。

- ◎対象： 大学、短期大学、専修学校
- ◎会員期間： 入会日より当該年度末(3月31日)まで(翌年度からは要更新)
- ◎利用対象： 募集対象の大学、短期大学、専修学校に在籍する学生および教職員

年会費					
学生数	300人未満	1,000人未満	2,000人未満	4,000人未満	4,000人以上
会費	30,000	80,000	150,000	250,000	350,000

令和4年度キャンパスメンバーズ会員校

長崎外国語大学、活水女子大学、長崎大学、長崎純心大学、長崎県立大学シーボルト校

〈特典〉

1. 常設展を無料で観覧いただけます。(学生証の提示が必要です)
2. 当館主催の企画展を無料で観覧いただけます。(学生証の提示が必要です、対象外の企画展があります)
3. 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを無料で観覧いただけます。
4. 館内ミュージアムショップの商品を10%割引で購入いただけます。
(対象外の商品・書籍があります)
5. 館内レストランのメニューを10%割引でご利用いただけます。
6. 館内のホールや企画展示室を、オープンキャンパスや広報イベントの会場としてご利用いただけます。
(会員期間内に1日。日程は事前に調整いただく必要があります)
7. 在学生の博物館実習を優先的に受け入れさせていただきます。
8. 1階エントランスにてキャンパスメンバーズ名を掲示させていただきます。

1 長崎歴史文化博物館

○建築概要

館名 長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
 設置者 長崎県、長崎市
 運営者 指定管理者（株）乃村工藝社
 （指定期間：令和4年4月1日～令和10年3月31日 6年間）
 博物館報分類 相当施設
 開館年月日 平成17年11月3日
 所在地 〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1
 Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407
 建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
 建築設計 (株)黒川紀章建築都市設計事務所
 建築施工 竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
 展示設計施工 (株)乃村工藝社

敷地面積 14,413㎡
 建築面積 5,091㎡
 延床面積 13,309㎡（駐車場2,581㎡を含む）

建築工事 平成15年7月19日～平成17年8月31日
 展示工事 平成15年10月3日～平成17年8月31日
 総事業費 約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円



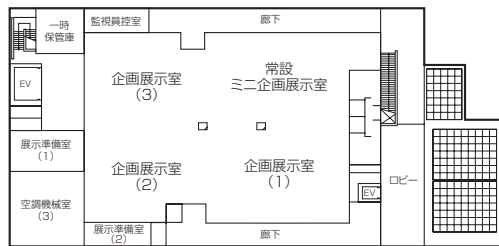
施設面積

展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室/長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所（木造部分）	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

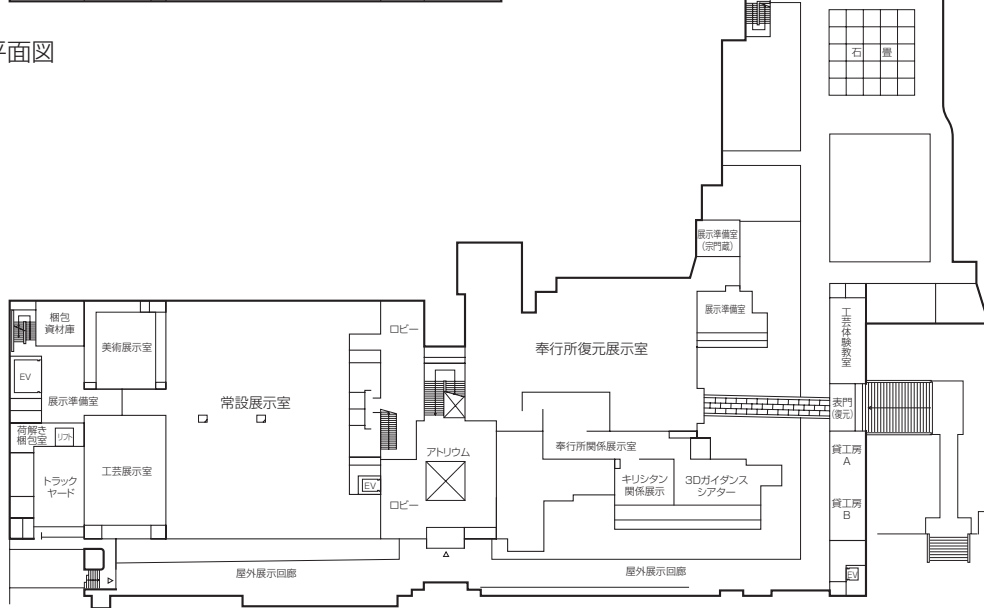
設備概要

電 気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
 給排水：上水/雨水処理2系統加压直送給水方式、汚水排水/屋内外合流方式・公共下水道放流
 消 火：消火器とハロゲン化合物消火設備
 空調設備：熱源/ガス炊吸収冷温水発生機
 空調方式：エアハンドリングユニット 定風量単一ダクト方式、中央監視システム

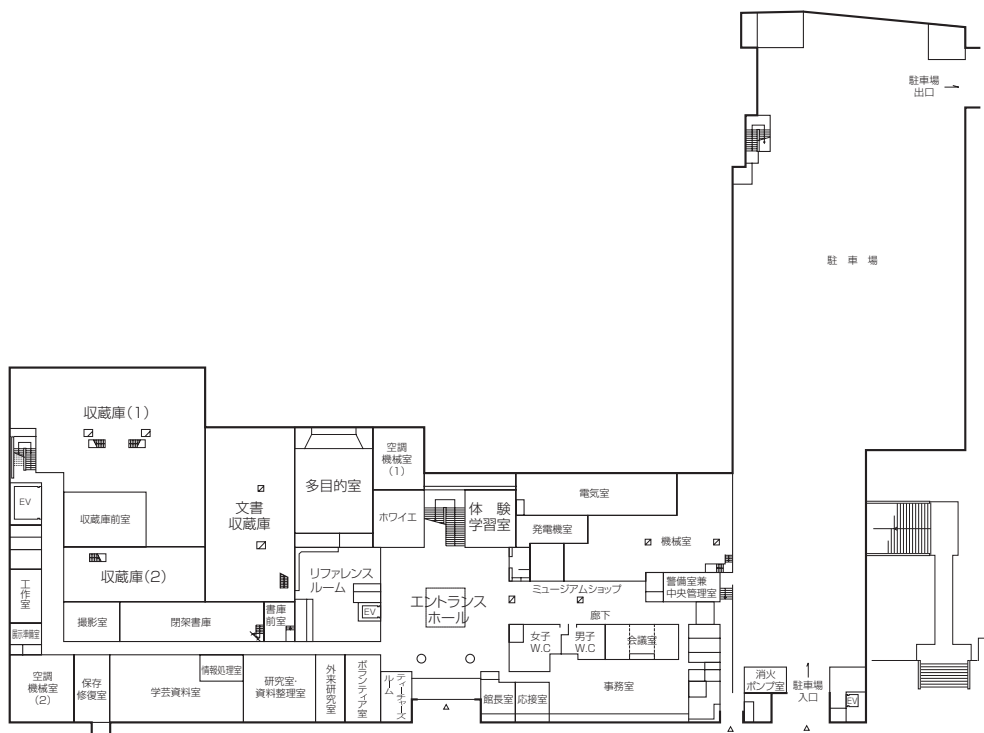
○施設平面図



2階平面図



1階平面図

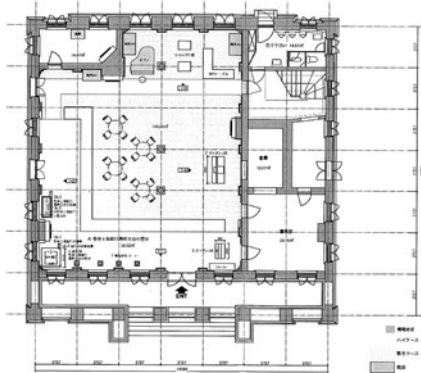


地下1階平面図

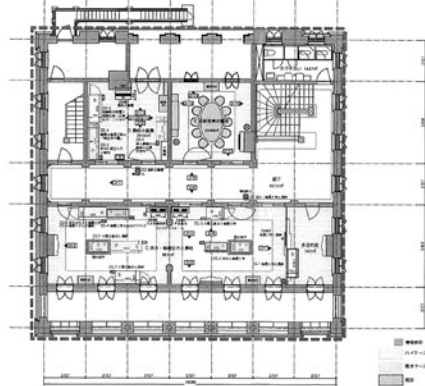
2 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

○施設平面図 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

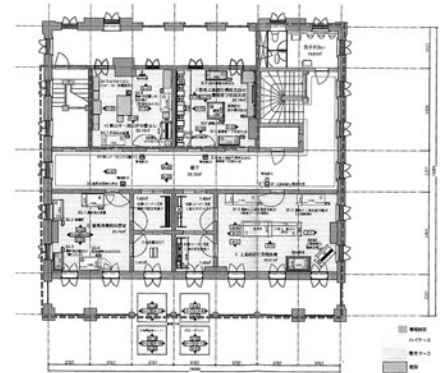
1 F
(施設名: 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館)



2 F
(施設名: 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)



3 F
(施設名: 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム)



○長崎近代史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明

	記念館または ミュージアムの別	室名	用途	床面積 (㎡)	天井高 (cm)	床	壁	天井
1F	記	ホール	展示	58.92	470	石・木板	漆喰	漆喰
	記	ホール	ホール	149.29	470	木板	漆喰	漆喰
	記	事務室	事務室	29.74	470	木板	漆喰	漆喰
	記	支店長室	応接室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	男子手洗い	トイレ	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	階段室	階段室	14.87	470	木板	漆喰	漆喰
	記	倉庫	倉庫	12.07	470	木板	漆喰	漆喰
	記	エントランス (裏口)	エントランス (裏口)	12.09	470	木板	漆喰	漆喰
2F	ミュ	多目的室	多目的室	14.9	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	孫文・梅屋庄吉と長崎	展示	88.9	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	応接室兼会議室	展示	29.64	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	長崎の華僑(華人)	展示	29.64	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	60.53	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	女子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	ボランティア室	ボランティアスタッフ控え室	14.87	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ(国道側)		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
ミュ	ベランダ(裏側)		22.3	380	塗膜舗装	石	漆喰	
3F	ミュ	上海航路と国際通信	展示	44.61	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	貿易港長崎の歴史	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 1	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 2	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	体験コーナー 3	体験室	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	クローゼット	クローゼット	7.4	380	木版	漆喰	漆喰
	ミュ	廊下	廊下	56.72	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	男子手洗い	トイレ	14.87	380	石	漆喰	漆喰
	ミュ	階段室	階段	14.58	380	木板(絨毯張)	漆喰	漆喰
	ミュ	ベランダ(国道側)		52.05	380	塗膜舗装	石	漆喰
	記	香港上海銀行長崎支店の建築家 下田菊太郎	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	東山手・南山手の暮らし	展示	29.74	380	木版	漆喰	漆喰
	記	ベランダ(裏側)		29.74	380	塗膜舗装	漆喰	漆喰
記	倉庫	倉庫	7.43	380	木版	漆喰	漆喰	

※参考までに「記念館」の部分も記載

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日

長崎県条例第56号

改正 平成25年12月27日条例第45号

令和5年3月24日条例第4号

注 令和5年3月から条文沿革を注記した。

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

2 長崎歴史文化博物館に分館を設置し、その名称及び位置は次のとおりとする。

名称	位置
長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	長崎市

(事業)

第2条 博物館（前条第1項の長崎歴史文化博物館及び同条第2項の長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムをいう。以下同じ。）は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させ

るとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。

- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。
- (5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、施設の保守点検等のため知事の承認を得て指定管理者が定める日（以下「休館日」という。）を除き開館するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(令5条例4・一部改正)

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

- 3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

- 4 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- (1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。
- (2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。
- (3) 前条第4項の規定に違反したとき。
- (4) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。
- (5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

- 2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。
- 3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。
- 4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。
- 5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第16条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で、本文に係る部分は、平成17年11月3日から施行。ただし書に係る部分は、平成17年8月5日から施行)

附 則 (平成25年12月27日条例第45号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月26日から施行する。

(準備行為)

2 改正後の長崎歴史文化博物館条例第5条及び第6条の規定に基づく指定管理者の指定及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行の前においても行うことができる。

附 則 (令和5年3月24日条例第4号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年9月30日
長崎市条例第145号

(設置)

第1条 本市は、長崎の歴史及び文化に関する資料を収集し、保存し、及び展示して市民の利用に供し、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うとともに、長崎の歴史及び文化に関する情報及び交流の場を提供し、もって学術及び文化の発展に寄与するため、長崎県と共同で長崎歴史文化博物館を長崎市立山1丁目1番1号に設ける。

2 長崎歴史文化博物館に長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを、長崎市旧居留地建造物条例（平成6年長崎市条例第17号）第3条の表旧香港上海銀行長崎支店の項に規定する位置に設ける。

(平25条72・一部改正)

(事務の委託)

第2条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の14第1項の規定により、長崎歴史文化博物館に関する事務を長崎県に委託する。

附 則

この条例は、教育委員会規則に定める日から施行する。

(平成17年教育委員会規則第7号で平成17年11月3日から施行)

附 則 (平成25年12月25日条例第72号)

この条例は、平成26年4月26日から施行する。

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本協定書

長崎県知事 大石 賢吾（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社 乃村工藝社 代表取締役 社長執行役員 榎本 修次（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムにおいて乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

（1）長崎歴史文化博物館

ア 名称 長崎歴史文化博物館

イ 所在地 長崎市立山1丁目1番1号

ウ 施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登載の物品

（2）長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

ア 名称 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

イ 所在地 長崎市松が枝4番27号

ウ 施設等 記念館（3階建て）の2階、3階の一部、（別添配置図及び「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム各室説明」のとおり）

（指定管理期間）

第3条 長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの指定管理期間は、令和4年4月1日から令和10年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命、基本理念及び基本的性格）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1-1「長崎歴史文化博物館の使命」及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの基本理念及び基本的な性格は、別紙1-2「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する基本理念及び基本的な性格」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、乙の指定管理業務の範囲は、別紙2-1「長崎歴史文化博物館指定管理業務の範囲」及び別紙2-2「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

（1）地方自治法

（2）社会教育法

（3）博物館法

（4）文化財保護法

（5）文化芸術基本法

（6）文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律

（7）長崎歴史文化博物館条例

（8）長崎歴史文化博物館条例施行規則

（9）労働基準法

（10）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムに関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。

- (2) 公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。
- (3) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営にあたっては、重要文化財の中に設置されていることに鑑み、保存に影響を及ぼす行為をしてはならない。

(事業計画)

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

- 2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。
- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。
- 5 乙は毎年3箇年の事業計画を策定し、甲に提示するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日に休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。なお、負担金は、災害その他特殊な事情を除き、年度途中の増額又は減額を行わないものとする。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例（平成16年3月23日付長崎県条例第3号）第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第8の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければならない。

- 2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

(再委託の禁止)

第25条 乙は、その業務の全てを第三者に再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たときは、この限りではない。

(指定管理者への指示)

第26条 甲は、長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第27条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、甲は、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 甲は、乙が長崎県が行う各種契約等からの暴力団等排除要綱（平成22年9月13日施行）別表1に掲げる措置要件のいずれかに該当すると認められた場合、催告その他の手続を要することなく、指定管理者の指定を即時に取り消すことができる。

3 乙は、前2項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、第1項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第28条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第29条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他人の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(協議)

第30条 この協定書に定めるもののほか、この協定の履行について必要な事項は長崎県財務規則（昭和39年長崎県規則第23号）に定めるところによるものとし、この規則及びこの協定書に定めのない事項で約定する必要があるとき、又はこの協定に関する事項について疑義が生じたときは、甲乙協議して定める。

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

令和4年3月31日

甲 長崎市尾上町3番1号
長崎県
長崎県知事 大石 賢吾
乙 東京都港区台場2丁目3番4号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役 社長執行役員 榎本 修次

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025において、基本戦略の一つである「地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る」を推進するための「特色ある文化資源・スポーツによる活性化」で、活動の充実を図ることとされており、長崎市第五次総合計画においては「個性輝く世界都市・希望あふれる人間都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この基本理念・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・長崎市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民・長崎市民はもとより県外客やインバウンド客のニーズにも沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・長崎市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・長崎市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用 に 供する。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力を子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産

業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングのプラットフォーム構築と総合的なマネジメントによる博物館運営により、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

(別紙1-2)

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理運営に関する 基本理念及び基本的な性格

(1) 基本理念

中国をはじめとする東アジアとの近代交流史を一覧できる拠点として「発信・連携・交流」を基本理念とする。重要文化財である「旧香港上海銀行長崎支店」の紹介と、「孫文と梅屋庄吉」の関係、及び二人にとってゆかりの地であり近世以降も重要な役割を果たした「長崎」の近代交流史に関する展示や関連事業を通じて広く情報発信する。また、国内外の博物館等と連携するとともに、県民、長崎市民に開かれ、国内はもとより、中国をはじめ東アジアの要人も訪れる友好のシンボルとなる施設として、今後の友好交流に寄与することを目指す。

(2) 基本的な性格

①魅力的な展示

旧香港上海銀行長崎支店の紹介と、孫文と梅屋庄吉を核とした長崎近代交流史を紹介するとともに、上海航路や国際通信など長崎がその中で果たした役割等についても幅広く紹介する。また常に魅力ある展示とするため、可能な限り実物での展示を行うと同時に、定期的に資料の展示替えを行う。

②生涯学習・教育普及

多くの県民・市民への生涯学習・教育普及の場の一つとして、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることのできる身近な施設を目指す。

③国内外への情報発信

長崎の近代における交流の歴史、中国をはじめとする東アジアに関する情報等はもとより、長崎県内、長崎市内の観光情報等もICT機能を活用しながら発信することを目指す。

※ ICT：情報通信技術

④他施設等との連携

資料収集、資料保管、アーカイブ、閲覧、レファレンス機能については、長崎歴史文化博物館が主体となって行う。また、必要に応じ他施設等とも十分な連携を図る。

※アーカイブ：「記録」や「資料」の総称。またそれをまとめて保存すること。その場所、機関。

レファレンス：「資料相談」「資料参照」等のサービス。

⑤調査・研究

上記の事業を進めるため、長崎の近代交流史に関する調査研究については、「長崎学」の拠点施設である長崎歴史文化博物館等で行う。また、県内大学をはじめ、国内外の研究者とも交流し、調査研究の熟度を高める。

※長崎学：県下各地を対象とし、国内外の交流史や文化史など様々な角度から長崎をとらえる学問の総称。

⑥県民、市民参加・憩いの場

多くの県民、市民が訪れ、積極的なボランティアの参加による住民参加型の施設であるとともに、来館者にとって憩いの場となるような施設を目指す。

⑦長崎歴史文化博物館との関係

長崎歴史文化博物館においては、長崎学の推進を一つの使命として調査研究を進め、その成果を具体的に展覧会等を通じて還元しているところである。長崎の近代交流史をテーマとするミュージアムは、長崎歴史文化博物館とともにその展示の場となり、講演や国内外の孫文関係館との交流など、友好交流拠点施設となることを目指す。

(別紙2)

指定管理業務の範囲

1. 長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(14)のとおりとする。

記

(1) 管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

※利用者のサービス改善や経営効率化等のため、長崎歴史文化博物館条例の規定に基づき、変更することは可能である。

②開館時間

午前8時30分から午後9時までの12時間30分を基本とする

(常設展示は午前8時30分から午後7時まで)

※利用者のサービス改善や経営効率化等のため、長崎歴史文化博物館条例の規定に基づき、変更することは可能である。(季節や曜日別での設定を含む)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、長崎歴史文化博物館施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧県庁エコオフィスプランへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している県庁エコオフィスプランの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、長崎市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。特に新型コロナウイルス感染症感染拡大予防については、(公財)日本博物館協会が策定しているガイドラインに沿った対応をすること。

⑩県及び長崎市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び長崎市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集のための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料
- ・長崎の近代交流史に関する資料
- ・その他関連する資料

②収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫、空気環境など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

資料2-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱」及び資料2-2「長崎歴史文化博物館図書資料管理取扱要綱」に基づき収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、指定期間中に全てを確認する。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

※重要物品とは評価額100万円以上の資料及び指定文化財を指す。

③収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2-3「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、必要に応じ、所有者である県及び長崎市との協議を行う。

④歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務
- ク) 健全な展示環境の確保業務

〈1〉常設展示

1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。

- ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
- ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
- ・美術、工芸展示
- ・長崎奉行所関連・情景展示

・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）

2) オランダのライデン国立民族学博物館などから、資料を借用し、常設展示室で展示する。

3) 県担当者の指導の下、東京国立博物館から、「長崎奉行所キリシタン関係遺品」（重要文化財含む）を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う。

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
 - ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
 - ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会
 - ・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等
- (3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務
- ①長崎歴史文化博物館の収蔵資料に関する調査研究
 - ②資料の保存修復に関する調査研究
 - ③展覧会企画に関する調査研究
 - ④生涯学習支援に関する調査研究
 - ⑤長崎の歴史・文化に関する調査研究
 - ⑥長崎市長崎学研究所と連携した調査研究
- (4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務
- ①様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求めることができる。
 - ②修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
 - ③伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
 - ④県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
 - ⑤学校教育の一環として館を利用してもらうなど、教育機関との連携を積極的に行い、子どもたちの利用促進を図る。
 - ⑥離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。
- (5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務
- レファレンスルームや長崎県内の文化施設が所有する情報を一度に検索できるミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。
- なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。
- (6) 広報・マーケティング業務
- 年間総入館者数40万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。
- ①現在の博物館運営に即した広報・マーケティングのプラットフォームを構築する。
 - ②展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
 - ③会員事業を実施する。
 - ④定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
 - ⑤館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。
- (7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務
- ①県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
 - ②県及び長崎市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
 - ③オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携
 - ④中華人民共和国の福建博物院との交流・連携
 - ⑤中華人民共和国湖北省3館との交流・連携
 - ⑥大韓民国釜山博物館との交流・連携
- (8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務
- ①利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
 - ②利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
 - ③観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務
- (9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務
- ①ミュージアムショップの管理運営
収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

- ② レストランの管理運営
来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。
- (10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務
 - ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2)②ウ)による。
 - ② 施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
 - ③ 緊急時に適切な対応をするため、危機管理体制の整備・講習等を実施する。
 - ④ 施設及び附属設備等(物品を含む)の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
 - ⑤ 原則として、1件あたり100万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり100万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
 - ⑥ 県及び長崎市が館の管理運営に必要なと認めた備品については、県及び長崎市が貸与するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
 - ⑦ 長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が都道府県有物件災害共済事業(地方自治法第263条の2の規定に基づき、都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約)に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険について県は措置しない。
 - ⑧ 施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3-1の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。
- (11) 歴史・文化による地域づくりに資する業務
他の文化施設をはじめ、教育機関や福祉機関、医療機関と連携し、長崎の歴史・文化に触れられる機会の提供とともに関係人材の育成に寄与する。
- (12) 観光交流人口に資する業務
周辺の観光・集客施設をはじめ、多様な地域資源と連携した事業展開を推進し、国内外からの観光客の誘客など、交流人口の拡大に寄与する。
- (13) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用
県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。
- (14) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務
県及び長崎市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

2. 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムにかかる指定管理業務の範囲は下記のとおりとする。

(1) 指定管理者業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日を設定

※現在は、第3月曜日（祝日の場合は火曜日が休館）を休館日としているが、利用者のサービス改善や経営効率化等のため、変更することは可能である。

②開館時間

午前9時から午後5時までの8時間を基本とする。

③公平性等の確保

・ミュージアムの管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

・高齢者、障害者等の利用については、十分な配慮を行う。

④外国人利用者への配慮

⑤禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

展示資料、ミュージアム施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑥人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑦管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。

また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない（退職後もその対象となるものである）。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑧情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑨県庁エコオフィスプランへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している県庁エコオフィスプランの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑩危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、長崎市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、講習等を行うものとする。

特に新型コロナウイルス感染症感染拡大予防については、(公財)日本博物館協会が策定しているガイドラインに沿った対応をすること。

⑪県及び長崎市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び長崎市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

・日報による入館者数及び売上報告

・長崎歴史文化博物館での定例会（業務進捗報告、施設管理報告、資料管理報告等）…週1回程度

・業務モニタリング（年数回の業務進捗状況の確認）

・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立

・事業報告（年度末、約半年毎、重要事項については随時）

(2) 収蔵資料の利用及び展示に関する業務

①展示業務

展覧会を行う際の主な業務は以下のとおりである。

(ア) 展示の企画及び当該企画を実現するための調査

(イ) 展示の企画を実現するための他館の資料等の貸借に係る交渉

(ウ) 展示に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等

- (エ) 展示に係る広報等の集客
 - (オ) 展示に係る図録、報告書等の作成
 - (カ) 展示資料監視・点検
 - (キ) 展示資料説明
 - (ク) 健全な展示環境の確保
- (3) 長崎の近代交流史に関する調査及び研究に関する業務
調査研究に関する主な業務は以下のとおりである。
- ①長崎の近代交流史に関する調査研究
 - ②長崎歴史文化博物館の収蔵資料に関する調査研究
 - ③資料の保存修復に関する調査研究
 - ④展覧会企画に関する調査研究
 - ⑤生涯学習支援に関する調査研究
- (4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務
教育普及・生涯学習支援に関する主な業務は以下のとおりである。
- ①様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、長崎の近代交流史に関する研究成果等の講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。
なお、参加者から実費相当額程度の利用者負担を求められることができる。
 - ②修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
 - ③県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
 - ④学校教育の一環として館を利用してもらおうなど、教育機関との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
 - ⑤離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。
- (5) 長崎の近代交流史の情報提供に関する業務
レファレンスやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、国内外の博物館情報等の提供を行う。
なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行うこと。
- (6) 広報・マーケティング業務
年間総入館者数3万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。
- ①現在のミュージアム運営に即した広報・マーケティングのプラットフォームを構築する。
 - ②戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
 - ③定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
 - ④ミュージアムの利用促進を図るため、「長崎さるく」などの各種イベントとの連携を図る。
- (7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務
・県及び長崎市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- (8) 施設の利用料金に関する業務
- ①利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
 - ②観覧券の発券及び料金の徴収業務
- (9) ミュージアムの附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務
- ①指定管理者は、県との緊密な連携の下、重要文化財であることを鑑み、善良な管理者の注意義務をもって附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、長崎歴史文化博物館にて行う。
 - ②附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
 - ③附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできない。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
 - ④原則として、1件あたり100万円未満の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものとする。
1件あたり100万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
 - ⑤県及び長崎市が管理運営に必要と認めた備品については、県及び長崎市が貸与するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
 - ⑥附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3-2の「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュー

ジアムの附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(10) 歴史・文化による地域づくりに資する業務

他の文化施設をはじめ、教育機関や福祉機関、医療機関と連携し、長崎の歴史・文化に触れられる機会の提供とともに関係人材の育成に寄与する。

(11) 観光交流人口に資する業務

周辺の観光・集客施設をはじめ、多様な地域資源と連携した事業展開を推進し、国内外からの観光客の誘客など、交流人口の拡大に寄与する。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要となる業務

県及び長崎市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3) ボランティア経費
 - (4) ミュージアムショップ経費
 - (5) レストラン経費
- 2 その他
博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報(長崎県個人情報保護条例(以下「条例」という。)第2条第1号に規定する個人情報をいう。以下同じ。)の保護の重要性を認識し、この契約による業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、この契約による業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報について、漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(事業所内からの個人情報の持出しの禁止)

第5 乙は、甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を、乙の事業所の外に持ち出してはならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第6 乙は、甲が指示したときを除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を、契約の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この契約による業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第8 乙は、甲が承諾したときを除き、この契約による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第9 乙は、この契約による業務を行うため甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときはその指示に従うものとする。

(業務に従事している者への周知)

第10 乙は、この契約による業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(従事者等の特定)

第11 乙は、この契約による業務に従事する者及びその責任者(以下「従事者等」という。)を特定し、その管理及び実施体制について、甲に書面で報告しなければならない。なお、当該報告をした後にその内容が変更になった場合も同様とする。

(従事者等に対する教育)

第12 乙は、従事者等に対し、個人情報の取扱いについての教育及び監督をしなければならない。

(特記事項の遵守状況の報告)

第13 乙は、甲から求めがあったときは、この特記事項の遵守状況について甲に対して報告しなければならない。

(調査)

第14 甲は、乙がこの契約による業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(事故報告)

第15 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(個人情報の取扱いに関する罰則)

第16 条例に規定される個人情報の取扱いに関する罰則は、以下のとおりである。

(1) 業務に従事している者又は従事していた者に対する刑罰

①正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したとき	2年以下の懲役又は100万円以下の罰金 (条例第63条)
②正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したとき	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 (条例第64条)
③その業務に関して知り得た保有個人情報を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したとき	1年以下の懲役又は50万円以下の罰金 (条例第65条)

(2) (1)の行為についての受託者に対する刑罰

この契約による業務に従事している者又は従事していた者が行った(1)の①から③までの行為については、乙(条例第68条第1項の法人又は人をいう。)に対しても、①から③までに掲げる罰金刑が科せられる。

(特定個人情報の取扱いに関する罰則)

第17 特定個人情報（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下「番号法」という。）第2条第8項に規定する特定個人情報をいう。）の取扱いに関する罰則は、以下のとおりである。

(1) 個人番号利用事務（番号法第2条第10項に規定する個人番号利用事務をいう。以下同じ。）又は個人番号関係事務（番号法第2条第11項に規定する個人番号関係事務をいう。以下同じ。）に従事する者又は従事していた者に対する刑罰

①正当な理由がないのに、その業務に関して取り扱った個人の秘密に属する事項が記録された特定個人情報ファイル（その全部又は一部を複製し、又は加工した特定個人情報ファイルを含む。）を提供したとき	4年以下の懲役若しくは200万円以下の罰金又はこれらの併科(番号法第67条)
②業務に関して知り得た個人番号を自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したとき	3年以下の懲役若しくは150万円以下の罰金又はこれらの併科(番号法第68条)

(2) (1)の行為についての受託者に対する刑罰

個人番号利用事務又は個人番号関係事務に従事する者又は従事していた者が行った(1)の①又は②の行為については、乙（番号法第77条の法人又は人をいう。）に対しても、①又は②に掲げる罰金刑が科せられる。

(別紙6)

長崎歴史文化博物館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム利用料金一覧

長崎歴史文化博物館

□常設展利用料金 (単位：円)

	一般	小・中・高学生	備考
普通観覧料金	630	310	
団体割引料金	500	250	15名以上

(消費税及び地方消費税込み)

※減免事項

- 1 県内在住の小・中学生については無料。
- 2 学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲・ろう・養護学校生が利用する場合は、引率の教員を含め、無料。
- 3 障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者及び介護者1名は無料。
- 4 館の認定を受けた観光ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

□貸室等利用料（1） (単位：円)

名称	面積 (㎡)	単位	料金 (入場無料の場合)
企画展示室	(1) 300	1日	19,140
	(2) 300	1日	19,140
	(3) 215	1日	13,720
	(4) 215	1日	13,720
ホール	178.3	1回	6,710
講座室	66.2	1時間	630
会議室	(1) 16.8	1時間	520
	(2) 16.8	1時間	520
	(3) 16.8	1時間	520
イベントの間	広間1 17.5	1回	1,150
	広間2 22.1	1回	1,360
	次の間 7.4	1回	470
	待合 14.7	1回	940
	小間 25.4	1回	4,710
	野点スペース 37	1回	2,310

※入場料等を徴する場合は、倍額とする。

(入場料等とは入場料、参加登録料、会費など、いかなる名目を問わず、入場者から徴収する料金のこと。)

※1日を9:00~13:00、13:00~17:00、17:00~21:00の3つに区分し、それぞれを1回とする。

※貸室等利用料の減免基準

- 1 長崎県、長崎市、県内の小・中・高・盲・ろう・養護学校のいずれかが、経費の一部又は全部を負担して利用するもので、入場料等を徴収しない場合は7割免除。入場料等を徴収する場合は5割免除。
- 2 その他、館長が必要と認める場合はその都度定める。

□貸室等利用料（2）

（単位：円）

名 称	種別	単 位	料 金
貸工房	73.7 m ²	1 月	21,000
処理室（くん蒸室）		1 回	62,860
写真撮影室	機材持ち込み 66.2	1 時間	680
	機材（ストロボ、三脚、撮影台）込み	1 時間	1,570

※貸室等利用料（2）減免基準 1. 館長が必要と認める場合はその都度定める。

□駐車場利用料

（単位：円）

名 称	種別	単 位	料 金
駐車場（一般）	昼間（8：30～22：00）	30分	150
	夜間（22：00～翌8：30）	1泊	840
駐車場（バス）	昼間（8：30～22：00）	30分	630
	夜間（22：00～翌8：30）	1泊	2,100

※館利用者（観覧、講座受講、ショップ、レストラン利用等）は、3時間まで110円/時

※駐車場利用料減免基準 1. 館利用者で障害者手帳保持者は無料。

□備品等使用料

（単位：円）

名 称	単 位	料 金	
〈企画展示室用〉			
展示ケース（1台）	ハイケース	1日	1,570
	行灯ケース	1日	1,050
	覗きケース	1日	1,050
展示台（1個）	1日	110	
スポットライト（1個）	1日	160	
ピチャーハンガー （1セット）	1日	30	
会議机（1台）	1日	120	
椅子（1脚）	1日	120	
〈ホール利用〉			
液晶プロジェクター	1日	13,200	
映写スクリーン	1日	1,560	
音響・拡音装置 一式	1日	9,420	
〈イベントの間利用〉			
茶道具 一式	1日	4,080	
折り畳み机（1台）	1日	120	

※一日を9：00～13：00、13：00～17：00、17：00～21：00の3つに区分し、区分利用（1回）は1 / 3の額とする。（展示ケース、展示台は終日貸しのみ）

□資料熟覧等の使用料

(単位：円)

区 分	種 別	単 位	料 金
学術研究	模写・模造	1点・1日	2,100
	写真撮影	1カット	210
	映像撮影	1カット	310
	原板使用	1枚	1,050
	マイクロフィルム模写	1枚	110
	コピー・データ出力(モノクロ)	1枚	10
	コピー・データ出力(カラー)	1枚	110
学術研究以外	模写・模造	1点・1日	2,100
	写真撮影	1カット	2,100
	映像撮影	1カット	3,140
	原板使用	1枚	10,480
	マイクロフィルム模写	1枚	110
	コピー・データ出力(モノクロ)	1枚	10
	コピー・データ出力(カラー)	1枚	110

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム利用料金

□利用料金

(単位：円)

	一般・大・高	小・中学生	備考
普通観覧料金	200	100	
団体割引料金	160	60	15名以上

(消費税及び地方消費税込み)

※減免事項

- 1 県内在住の小・中学生については無料。
- 2 学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲・ろう・養護学校生が利用する場合は、引率の教員を含め、無料。
- 3 障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)、障害福祉サービス受給者証、地域相談支援受給者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)、医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者及び介護者1名は無料。

(参考)長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館を含む利用料金

□利用料金

(単位：円)

	一般・大・高	小・中学生	備考
普通観覧料金	300	150	
団体割引料金	240	90	15名以上

(消費税及び地方消費税込み)

〈資料1-1〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱(県資料分)

(目的)

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

(収集の基本方針)

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

- (1) 長崎県美術館の基本方針
 - 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
 - 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
 - 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

- (2) 長崎歴史文化博物館の基本方針
 - 一 海外交流史に関する資料
 - 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - 三 長崎奉行所に関する資料
 - 四 長崎文化に関する資料

(寄贈)

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、美術館・博物館資料寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。
2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

(寄託)

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（様式第3号）又は寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。
2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。
3 寄託者は、資料の返還を受けようとする場合には、返還を受けようとする1月前までに県に返還請求書（様式第8号）を提出するものとする。
4 寄託者の氏名、商号若しくは住所等に変更があったときは、寄託者は所有者等変更届書（様式第9号）に変更する内容を証する書類及び寄託証書を添えて、県に提出するものとする。

(資料調査)

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

(預かり)

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。
一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料の管理等基準により、一時保管庫に保管する。
二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要が生じたとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要が生じた場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。

- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。
- 3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

（資料収集委員会及び価格評価委員会）

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

- 2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

（収集）

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

（資料の管理）

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

〈資料1 - 2〉

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- （1）長崎における海外交流史に関する資料
- （2）長崎奉行所に関する資料
- （3）長崎の美術工芸資料
- （4）その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- （1）名称（フリガナ）
- （2）作家・著者
- （3）生産地
- （4）製作・伝来時期
- （5）コレクション・文庫等の名称
- （6）員数（単位）
- （7）サイズ
- （8）素材・技法
- （9）形態・形状
- （10）付属品
- （11）箱・箱書き等
- （12）署名・落款・印章・サイン・賛等
- （13）文化財指定等の状況
- （14）資料を取得することが望ましい理由
- （15）その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

（取得委員会の組織）

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

2 取得委員会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。

- (1) 資料に関する学識を有する者
- (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
- (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 評価金額
- (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則（昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。）が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第14条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかななければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第15条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎市条例第145号）第2条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第16条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第17条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第18条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成20年5月12日から施行する。

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料管理取扱要綱

目次

- 第1章 総則（第1条—第3条）
- 第2章 取得事務（第4条）
- 第3章 管理事務（第5条—第10条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において収蔵し、展示する資料（以下「収蔵品」という。）の管理について、必要な事項を定めることを目的とする。

（定義）

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- （1）管理者 長崎県文化振興・世界遺産課長をいう。
- （2）会計員 長崎県文化振興・世界遺産課の総務・予算班長をいう。
- （3）点検者 管理者の命を受け、収蔵品の抽出点検及び確認を行う者をいう。
- （4）指定管理者 県の指定を受けた長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館の指定管理者をいう。
- （5）ながさきミュージアムネットワーク 電子計算機を使用して、収蔵品の受入れ、払出しその他の収蔵品管理情報を入力して、収蔵品の取得、管理及び処分に関する事務を行うためのデータベースネットワークシステムをいう。

（収蔵品の分類）

第3条 収蔵品は次の各号に分類する。

- （1）県有資料
 - （2）寄託資料
- 2 収蔵品の分類細目については、別表のとおりとする。

第2章 取得事務

（収蔵品の収集）

第4条 収蔵品は、「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」に基づき収集するものとする。

第3章 管理事務

（管理者）

- 第5条 管理者は、長崎県美術館又は長崎歴史文化博物館に収蔵品を配置し、点検者を指名するものとする。
- 2 管理者は、長崎県美術館において、3年間で全ての収蔵品の点検を行うための3箇年計画及びそれに対する年間スケジュールを毎会計年度当初に作成する。
 - 3 管理者は、長崎歴史文化博物館において、6年間で全ての収蔵品の点検を行うための6箇年計画及びそれに対する年間スケジュールを毎会計年度当初に作成する。
 - 4 管理者は、収蔵品管理簿兼出納簿（様式第1号）を備え、収蔵品の保有状況を明らかにして管理しなければならない。
 - 5 管理者は、その管理する収蔵品を別表に掲げる分類細目ごとに整理し、1点ごとに収蔵資料番号を記載した収蔵品番号シール（様式第2号）を貼付して保管しなければならない。ただし、シールの貼付が困難な収蔵品については、額縁又は収納箱等の付属品に貼付する等、その収蔵品に適合した方法により管理できる。
 - 6 管理者は、第2項及び第3項の年間スケジュールに基づき、指定管理者に対し、配置された収蔵品と収蔵品管理簿兼出納簿との点検及び照合を行わせ、その結果について報告を求めなければならない。
 - 7 管理者は、指定管理者に対し、長崎県物品取扱規則第10条第1号の重要物品に該当する収蔵品について、毎年度全数点検を行わせ、その結果を翌年度の4月末日までに報告するよう求めなければならない。
 - 8 管理者は、収蔵品の出納をさせようとするときは、会計員に対し、次に掲げる事項を通知して行わなければならない。

- (1) 出納させる収蔵品の品名、分類細目、規格、数量及び金額
- (2) 出納の時期、配置場所及び点検者の氏名
- (3) 前2号に定めるもののほか、必要な事項

(指定管理者)

- 第6条 指定管理者は、使用する収蔵品を常に善良な管理者の注意をもって使用し、管理しなければならない。
- 2 指定管理者は、前条第2項及び第3項の年間スケジュールに基づき、配置された収蔵品と収蔵品管理簿兼出納簿との点検及び照合作業を行い、その結果を速やかに管理者へ報告しなければならない。
 - 3 指定管理者は、長崎県物品取扱規則第10条第1号の重要物品に該当する収蔵品について、毎年度全数点検を行い、その結果を翌年度の4月末日までに管理者へ報告しなければならない。
 - 4 指定管理者は、第8条の交付があったときは、速やかに当該収蔵品の出納情報を「ながさきミュージアムネットワーク」へ入力しなければならない。
 - 5 指定管理者は、本要綱のほか、第9条の規定により定められた基準を遵守しなければならない。

(点検者)

- 第7条 点検者は、前条第2項及び第3項の結果に基づき、一定数の収蔵品を抽出し、指定管理者立会いのもと、その点検及び確認を行うものとする。
- 2 点検者は、前項の規定による点検及び確認の結果を速やかに管理者へ報告しなければならない。

(会計員)

- 第8条 会計員は、第5条第8項の通知があったときは、速やかに当該収蔵品の出納を収蔵品管理簿兼出納簿（様式第1号）に登録し、その写しを指定管理者へ交付しなければならない。

(収蔵品の管理及び貸付等)

- 第9条 管理者は、具体的な収蔵品の管理、貸出及び閲覧事務等について、「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」を定めるものとする。

(定期報告)

- 第10条 管理者は、毎年度3月31日現在における重要物品現在高調書（様式第3号）を調製し、翌年度の5月末日までに会計管理者に提出しなければならない。

附 則

- この要綱は、平成19年1月24日から施行する。
この要綱は、平成30年9月25日から施行する。
この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館図書資料管理取扱要綱

目次

- 第1章 総則（第1条—第3条）
 - 第2章 取得事務（第4条・第5条）
 - 第3章 受入事務（第6条・第7条）
 - 第4章 管理事務（第8条—第11条）
 - 第5章 除籍（第12条—第17条）
 - 第6章 帳簿（第18条・第19条）
 - 第7章 補則（第20条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この要綱は、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において収蔵し、展示かつ閲覧に供する図書資料の管理について、必要な事項を定めることを目的とする。

（定義）

第2条 この要綱において、次の各号における用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- （1）管理者 長崎県文化振興・世界遺産課長をいう。
- （2）会計員 長崎県文化振興・世界遺産課の総務・予算班長をいう。
- （3）点検者 管理者の命を受け、図書資料の抽出点検及び確認を行う者をいう。
- （4）指定管理者 県の指定を受けた博物館の指定管理者をいう。
- （5）図書資料 博物館に収蔵する、原則として長崎県の郷土と文化に関係する文書、記録および図書類とする。
- （6）ながさきミュージアムネットワーク 電子計算機を使用して、図書資料の受入れ、払出しその他の図書資料管理情報を入力して、図書資料の取得、管理及び処分に関する事務を行うためのデータベースネットワークシステムをいう。ながさきミュージアムネットワークに登録された情報を、図書資料原簿とみなす。

（図書資料の分類）

第3条 図書資料はその形状等により、次の各号に区分し、その定義は当該各号に定めるところによる。

- （1）一般図書 郷土の歴史と文化の研究に必要な一般的な図書をいう。
- （2）郷土資料 郷土に関する文書・絵図・記録（電子データを含む）等をいう。
- （3）視聴覚資料 画像・映像又は音声によって記録された資料をいう。

2 図書資料の分類細目については、別表のとおりとする。

第2章 取得事務

（図書資料の収集）

第4条 図書資料は、博物館の展示や郷土の歴史と文化の研究に寄与するため、購入、寄贈、寄託により収集するものとする。

（図書資料の寄贈及び寄託）

第5条 図書資料の寄贈及び寄託については、別に定める。

第3章 受入事務

（図書資料の受入）

第6条 管理者が、図書資料の受け入れをさせようとするときは、会計員に対し次の各号に掲げる事項を通知して行わなければならない。

- （1）図書資料名
- （2）受入年月日及び受入先
- （3）資料番号および請求記号番号

(4) 価格（寄贈図書等で単価が明示されていないものを除く）

(図書資料受入原簿の登記)

第7条 会計員は、前条の通知があったときは、速やかに図書資料受入原簿（様式第1号）に登記し、その写しを指定管理者へ交付しなければならない。

第4章 管理事務

(図書資料の管理)

第8条 管理者は、博物館に図書資料を配置し、点検者を指名するものとする。

- 2 図書資料には一冊ごとに資料番号票（バーコード）及び請求番号票を貼付する。
- 3 管理者は、6年間で全ての図書資料の点検を行うための6箇年計画及びそれに対する年間スケジュールを毎会計年度当初に作成する。
- 4 管理者は、前項の年間スケジュールに基づき、指定管理者に対し、配置された図書資料と図書資料原簿との点検及び照合を行わせ、その結果について報告を求めなければならない。
- 5 管理者は、指定管理者に対し、長崎県物品取扱規則第10条第1号の重要物品に該当する図書資料について、毎年度全数点検を行わせ、その結果を翌年度の4月末日までに報告するよう求めなければならない。
- 6 管理者は、本要綱に定めるもののほか、図書資料の管理・取扱、貸出及び閲覧等の基準等について、別に定める。

(指定管理者)

第9条 指定管理者は、使用する図書資料を常に善良な管理者の注意をもって使用し、管理しなければならない。

- 2 指定管理者は、前条第3項の年間スケジュールに基づき、配置された図書資料と図書資料原簿との点検及び照合作業を行い、その結果を速やかに管理者へ報告しなければならない。
- 3 指定管理者は、長崎県物品取扱規則第10条第1号の重要物品に該当する図書資料について、毎年度全数点検を行い、その結果を翌年度の4月末日までに管理者へ報告しなければならない。
- 4 指定管理者は「ながさきミュージアムネットワーク」に必要情報を入力し、常に保有情報を明らかにしておかなければならない。
- 5 指定管理者は、本要綱のほか、前条第6項の規定により定められた基準等を遵守しなければならない。

(点検者)

第10条 点検者は、前条第2項及び第3項の結果に基づき、一定数の図書資料を抽出し、指定管理者立会いのもと、その点検及び確認を行うものとする。

- 2 点検者は、前項の規定による点検及び確認の結果を速やかに管理者へ報告しなければならない。

(定期報告)

第11条 管理者は、毎年度3月31日現在における重要物品現在高調書（様式第2号）を調製し、翌年度の5月末日までに会計管理者に提出しなければならない。

第5章 除籍

(図書資料の除籍)

第12条 管理者は、図書資料の適正な管理を行うため、次の各号に掲げる場合は図書資料の除籍を行うことができる。

- (1) 汚損・破損等が甚だしく、原状回復が不能となった場合
- (2) 重複本で資料的価値を失い保存する必要がなくなった場合
- (3) 不時の事故、災害、その他の特別な理由により亡失した場合
- (4) 所管転換を行う場合
- (5) 受入済みの図書館資料を合冊又は分冊して数量変更する場合
- (6) 前各号のほか、管理者が特に必要と認める場合

(図書資料の除籍の決定)

第13条 図書資料について、除籍の決定をしようとするときは、次の各号に掲げる事項を記載し、書面より管理

者の決裁を受けなければならない。

- (1) 図書資料名
- (2) 受入年月日及び受入先
- (3) 資料番号
- (4) 価格（寄贈図書等で単価がされていないものを除く）
- (5) 除籍予定年月日
- (6) 除籍しようとする理由
- (7) その他参考となる事項

(図書資料の除籍の通知)

第14条 管理者が、図書資料の除籍をさせようとするときは、会計員に対して、前条の事項を通知して行わなければならない。管理者は、その旨を指定管理者に通知しなければならない。

(図書資料除籍簿の登記)

第15条 会計員は、図書資料を除籍するときは、図書資料除籍原簿（様式第3号）に登記しなければならない。

(処分の方法)

第16条 第13条の規定により除籍の決定をされた図書資料のうち、第12条第1号又は第2号の規定に該当するものの処分については、長崎県物品取扱規則第31条の規定を準用する。

(所管転換)

第17条 図書館資料の所管転換については、長崎県物品取扱規則第24条の規定を準用する。

第6章 帳簿

(会計員が備えるべき帳簿)

第18条 会計員は、次の各号に掲げる帳簿を備えなければならない。

- (1) 図書資料受入原簿（様式第1号）
- (2) 重要物品現在高調書（様式第2号）
- (3) 図書資料除籍原簿（様式第3号）
- (4) 図書資料原簿（ながさきミュージアムネットワーク登録データ）

(帳簿の登記を省略できる図書資料)

第19条 逐次刊行物については、帳簿の登記を省略できる。

第7章 補則

第20条 この要綱に定めるもののほか、図書資料の取扱に必要な事項は、管理者が別に定める。

附 則

この要綱は平成30年9月25日から施行する。

この要綱は令和4年4月1日から施行する。

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
- (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
- (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。

- (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
- (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
- (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
- (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合

- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
- (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。

- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
- (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
- (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
- (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合

- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
- (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
- (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (4) 提供した写真等は、使用后速やかに美術館・博物館に返却すること。
- (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
- (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
- (7) デジタルデータを使用した場合は、使用后必ずデータの削除を行うこと。
- (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。

- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

長崎歴史文化博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフトレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) 外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

(4) 清掃に関する事項

施設の環境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1) 保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回／年(27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回／年
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回／年
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回／週
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回／年

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐(8:00~17:00 1人、12:30~21:00 1人)

エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃(床1回／月)
(常設展示室：6回／年)
(企画展示室：4回／年)
ガラス清掃6回／年(外部4回／年、内部1回／年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐(開館日1名(24H))

(休館日 1 名24H)

カ	電気設備点検保守業務	
	・受変電設備（年次・月次）	法定点検：12回／年
	・漏電測定	法定点検：12回／年
	・非常用発電機	法定点検：12回／年
キ	空調設備保守点検業務	
	・直焚吸取式冷温発生器	定期点検：6回／年
	・冷却式HPチラー	定期点検：1回／年
	・冷却塔（開放式）	定期点検：2回／年
	・水処理装置	定期点検：1回／年
	・冷却水管理装置	定期点検：1回／年
	・軟水装置	定期点検：1回／年
	・薬注ポンプユニット	定期点検：1回／年
	・蒸気ボイラー	定期点検：2回／年
	・ファンコイルユニット	定期点検：2回／年
	・パッケージエアコン	定期点検：2回／年
	・セパレートエアコン	定期点検：2回／年
	・空調機コンパクト型	定期点検：3回／年
	・空調機天吊型ほか	定期点検：2回／年
	・自動制御・中央監視装置	定期点検：2回／年
	・トイレ換気口点検	定期点検：12回／年
	・送・排風機	必要に応じ
	・中性能フィルター	フィルター交換：必要に応じ
	・ケミカルフィルター	フィルター交換：必要に応じ
ク	消防設備保守点検業務	法定点検：2回／年（機器点検・総合点検）
	・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等定期点検等	
ケ	昇降機設備業務（4基）	法定点検：12回／年
コ	給排水設備業務	
	・雨水濾過機	定期点検：2回／年
	・自動給水ポンプ	定期点検：1回／年
	・電気温水器	定期点検：12回／年

(2) その他付帯設備等に関する業務

ア	自動ドア装置保守点検	2回／年
イ	シャッター保守点検	1回／年
ウ	放送設備保守点検	2回／年
エ	電話交換機保守点検	2回／年
オ	調光装置設備保守点検	4回／年（うち自主2回）
カ	音響設備保守点検	1回／年
キ	駐車場料金システム保守点検	3回／年
ク	ながさきミュージアムネットワークシステム保守	12回／年
	（ハードウェア保守、ソフトウェア更新）	

(3) 収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4) 展示ケース内の環境保全 必要に応じ

(5) 光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(6) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの 附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

記念館内の2階・3階の一部とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- イ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- ウ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、じゅうたんの磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) ミュージアム特有の事項

所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- イ 空調管理・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
(展示ケース内も同様とする。)

(3) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、ミュージアムとしての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限りミュージアム運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、ミュージアム内の良好な環境を保つこと。
- イ ごみの収集
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(4) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県及び長崎市と協議すること。

(5) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(6) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、ミュージアム職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県及び長崎市と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にと（追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。）。

(1) 保守管理運営業務

ア 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 施設内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃 (床1回/月)
(常設展示室：6回/年)
ガラス清掃6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)

イ 空調設備保守点検業務

【参考】現在、長崎市で行っている点検内容

- ・室内機4台 定期点検：1回/年
- ・室外機4台 定期点検：1回/年
- ・フィルター清掃 定期点検：1回/年

(2) 光熱水費等に係る業務

電気料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(3) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

14 利用案内

【長崎歴史文化博物館】

1) 開館時間

展示室・ショップ	4月～11月	8:30～19:00
(展示室の最終入館30分前)	12月～3月	8:30～18:00
資料閲覧室	9:30～18:00 (年始は閉室)	
レストラン「銀嶺」	10:30～21:00 (オーダーストップ1時間前)	
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00～18:00	
施設貸出	9:00～21:00	
駐車場	8:30～22:00	
※1/1～1/3は駐車場を除き 10:00～18:00		

2) 休館日

毎月第1・3月曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～12/31 休館 ※その他メンテナンスのため休館する場合があります。

3) 観覧料

●常設展示

大人 630円〔500円〕 小中学生 310円〔250円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は無料。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

●企画展示 別料金

4) 交通案内

アクセス・駐車場台数

- 路面電車「桜町」電停下車、徒歩5分。
- 路面電車「市役所」電停下車、徒歩7分。
- 路線バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩3分。
- 県営バス(風頭町～夢彩都線)「歴史文化博物館」バス停下車。
- 長崎自動車道(長崎芒塚IC)より、諏訪神社方面へ10分。
- 駐車場 一般車62台、大型バス5台

5) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1番1号
TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407
<http://www.nmhc.jp>

【長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム】

1) 開館時間

ミュージアム	9:00~17:00
多目的ホール	9:00~17:00 (日中) 18:00~21:00 (夜間)

2) 休館日

毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日) ※その他、メンテナンスのため休館する場合あり。

3) 観覧料

●常設展示

高・大・一般 300円〔240円〕 小・中学生 150円〔90円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳)保持者及び介護者1名は無料。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

4) 交通案内

アクセス

- 路面電車「大浦天主堂」電停下車、徒歩3分。
- 路線バス「松ヶ枝国際ターミナル」バス停下車、徒歩1分。
- 長崎自動車道(長崎IC・ながさき出島道路)より、グラバー園方面へ3分。
- 駐車場なし

5) お問い合わせ

〒850-0921 長崎県長崎市松ヶ枝町4番27号

TEL / FAX. 095-827-8746

<http://www.nmhc.jp>

令和4年度（2022年度）
長崎歴史文化博物館年報

令和5年（2023年）7月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒850-0007 長崎県長崎市立山1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 株式会社インテックス